令和5年度

主要な施策の成果についての説明書

地方自治法第233条第5項の規定により提出

令和6年9月3日提出

輪島市長　坂　口　　茂

目　　次

Ⅰ.安全・安心・快適なまちづくり

○ 一般会計主要施策

防災対策課 …… 1
復興推進課 …… 7
放送課 …… 10
土木課 …… 11
まちづくり推進課 …… 20
上下水道局 …… 24

○ 臨海土地造成事業特別会計主要施策

まちづくり推進課 …… 25

○ 水道事業会計主要施策

上下水道局 …… 26

○ 下水道事業会計主要施策

上下水道局 …… 28

Ⅱ.活力を生み出すまちづくり

○ 一般会計主要施策

農林水産課 …… 30
漆器商工課 …… 42
観光課 …… 49

Ⅲ.健やかに過ごすまちづくり

○ 一般会計主要施策

市民課 …… 59
環境対策課 …… 61
福祉課 …… 65
子育て健康課 …… 80

○ 国民健康保険特別会計主要施策

市民課 …… 94

○ 介護保険特別会計主要施策

福祉課 …… 96

○ 病院事業会計主要施策

病院 …… 100

Ⅳ.ふるさとを学び誇るまちづくり

○ 一般会計主要施策

復興推進課 …… 101
教育総務課 …… 102
生涯学習課 …… 108
文化課 …… 112

Ⅴ.市民と行政の協働によるまちづくり

○ 一般会計主要施策

総務課 …… 120
財政課 …… 120
復興推進課 …… 121
漆器商工課 …… 122

（参考）能登半島地震関連分

○ 一般会計主要施策

総務課 …… 123
防災対策課 …… 123
財政課 …… 124
監理課 …… 126
放送課 …… 126
環境対策課 …… 127
子育て健康課 …… 128
農林水産課 …… 129
漆器商工課 …… 129
土木課 …… 130
まちづくり推進課 …… 130
教育総務課 …… 131
生涯学習課 …… 131
文化課 …… 131
上下水道局 …… 132

○ 水道事業会計主要施策

上下水道局 …… 133

○ 下水道事業会計主要施策

上下水道局 …… 134

○ 病院事業会計主要施策

病院 …… 135

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
2	1	1	一般管理費	私設防犯灯設置費補助	962	1,700	1,105	595	○ 区、町内会、団体が設置する防犯灯に対し、その設置に係る費用の一部を補助

補助内容

項目	対象物	補助率	上限額
LED製品からの更新	LED製品の電灯(電力会社申請時10VA未満)	10分の5以内	12,000円
	LED製品の電灯(電力会社申請時10VA以上)	10分の5以内	20,000円
新規設置又は従来製品からの更新	LED製品の電灯(電力会社申請時10VA未満)	10分の6以内	15,000円
	LED製品の電灯(電力会社申請時10VA以上)	10分の6以内	26,000円
新規設置	柱	10分の10	10,000円

補助実績

年度	件数	補助金額
R5	39	1,105千円
R4	40	962千円
R3	47	1,686千円

事業評価：市内の多くの区・町において防犯灯の設置が進んだことにより、その地域における歩行者等の安全確保や交通事故の防止につながった。また、市内全体の省エネ効果と経費削減に寄与している。

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
2	1	8	交通対策費	高齢者運転免許証自主返納支援事業費	2,670	3,500	2,949	551	○ 高齢者の運転免許証の自主返納を支援

支援内容　公共交通機関の利用券(バス回数券、タクシー利用券)を1人につき20,000円以内(1回限り)
対象者　自主返納時に満70歳以上で市の住民基本台帳に記録されている者

支援実績

年度	件数
R5	112
R4	130
R3	147

事業評価：身体の衰えや運転に不安を感じている高齢者に対し、運転免許証の自主返納を推進したことにより、高齢者の交通事故対策に大きな効果が得られた。今後も継続して支援していく必要がある。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
9	1	1	常備消防費	奥能登広域圏事務組合 消防本部負担金	145,920	181,959	181,959	0	○ 奥能登広域圏事務組合規約に基づく負担金 人件費 131,093千円：消防長　1名 ／ 出身消防署を置く市町が50%を、残り50%を当該市町を除く関係市町が人口割で負担 人件費 131,093千円：予防課、警防課、情報指令課職員21名分(うち輪島市出身職員7名) ／ 関係市町が人口割で負担 人件費 131,093千円：消防長、予防課、警防課、情報指令を除く本部消防吏員　5名 ／ 輪島市が100%負担 人件費を除く経費 50,866千円：本部職員派遣研修費 ／ 関係市町が人口割で負担 人件費を除く経費 50,866千円：消防救急デジタル無線設備整備費及び運営管理費 ／ 関係市町が人口割50%及び均等割50%で負担 人件費を除く経費 50,866千円：高機能消防指令センター設備整備費及び運営管理費 ／ 関係市町が人口割50%及び均等割50%で負担 人件費を除く経費 50,866千円：その他の経費 ／ 輪島市が50%、残りの50%を輪島市を除く関係市町が人口割で負担 事業評価：奥能登広域圏事務組合管轄区域における住民の安心・安全な暮らしの充実を図ることができた。
				奥能登広域圏事務組合 輪島消防署負担金	527,449	603,181	603,181	0	○ 奥能登広域圏事務組合規約に基づく負担金 消防署及び消防分署に関する経費は、その所在する市町で負担 事業評価：奥能登広域圏事務組合輪島消防署管轄区域における住民の安心・安全な暮らしの充実を図ることができた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
9	1	2	非常備消防費	消防団員報酬	27,700	33,242	29,825	3,417	○ 消防団員報酬 【年報酬】 14,105千円 ・ 団長 82,500円 ・ 副団長 75,000円 ・ 分団長 70,000円 ・ 副分団長 45,500円 ・ 部長 38,000円 ・ 班長 37,000円 ・ 団員 36,500円 ・ 機能別 10,000円 【出動報酬】 15,720千円 ・ 防御を伴う水火災の場合 (4時間未満)4,000円、(4時間以上)8,000円 ・ 警戒、その他の業務の場合 (4時間未満)2,500円、(4時間以上)3,500円 事業評価：適正な報酬を支給することで、消防団員の士気向上につながり、円滑な活動等を実施することができた。
				消防団活動費	4,871	6,550	5,716	834	○ 消防団の運営補助等 【報償費】 ・消防団退職団員記念品 135千円 ・石川県消防操法大会出場分団報奨金 100千円 【旅費】 ・消防団員費用弁償 21千円 【補助事業】 ・消防団本部運営費補助 1,260千円 ・分団運営費補助 4,200千円 事業評価：消防団及び分団の運営費を補助し運営を円滑にすることで、消防団活動の安定的維持、強化を図ることができた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
9	1	2	（非常備消防費）	自衛消防組織育成事業費補助	236	285	223	62	○ 自主的に消防活動を行う組織を対象とした育成補助等 ・ 女性消防隊員福祉共済掛金　113千円 ・ 自衛消防隊小型動力ポンプ指導会運営補助　110千円
									事業評価：各組織の事業運営に対し補助を行うことで、組織の育成を図った。
				消防団等施設整備事業費	16,720	18,800	18,678	122	○ 分団消防ポンプ自動車の更新整備 ・ 西保分団車　18,678千円
									事業評価：整備後17年経過した分団の消防ポンプ自動車を計画的に更新することで、地域の消防力維持、向上を図り、地区住民の安全・安心を図ることができた。
9	1	3	災害対策費	災害対策費	4,575	5,637	3,510	2,127	○ 避難所等で使用する備品 ・ 避難所用品　27千円 ・ 訓練等消耗品費、旅費、通信運搬費　61千円 ○ 災害対策専門員育成費用等　169千円 ○ 輪島市災害ボランティアセンター運営費　350千円 ○ 奥能登広域圏事務組合分担金等　2,903千円
									事業評価：防災資機材の購入及び防災訓練の実施等に努め、災害対策を図ることができた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
9	1	3	（災害対策費）	自主防災活動支援事業費	2,280	4,411	1,758	2,653	○ 防災士の資格取得に係る費用 【防災士養成に係る費用】 ・ 県負担金(市が負担すべき費用：1/2相当分)　300千円 ＊ 区長、町内会長及び自主防災組織の代表の推薦を受けた新たに防災士の資格を取得する者の講座受講料の1/2に相当する額。(一般30,000円×1/2×20名＝300千円) ・ 市単独負担分(防災士研修センター等支払分)　126千円 ＊ 県負担分以外の講座受講料(学生分含む。)、テキスト代、試験料、登録料等 ・ 帽子、メッシュベスト、食糧費、通信運搬費等の費用　52千円 防災士数 年度 / 養成者数 / 総数 R5 / 10人 / 875人 R4 / 37人 / 865人 R3 / 48人 / 828人 ○ 自主防災組織の活動に際し、防災資機材の購入、消火器具置場の整備、資機材保管のための倉庫設置等に対しての補助 補助実績 年度 / 件数 / 補助金額 R5 / 18 / 1,280千円 R4 / 21 / 1,084千円 R3 / 18 / 1,800千円 事業評価：防災士については1町内会1名以上の配置を目標に現在約92%の達成率であり、自主防災組織については全ての町内会、地区での結成を目標に現在約80%の達成率である。今後も継続して事業を実施し、地域防災力の向上を図る必要がある。
				防災対策事業費（繰越明許）	0	5,289	1,561	3,728	○ 自然災害からの復旧及び市民の安全を確保するため、住宅の所有者が行う災害復旧工事又は災害予防工事に対する補助 補助実績 年度 / 件数 / 補助金額 R5 / 6 / 1,561千円 補助基準 対象経費　-10万円　限度額　30万円 事業評価：自然災害からの住宅の復旧工事又は予防工事に対して補助したことで、住民の安心・安全な暮らしを確保できた。
				防災行政無線管理費	9,155	8,925	8,565	360	○ 災害発生時やその他において、市民に対し警報注意報等の気象情報や避難情報、その他様々な行政情報等の周知を図るための防災行政無線の維持管理費 ・ 電気料　915千円 ・ 通信料　571千円 ・ 防災行政無線施設保守管理業務(Jアラート含む。)　6,270千円 ・ 総合防災情報システム管理運営費(県負担金)　164千円 ・ 防災行政無線(衛星系)設備利用料(県負担金)　399千円 ・ 防災行政無線(衛星系)保守管理費(県負担金)　60千円 事業評価：防災情報伝達システムの維持管理等を適切に実施したことにより、市民に対する情報伝達体制の確保が図られた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
9	1	3	（災害対策費）	原子力防護施設管理費	1,742	2,671	2,105	566	○ 原子力災害防護施設に係る維持管理費 ・ 陽圧化装置保守点検業務委託(年2回点検) 385千円 ・ 消防用設備保守点検業務委託(年2回点検) 220千円 ・ 自家用電気工作物保安管理業務(2か月に1回の点検) 83千円 ・ 防護施設警備業務委託 142千円 ・ 放射線量計測値監視サービス業務委託 671千円 ・ 草刈り業務 137千円 ・ 電気料、水道料 382千円 ・ 通信料 85千円 事業評価：万一の原子力災害に万全を期すため定期的な設備の点検を実施し、UPZ圏内の住民の安全・安心の確保が図られた。
9	1	4	消防施設費	消防施設等整備事業費	29,960	2,400	2,400	0	○ 防火水槽修繕工事（町野町大川地内） ・ 防火水槽修繕工事 1,100千円 ○ 自衛消防隊への小型動力ポンプ購入補助(コミュニティ助成事業の活用) ・ 尊利地町自衛消防隊 1,300千円 事業評価：初期消火体制が整備されたことで、地域の消防力維持、向上を図り、地区住民の安全・安心を図ることができた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
2	1	6	企画費	のと里山空港利活用促進事業費	34,697	33,230	29,298	3,932	○ のと里山空港の利用促進を図るため、PR活動を始め、各種施策を実施した。 ・のと里山空港利用促進同盟会負担金　6,281 千円 令和5年度は開港20周年記念事業費が加算 ・のと里山空港ふるさとタクシー運行支援負担金　2,702 千円 ・のと里山空港ターミナルビル館内広告　1,734 千円 ・のと里山空港利用促進輪島市協議会運営負担金　1,000 千円 ・）地元イベントでのPR（市民まつり等） ・）首都圏等へのPR ・）市民向け企画旅行の実施（2回） ・のと里山空港誘客促進事業負担金　3,624 千円 ・）のと里山空港＆宿泊ダブル利用促進キャンペーン（期間：12/1～12/31） ・輪島市のと里山空港利用促進助成金　13,957 千円　（前年度　14,739千円） 輪島市民ののと里山空港利用に対する助成 搭乗座席数　6,445　席　（前年度　6,659 席） 事業評価：利用者数は回復傾向にあり、市民まつりへの参加や協議会主催の企画旅行を2回実施するなどして地元住民の利用を促進した。首都圏等に対しては輪島ふぐキャンペーンを実施して誘客を促進し、客足も伸びていたのだが1月1日の能登半島地震によりキャンペーンは中止になった。
2	1	8	交通対策費	へぐら航路助成事業費	7,404	7,839	6,233	1,606	○ 定期船「へぐら希海」の運行欠損に対し補助金を交付し、島民等の足の確保を図った。 へぐら航路助成費　6,122 千円　（前年度　7270千円） 交付先　へぐら航路株式会社 収益　22,364 千円　国庫補助　39,224 千円 費用　92,196 千円　石川県補助　24,486 千円 損失　▲ 69,832 千円　輪島市補助　6,122 千円 延べ利用者数　5,879　人（前年度　6,940人） 離島航路運賃低廉化事業　111 千円　（前年度　134千円） 事業評価：利用者は回復傾向にあり、県内唯一の離島航路として島民のみならず、訪れる観光客等の移動手段を確保できていたが、1月1日の能登半島地震から運行が中断した。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
2	1	8	（交通対策費）	バス路線運行維持対策事業費	70,738	76,098	70,507	5,591	○ バス路線維持のため、バス運行事業者に対し補助金・負担金の交付を行った。 ・一般生活路線運行費補助金　51,999 千円　（前年度　52,939千円） 交付先　北鉄奥能登バス(株) 【収支】　【財源内訳】 収益　95,143 千円　輪島市補助　51,999 千円（前年度　52,939千円） 費用　389,234 千円　他市町補助　21,046 千円 損失　▲ 294,091 千円　自己資金　221,046 千円 ・のらんけバス運行負担金　14,963 千円　（前年度　17,799千円） 交付先　北鉄奥能登バス(株) 【収支】 収益　2,180 千円 費用　17,143 千円 損失　▲ 14,963 千円 ・路線バス用車両購入補助　3,545 千円 事業評価：地域住民の生活の足として、路線バス、コミュニティバスの運行維持ができた。年々利用者数の減少により欠損額が増大している。今後の公共交通のあり方について検討が必要である。
				自家用有償旅客運送事業費	7,418	7,562	6,801	761	○ 公共交通の空白地帯を解消するために、門前地区でおでかけバスによる自家用有償旅客運送を実施。 受託者：鳳南タクシー 自家用有償旅客運送業務委託料　4,991 千円

コース別年間利用者数（人）	R5	R4
二又・入山	1,118	1,887
深見・六郎木	322	457
猿橋・小石	389	472
安代原・西円山	416	658
合計	2,245	3,474

車両整備費、維持費等　1,810 千円

事業評価：門前地域における交通空白地帯の解消、高齢者の外出機会の創出を図ることができた。さらなる利便性向上を目指し最適な方法を探る必要がある。また、1月1日発生の能登半島地震により、一部コースを変え運行している。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
2	1	8	（交通対策費）	次世代交通対策事業費	7,355	14,560	9,011	5,549	○ 公共交通の空白地帯解消と利便性両立のため、市東部地区において国及び市の補助事業としてデマンドバスの実証運行を実施。 交付先　わじま次世代交通ネットワーク協議会 会員登録数　208人 利用件数　136件 事業評価：実証期間をR5.11.1からR6.1.31までとしていたが、能登半島地震の発生により打ち切りとなったため、十分なデータが得られなかった。
				次世代交通対策事業費（繰越明許）	0	6,373	5,255	1,118	○ 地域公共交通の維持に困難を生じていること等の社会経済情勢の変化に対応するため、地域公共交通計画の策定が努力義務となったことから、既存の「輪島市新交通ネットワーク計画」（計画期間H27～R6）を改定し新たに計画を策定する。 ・輪島市地域公共交通計画策定業務　策定委託料(一部)　5,170 千円 委員報酬　82 千円 役務費　3 千円 事業評価：地域公共交通計画を策定するため、課題の整理、資料の収集、アンケート調査等を実施した。先進地視察やアンケート結果を踏まえ、より詳細にモデルケースを検討する必要が生じたため、R5に事業を繰り越して計画を策定した。
				路線バス運賃助成事業費	8,364	11,339	6,378	4,961	○ 市内コミュニティバスとの運賃格差の是正、高齢者の外出支援及び高校生通学補助の拡充を図るため、生活路線バスの運賃補助を実施(H30.9～)。 対　象：回数券、シルバー・通勤・通勤（片道）・通学・通学（片道）定期 補助率：1/2　（R5） 回数券 23枚綴 314 630 回数券 35枚綴 697 1,765 定期券 シルバー 52 420 定期券 通勤 158 570 定期券 通勤（片道） 0 0 定期券 通学 156 4,218 定期券 通学（片道） 14 54 合計 1,391 7,657 1月1日発生の能登半島地震により運休期間があり、その期間について定期券の払い戻しがあった。 払い戻し額　1,279千円 7,657 千円　－1,279 千円　＝6,378 千円 ・R5の助成額　6,378 千円 事業評価：高齢者の運転免許返納制度の導入により、今後ますます増加が見込まれる運転免許を持たない高齢者の生活の足の確保を図ることができた。しかし、1月1日発生の能登半島地震により運行できない期間があり、その期間について利用者から購入した定期券の払い戻しがあった。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
2	1	10	ケーブルテレビ費	ケーブルテレビ運営費	186,520	150,852	116,728	28,853	【主な事業】 ○ 輪島市ケーブルテレビ放送審議会(委員6名) 放送番組の適正を図るため、放送法第6条第1項の規定により設置 第1回会議：5/22　委員6名出席　報酬　38 千円　旅費　7 千円　計　45 千円 第2回会議：11/9　委員3名出席　報酬　19 千円　旅費　5 千円　計　24 千円 ○ 自主放送番組 （内訳） ＜ 自主制作 ＞ ・ ニュース番組　42 本 ・ 単体番組　45 本 ・ 市議会（再放送用）　14 本 合計　101 本　4,758 千円 （うち委託制作　72 本 ） ＜ 番組供給等 ＞ ・「北國新聞ニュース・プラス」番組供給料　733 千円 ・ 日本ケーブルテレビ連盟全国コンテンツ流通システム利用料　158 千円 ・ 輪島の夏祭り2023使用料　275 千円
									事業評価：市内の行事やイベントを取り上げた情報番組を中心に自主放送番組の充実を図ることができた。
				ケーブルテレビ整備事業費	26,400	13,618	13,618	0	○ 輪島市ケーブルテレビ受信点設備更新工事　13,618 千円 （工事概要） 画像品質等の維持を図ると共に、安定・確実な放送配信サービスの提供を図るため、経年劣化による故障が懸念される受信点設備本体及び付属設備等に対する更新工事 受信点設備の更新 更新場所：門前総合支所、輪島市役所
									事業評価：設備を更新し、適正な総合試験を行うことで、画像品質等の維持を図ると共に、契約者へ安定・確実な放送サービスを提供することができた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
8	2	1	道路橋梁総務費	道路台帳整備費	5,808	1,000	198	802	○ 工事路線及び新規・廃止・変更認定された路線に関して道路台帳を補正 道路台帳補正業務委託(台帳図・調書の補正、地形図データ修正等)　N=1式　C=　198千円 事業評価：道路台帳は道路法で調製・保管が義務づけられており地方交付税算定の基礎資料ともなっている。R5年度は震災により、台帳補正業務の実施が困難となったが、円滑な道路管理事務につなげるため、今後も台帳整備を行っていく。
8	2	2	道路橋梁維持費	除排雪費	233,239	227,409	161,573	65,836	○ 冬期の安全で円滑な道路交通を確保するため除排雪体制の充実を図るとともに市道の除排雪を実施 【R4】【R5】 凍結防止剤等、光熱水費、運搬費、手数料、賃借料　6,249千円　3,937千円 除雪車両・消雪施設等修繕料　14,161千円　9,407千円 除雪費(作業委託、機械借上げ)　211,265千円　147,900千円 県:路面消雪施設維持管理負担金　465千円　229千円 県:市道まがき線消雪剤散布負担金　1,099千円　100千円 合計　233,239千円　161,573千円 事業評価：「冬期間交通確保計画」に基づき除排雪体制を整え円滑な除排雪を実施できた。今後も安定した除排雪の実施に努める。
				除雪機械オペレーター育成支援事業費	193	165	165	0	○ 市道の除雪業務の担い手となる除排雪機械オペレーターを育成しようとする事業者に対し、費用の一部を助成(補助率1/3、大型特殊免許取得及び技能講習受講それぞれ1人当たり3万円上限) 〔内訳〕 区分｜件数｜対象経費｜自己資金｜市補助金 大型特殊｜4｜390千円｜270千円｜120千円 技能講習｜2｜137千円｜92千円｜45千円 合計補助件数　6件(3者)　C=　165千円 事業評価：降雪時における道路交通の確保及び安全で安心な市民生活の確保を図るため、作業資格の取得に要する費用について補助金を交付することにより、除排雪機械オペレーターの人材確保に努めた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
8	2	2	（道路橋梁維持費）	道路橋梁維持費	49,974	50,000	43,630	6,370	○ 道路の異常等を日常的に確認し、交通に支障を及ぼさないよう市道の維持管理を実施 【R4】【R5】 道路・河川愛護作業謝礼金　206地区(輪島123地区・門前83地区)　1,913千円　2,100千円 小規模修繕等　60件　3,573千円　2,882千円 市道管理等業務委託(草刈り、崩土除去等)　34,614千円　32,889千円 原材料費(常温合材等)　554千円　363千円 光熱水費(外灯等電気料)　3,656千円　3,215千円 現場用消耗品、土地賃借料、使用賃借料、手数料　1,567千円　993千円 備品購入費　2,392千円　0千円 工事請負費　1,705千円　1,188千円 合計　49,974千円　43,630千円 〔実施工事等〕 市道浅生田大町線　道路補修工事　L=8m　C=　715千円 市道平和線　側溝補修工事　L=9.5m　C=　473千円 事業評価：道路施設を適切に補修する等、維持管理に努めた。施設の老朽化が進む中、市民要望の増加や住民の高齢化により協働作業(清掃・除草等)が困難になってきていることから、市道の安全確保には今後ますますの費用増加が見込まれる。
				道路橋梁定期点検事業費	32,087	55,660	55,660	0	○ 橋梁・トンネルの修繕及び維持管理を計画的に行うため、定期的な点検・診断を実施 橋梁定期点検業務　その1　町野町　N=20橋　C=　8,470千円 橋梁定期点検業務　その2　門前町剱地外　N=26橋　C=　8,316千円 橋梁定期点検業務　その3　門前町南外　N=30橋　C=　8,745千円 橋梁定期点検業務　その4　町野町　N=21橋　C=　8,129千円 橋梁定期点検業務　その5　三井町外　N=8橋　C=　4,400千円 木の葉トンネル　定期点検業務　輪島崎町　L=28m　C=　1,485千円 おさよトンネル　定期点検業務　門前町和田～大滝　L=1359m　C=　12,881千円 長谷の澗隧道　定期点検業務　門前町鹿磯　L=126m　C=　3,234千円 合計　C=　55,660千円 事業評価：市民の命と暮らしを守るため、道路施設及び道路付属物の総点検を実施し必要な対策を戦略的に推進している。橋梁・トンネルについては法律により5年サイクル点検を義務づけられているため、今後とも計画的に点検を行っていく。
				道路橋梁定期点検事業費（補正分）	0	29,408	0	29,408 (うち繰越) 29,408	○ 国の補正予算に伴い計画を前倒ししたことにより、実施計画の調整に不測の時間を要したため、全額繰越

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
8	2	2	（道路橋梁維持費）	小型除雪機械購入費補助	1,423	4,618	4,336	282	○ 自主防災組織の小型除雪機械購入経費に対し費用の一部を助成(補助率1/2、上限額500千円) 〔内訳〕 交付先 / 対象経費 / 自己資金 / 市補助金 輪島市下山町自主防災組織 / 1,573.0千円 / 1,073千円 / 500千円 空熊町 / 1,090.0千円 / 590.0千円 / 500千円 宮田区 / 1,155.0千円 / 655.0千円 / 500千円 東中尾町 / 492.8千円 / 247千円 / 246千円 金蔵第1地区 / 738.1千円 / 369.1千円 / 369千円 新保町内会 / 1,445.4千円 / 945.4千円 / 500千円 堀腰区 / 618.0千円 / 309千円 / 309千円 地原区 / 540.0千円 / 270.0千円 / 270千円 別所区 / 695.0千円 / 348.0千円 / 347千円 申ヶ場区 / 990.1千円 / 495.1千円 / 495千円 山ノ上町 / 601.7千円 / 301.7千円 / 300千円 合計補助件数　11件(者)　C=　4,336千円 事業評価：人口減少・少子高齢化が進行し、除雪困難地域が増えるなか、各地区の自主防災組織が迅速に除雪できる体制づくりが構築された。
				除排雪費 （繰越明許）	0	16,737	16,662	75	○ 冬期の安全で円滑な道路交通を確保するため除排雪体制の充実を図るとともに、市道の除排雪を実施 小規模修繕等　2件　164千円 市道管理等業務委託(倒木処理、崩土除去等)　16,498千円
				道路橋梁維持費 （繰越明許）	0	1,353	1,353	0	○ 道路の異常等を日常的に確認し、交通に支障を及ぼさないよう市道の維持管理を実施 市道まがき線　おさよトンネル　防災装置補修工事　N=1式　C=　1,353千円
				豪雪地帯安全確保緊急対策事業費 （繰越明許）	1,400	3,616	0	3,616 （うち事故繰） 3,616	○ 除排雪中の死傷事故防止や地域ぐるみの除雪体制作りのため、「地域安全克雪方針」を策定 輪島市地域安全克雪方針策定業務　計画策定業務　N=1式
8	2	3	道路橋梁整備費	県道路事業負担金	32,283	36,758	35,340	1,418	○ 石川県が実施する道路事業に対し所定の割合で事業費を負担 事業評価：石川県が実施する市内国県道の整備費用を一部負担することにより、広域幹線道路の整備を図った。今後も県事業進捗にあわせ費用負担することにより、安全・安心・快適な交通環境の確保を目指す。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
8	2	3	（道路橋梁整備費）	道路橋梁整備事業費	31,446	27,200	23,927	3,273	○ 道路の利便性の向上、安全性の確保を図るため市道の整備、改良等を実施 市道金蔵北円山線　法面対策工事　L=10.6m　C=　491千円 市道大沢2号線　橋梁補修工事　L=5m　C=　1,477千円 市道金蔵5号線　法面対策工事　L=24m　C=　781千円 市道中10号線　道路改修工事　L=22m　C=　655千円 市道マリンタウン1号線　標識板設置工事　N=1基　C=　473千円 市道水守房田線　横断溝改修工事　L=9.5m　C=　1,177千円 市道気勝平5号線　舗装改修工事　L=61m　C=　583千円 市道粟蔵井面線　舗装改修工事　L=7m　C=　385千円 市道佐野1号線　道路改良工事　L=3m　C=　1,177千円 市道深見7号線　道路改良工事　L=17m　C=　1,485千円 市道塚田久手川線　道路改良工事　L=13m　C=　2,128千円 市道マリンタウン1号線外　路面標示設置工事　N=28箇所　C=　418千円 市道安代原線　横断溝改修工事　L=5m　C=　660千円 市道安代原線　道路改良工事　L=7.5m　C=　1,122千円 市道小泉1号線　舗装新設工事　L=60m　C=　2,640千円 市道南山線　側溝改修工事　L=16m　C=　1,210千円 市道宅田3号線　道路改良工事　L=14m　C=　1,028千円 市道名舟1号線　道路改良工事　その2　L=21m　C=　1,229千円 市道内保平中央線　横断溝改修工事　L=10m　C=　1,155千円 市道皆月線　横断溝改修工事　L=12m　C=　1,210千円 土地登記等委託業務(市道城兼1号線外)　C=　482千円 補償費(河井小学校駐車場整備工事)　C=　131千円 事務費　C=　1,830千円 事業評価：補助事業の対象とならない地元要望に対し市独自の採択基準を設け、弾力的な事業の運用を行うことで生活道路の利便性向上を推進した。今後も地元の要望を的確にとらえ、市内の各地域のバランスや必要性を考慮した上で、整備を行っていく必要がある。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
8	2	3	（道路橋梁整備費）	道路橋梁整備事業費（防災・安全交付金）	258,853	205,070	97,909	107,161 （うち繰越） 107,161	○ 道路の利便性の向上、安全性の確保を図るため市道の整備、改良等を実施 市道剱地本町線　側溝改修工事　L=6m　C= 506千円 市道鈴屋寺山線　側溝改修工事　L=24m　C= 1,265千円 市道大川2号線　側溝改修工事　L=177.5m　C= 1,947千円 市道小泉3号線　道路改良工事　L=20m　C= 1,012千円 市道川西桶戸線　側溝改修工事　L=42m　C= 1,171千円 市道南町駅西線　舗装改修工事　L=37.3m　C= 660千円 市道上山4号線　側溝改修工事　L=5m　C= 396千円 市道房田2号線　側溝改修工事　L=27.5m　C= 1,318千円 市道深見7号線　側溝改修工事　L=51m　C= 880千円 市道名舟1号線　道路改良工事　L=28m　C= 2,498千円 市道是清南線　法面対策工事　L=139m　C= 3,246千円 市道本市線　側溝改修工事　L=40m　C= 2,310千円 市道宅田4号線　側溝改修工事　L=4.4m　C= 473千円 市道西山1号線　側溝改修工事　L=28m　C= 1,210千円 市道大川1号線　側溝改修工事　L=36m　C= 1,791千円 市道久手川3号線　側溝改修工事　L=30m　C= 3,493千円 市道中段2号線　側溝改修工事　L=8m　C= 1,661千円 市道房田2号線　側溝改修工事その2　L=8.6m　C= 880千円 市道長沢1号線　側溝改修工事　L=38m　C= 2,442千円 市道鹿磯山手線　側溝改修工事　L=40m　C= 1,980千円 市道小泉3号線　道路改良工事　その2　L=15m　C= 792千円 市道清太郎水の上線　側溝改修工事　L=50m　C= 2,433千円 市道名舟1号線　道路改良工事（付帯工）　L=50m　C= 935千円 市道興徳寺5号線　法面対策工事　L=7m　C= 1,045千円 市道市ノ坂線　道路照明灯改修工事　N=2基　C= 2,783千円 市道長井坂地原線　舗装改修工事　L=100m　C= 3,597千円 市道内保平線　側溝改修工事　L=70m　C= 3,520千円 市道井面線　法面対策工事　L=3.4m　C= 2,794千円 市道名舟1号線　舗装改修工事　L=25m　C= 550千円 市道上町1号線　舗装改修工事　L=32.5m　C= 778千円 市道鈴屋寺山線　側溝改修工事　その2　L=26m　C= 1,265千円 市道房田1号線　道路改良工事　L=40m　C= 4,180千円 市道真久徳成谷内線　法面対策工事　L=16m　C= 2,618千円 市道門前中学校線　道路改良工事　L=74m　C= 3,000千円 市道金蔵北円山線　舗装工事　L=196m　C= 1,210千円 市道大久保1号線　法面対策工事　V=2.3㎥　C= 902千円 市道中段2号線　側溝改修工事　その2　L=4m　C= 1,265千円 市道城兼1号線　道路整備工事（付帯工）　A=500.0㎡　C= 8,360千円 市道本内正仏線　道路改良工事　L=45m　C= 17,600千円 調査設計等委託料(市道黒島港浜5号線)　C= 3,333千円 土地購入費(市道名舟1号線外)　C= 398千円 補償費(市道城兼1号線)　C= 102千円 事務費(人件費)　C= 3,310千円
				道路橋梁整備事業費（道整備推進交付金）	31,567	5,175	999	4,176 （うち繰越） 80	○ 道路の利便性の向上、安全性の確保を図るため市道の整備、改良等を実施 市道五十洲吉浦線　舗装改修工事　L=16m　C= 824千円 事務費(人件費)　C= 175千円

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
8	2	3	（道路橋梁整備費）	道路橋梁整備事業費（補正分）	0	31,050	0	31,050 （うち繰越） 31,050	○ 国の補正予算に伴い計画を前倒ししたことにより、実施計画の調整に不測の時間を要したため、全額繰越
				道路災害防除事業費	115,252	134,059	46,127	87,932 （うち繰越） 87,932	○ 道路の安全性・防災力の向上を図るため市道法面等の防災対策を実施 市道小田屋東山里線　法面対策工事　L=20m　C=　2,570千円 市道大沢1号線　法面対策工事　L=10m　C=　7,106千円 市道獅子鼻線　法面対策工事　L=20m　C=　19,800千円 市道塚田実校線　法面対策工事　L=46m　C=　11,814千円 調査設計等委託料(市道小池下山線外)　C=　3,278千円 事務費(人件費)　C=　1,559千円 事業評価　市道法面等の防災対策を実施し、落石や法面崩壊など道路に危険を及ぼす災害を未然に防ぎ道路通行の安全確保を図った。
				橋梁長寿命化対策事業費	91,284	141,111	44,888	96,223 （うち繰越） 96,223	○ 橋梁の安全性を確保するため橋梁長寿命化計画をもとに橋梁長寿命化対策を実施 市道光浦4号線　七海橋　橋梁補修工事　L=12m　C=　1,597千円 市道南町・駅西線　二ツ屋橋　橋梁補修工事　L=60m　C=　8,700千円 市道打良木西脇線　梨の木橋　橋梁補修工事　L=37.2m　C=　16,200千円 調査設計委託料(市道西脇4号線河内橋外)　C=　16,874千円 事務費(人件費)　C=　1,517千円 事業評価　老朽化する道路ストックを適切に維持管理できるよう、道路施設及び道路附属物の総点検を実施し必要な対策を戦略的に推進している。橋梁長寿命化は国の重点施策であり、市の対策状況を対外的に発信する必要もあることから重点的に事業を実施した。
				橋梁長寿命化対策事業費（補正分）	0	69,359	0	69,359 （うち繰越） 69,359	○ 国の補正予算に伴い計画を前倒ししたことにより、実施計画の調整に不測の時間を要したため、全額繰越
				道路橋梁整備事業費（防災・安全交付金）（繰越明許）	108,350	21,076	21,065	11	○ 道路の利便性の向上、安全性の確保を図るため市道の整備、改良等を実施 市道城兼1号線　道路整備工事　L=50m　C=　21,065千円
				道路橋梁整備事業費（市道深谷滝町線）（繰越明許）	19,526	32,973	25,344	7,629	○ 産業廃棄物管理型最終処分場の建設工事用道路となる市道深谷滝町線の整備を実施 市道深谷滝町線　道路改修工事　その1　L=3.6m　C=　2,875千円 市道深谷滝町線　道路改修工事　その2　L=22m　C=　21,263千円 事務費(人件費)　C=　1,206千円

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
8	2	3	（道路橋梁整備費）	道路橋梁整備事業費 （補正分） （繰越明許）	41,400	20,700	17,813	2,887	○ 道路の利便性の向上、安全性の確保を図るため市道の整備、改良等を実施 市道中段2号線　法面対策工事　L=20m　C=　3,243千円 市道暮坂線　法面対策工事　L=13m　C=　3,300千円 市道百成大角間鵜山線　法面対策工事　L=17m　C=　3,850千円 市道佐野1号線　法面対策工事　L=6.3m　C=　4,125千円 市道洲衛与呂見線　法面対策工事　L=8m　C=　1,265千円 市道名舟1号線　法面対策工事　L=9.4m　C=　1,232千円 補償費(市道名舟1号線)　C=　265千円 事務費(人件費)　C=　533千円
				道路災害防除事業費 （繰越明許）	25,745	40,584	16,582	24,002	○ 道路の安全性・防災力の向上を図るため市道法面等の防災対策を実施 市道小田屋東山里線　法面対策工事　L=117.6m　C=　16,582千円
				橋梁長寿命化対策事業費 （繰越明許）	83,555	38,500	38,500	0	○ 橋梁の安全性を確保するため橋梁長寿命化計画をもとに橋梁長寿命化対策を実施 市道猿山線　深見橋　橋梁補修工事　L=9m　C=　11,660千円 市道田村亀部田線　浦田橋　橋梁補修工事　L=28m　C=　8,908千円 市道光浦4号線　七海橋　橋梁補修工事　L=12m　C=　17,932千円
8	2	4	交通安全施設整備費	交通安全施設整備事業費	5,895	5,000	4,039	961	○ 事故防止のためガードレール、カーブミラー等の交通安全施設の整備、修繕を実施 市道気勝平1号線　安全施設設置工事　N=1基　C=　404千円 市道鳳至川岸線ほか1路線　安全施設設置工事　N=2基　C=　731千円 市道岩倉線　安全施設設置工事　N=1基　C=　385千円 市道道下深見線　安全施設設置工事　L=16m　C=　1,870千円 市道伏坂向線　安全施設改修工事　L=16m　C=　649千円 事業評価　ガードレール、カーブミラー等の整備・修繕を行い道路利用者の安全を確保した。今後もパトロール等を実施し施設整備を図る。
8	3	1	河川費	河川維持費	2,066	2,100	1,098	1,002	○ 河川の機能維持を図るため整備、修繕を実施 河川管理等業務委託(倒木撤去、漂着物回収、補修等)　C=　1,079千円 光熱水費　C=　19千円 事業評価　河川の補修、支障物の撤去等を行うことにより、災害発生の防止、正常な河川機能の維持を図ることができた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
8	3	2	急傾斜地崩壊対策費	県急傾斜地崩壊対策事業負担金	4,260	5,500	539	4,961 (うち繰越) 4,961	○ 石川県が実施する急傾斜地崩壊対策事業に対し所定の割合で事業費を負担 県急傾斜地崩壊対策事業負担金　C= 539千円 県実施箇所：鈴屋、谷内地、岩出、菰沢 事業評価：石川県が実施する急傾斜地崩壊対策事業費を一部負担することにより、住民の安全を図ることができた。
				県急傾斜地崩壊対策事業負担金（補正分）	0	6,000	0	6,000 (うち繰越) 6,000	○ 国の補正予算に伴い計画を前倒ししたことにより、実施計画の調整に不測の時間を要したため、全額繰越
				県単急傾斜地崩壊対策事業費	26,626	26,574	10,219	16,355 (うち繰越) 16,342	○ 付近住民の安全確保を目的に急傾斜地崩壊危険箇所に崩壊防止工事を実施 〔小峯山地区〕 県単急傾斜地崩壊対策工事　小峯山地区　L=20m　C= 9,800千円 事務費(人件費等)　C= 419千円 事業評価：急傾斜地崩壊危険箇所に事業を実施することにより、急傾斜地崩壊による災害から住民の生命・財産を保全することができた。
				県急傾斜地崩壊対策事業負担金（繰越明許）	0	1,300	1,300	0	○ 石川県が実施する急傾斜地崩壊対策事業に対し所定の割合で事業費を負担 県急傾斜地崩壊対策事業負担金 県実施箇所：鈴屋
				県急傾斜地崩壊対策事業負担金(補正分)（繰越明許）	9,900	6,200	4,874	1,326	○ 石川県が実施する急傾斜地崩壊対策事業に対し所定の割合で事業費を負担 県急傾斜地崩壊対策事業負担金 県実施箇所：鈴屋、岩出、菰沢、谷内地
11	2	1	土木施設災害復旧費	現年発生土木施設補助災害復旧事業費	62,953	10,121	10,121	0	○ 災害等により被災した土木施設の復旧を図るため国庫補助災害復旧事業制度により災害査定をうけた事業について災害復旧事業を実施 第162号　市道大久保1号線　道路災害復旧工事　L=22m　C= 7,810千円 第163号　市道申ヶ場線　道路災害復旧工事　L=6m　C= 2,002千円 事務費(人件費)　C= 309千円

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
11	2	1	（土木施設災害復旧費）	現年発生土木施設単独災害復旧事業費	26,889	727	688	38	○ 公共土木施設災害復旧国庫補助の適用をうけるための日常点検業務等を実施するとともに国庫補助対象とならない災害復旧事業を実施 【R4】【R5】 公共土木施設(輪島地区)巡視点検業務委託 432千円 418千円 公共土木施設(門前地区)巡視点検業務委託 237千円 230千円 消耗品 126千円 40千円 調査設計委託料 7,293千円 0千円 作業委託 18,801千円 0千円 合計 26,889千円 688千円 事業評価：土木施設の巡視点検を行い、異常箇所の早期発見から土木施設の機能維持を図ることができた。
				過年発生土木施設単独災害復旧事業費	0	6,311	6,311	0	○ R4大雪により被災した土木施設のうち、国庫補助対象とならない災害復旧事業を実施 作業委託(倒木処理等) 6,311千円 事業評価：大雪により被災した河川の支障物撤去等を行うことにより、河川機能の維持を図ることができた。
				現年発生土木施設補助災害復旧事業費（繰越明許）	0	72,637	43,966	28,672 （うち繰越） 28,160	○ 災害等により被災した土木施設の復旧を図るため国庫補助災害復旧事業制度により災害査定をうけた事業について災害復旧事業を実施 第245号 普通河川紅葉川 河川災害復旧工事 L=4m C= 3,234千円 第332号 普通河川貴廟川 河川災害復旧工事 L=12m C= 3,137千円 第333号 普通河川別所谷川 河川災害復旧工事 L=7m C= 2,882千円 第251号 市道小田屋東山里線 道路災害復旧工事 L=9m C= 3,102千円 第253号 市道小泉5号線 道路災害復旧工事 L=9m C= 3,834千円 第247号 普通河川深見川 河川災害復旧工事 L=9m C= 2,175千円 第249号 普通河川中野屋川 河川災害復旧工事 L=6m C= 2,805千円 第250号 普通河川仁岸川 河川災害復旧工事 L=14m C= 4,807千円 第337号 市道切狭久川線 道路災害復旧工事 L=16m C= 3,224千円 第339号 市道俊兼嶺線 道路災害復旧工事 L=26m C= 5,650千円 第335号 普通河川南川 河川災害復旧工事 L=12m C= 5,596千円 第336号 普通河川浅生田川 河川災害復旧工事 L=15m C= 3,520千円
				現年発生土木施設単独災害復旧事業費（繰越明許）	0	17,111	16,994	117	○ R4大雪により被災した土木施設のうち、国庫補助対象とならない災害復旧事業を実施 作業委託(倒木処理等) 16,994千円

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
8	1	2	建築総務費	住宅耐震化促進事業費	13,490	15,988	15,878	110	○ 既存木造住宅の耐震改修にかかる経費の一部を助成 補助対象　S56.5.31以前に建築された木造住宅 ① 一般型　1戸あたり限度額　1,500 千円 ・ 上部構造評点の判定値を1.0以上とする工事　補助率　10/10 ② 耐震診断 ・ 1戸あたり限度額（耐震診断のみ）　90 千円　補助率　3/4 ・ 1戸あたり限度額（耐震改修した場合）　200 千円　補助率　10/10　（限度額200千円） ③ 安全対策工事　一戸あたり限度額　500 千円 ・ 耐震改修に合わせて行う 屋根・外壁の飛散防止対策工事　補助率　10/10

補助名	【R4】件数	【R4】補助額	【R5】件数	【R5】補助額
① 一 般 型	5 件	7,500 千円	6 件	8,438 千円
② 耐震診断	5 件	890 千円	14 件	2,140 千円
③ 安全対策工事	5 件	2,500 千円	6 件	2,700 千円
	計	10,890 千円	計	13,278 千円

④ 既存建築物耐震改修促進業務委託　2,600 千円

事業評価	H20からR5までに一般型153件、簡易型481件、耐震診断203件を実施。能登半島地震より10年以上経過したが、耐震化率の向上が鈍化しているので、耐震改修の普及・啓発を目的として耐震アクションプログラム（住宅訪問等による普及啓発）を建築士会輪島支部に委託。今後もより補助制度の周知を図り、耐震改修の促進に努める。

				空家等対策事業費	15,578	18,784	18,021	763 （うち繰越） 500	○ 空家等利活用推進事業補助金および危険建築物除却補助金制度の実施 ① 危険建築物除却費　危険と認定した建築物の解体　限度額　500 千円　補助率1/2 ② 登録空家購入費　空き家データベース登録空家の購入　限度額　1,000 千円　補助率1/2 ③ 登録空家改修費　空き家データベース登録空家の改修　限度額　1,000 千円　補助率1/2

補助名	【R4】件数	【R4】補助額	【R5】件数	【R5】補助額
①除却費	20 件	8,809 千円	0 件	0 千円
②購入費	0 件	0 千円	5 件	5,000 千円
③改修費	2 件	2,000 千円	6 件	5,662 千円
合計	22 件	10,809 千円	11 件	10,662 千円

○ 空き家データベースの運営事業における補助金　900 千円
交付先：輪島市空家等活用推進協議会

○ 緊急安全代行措置費　486 千円

○ 中浜住宅改修（移住者受入を目的）　5,731 千円

○ 旧金蔵小学校体育館アスベスト事前調査　242 千円

事業評価	補助金制度による危険建築物の解消及び空家利活用の促進が図られた。防犯・防火及び景観改善につながるため引き続き対応していく。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
8	5	1	都市計画総務費	景観推進事業費	2,300	1,688	787	901	○ 景観重要建造物及び景観重要樹木に対する整備事業開始に向けた取組 景観重要建造物　補助率　1/2　上限額　1,000 千円 塗師の家・中津家・大崎家・中島家など　19件 景観重要樹木　補助率　1/3　上限額　200 千円 聖光寺・漆器組合・漆芸美術館・中江家・白藤家・中島家など　11件 ○ 景観重点地区修景整備事業 馬場崎・駅前地区　鳳至上町地区　總持寺周辺地区　まんなか地区　間垣の里地区　長山地区

	【R4】		【R5】	
	件数	補助額	件数	補助額
建造物	1 件	104 千円	1 件	99 千円
樹木	1 件	20 千円	3 件	188 千円
修景整備	1 件	500 千円	1 件	500 千円
合計	3 件	624 千円	5 件	787 千円

事業評価	景観重要建造物及び景観重要樹木による新たな修景整備事業に取り組み、地域のまちなみ景観に対する興味注目を集めながら、今後も制度を周知し、まちなみ景観の保全に努めていく。

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
8	5	4	街路事業費	県街路事業負担金	42,750	39,515	6,890	32,625	○ 街路事業負担金　6,890 千円 ・（都)河井町横地線整備事業

事　業　名	対象事業費	負担率	負担額
街路事業（社会資本整備総合交付金(防災安全)	30,000 千円	0.225	6,750 千円
街路事業（枠単）	558 千円	0.25	140 千円

事業評価	道路橋梁整備事業費との連携により市街地における回遊性及び交通の利便性の向上を図るための街路事業を実施しており、道路網の形成に向けた進捗を図ることができた。今後も必要予算の確保について関係機関との調整を行う必要がある。

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
				居住誘導促進事業費	5,000	1,000	1,000	0	○ 市が人口密度を維持したい区域(居住誘導区域)内における住宅の新築補助 居住誘導促進事業 ・ 居住誘導区域に自己の居住用の住宅を新築する者に建設費の一部を補助 補助率　10/10　上限額　1,000 千円

【R4】		【R5】	
件数	補助額	件数	補助額
5 件	5,000 千円	1 件	1,000 千円

事業評価	令和6年能登半島地震の被災による影響が大きいが、居住誘導区域内での個人住宅の建設に補助を行い市街地への居住を誘導することができた。今後地震による空き地が増加することを踏まえ、制度の周知を進めて市街地への居住誘導を図る。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
8	5	5	まちづくり推進費	移住・定住促進事業費	11,303	22,310	14,468	7,842	

○ 転入し就業した者に奨励金を交付し、移住定住の促進を図る。

① 移住支援金　市内に転入後、1年以内に地元企業等に就業した者に10万円の奨励金を交付
② 定住支援金　市内に転入後、1年以内に地元企業等に就業し、就業から1年間の就業期間を満たした者に20万円の奨励金を交付

◆交付決定者数

補助名	【R4】		【R5】	
	件数	補助額		補助額
①移住支援金	44 件	4,400 千円	25 件	2,500 千円
②定住支援金	27 件	5,400 千円	30 件	6,000 千円
合計	71 件	9,800 千円	55 件	8,500 千円

○ 東京圏から移住し、就業した方に移住支援金を交付し、中小企業等の人手不足の解消を図る。

①世帯での移住　100万円に加えて18歳未満の子１人につき100万円加算
②単身での移住　60万円

◆ 交付決定者数

	【R5】	
	件数	補助額
①世帯での移住	0 件	0 千円
②単身での移住	2 件	1,200 千円
合計	2 件	1,200 千円

○ 移住に向けた準備のための宿泊滞在費の支援を行い、移住希望者支援および市内宿泊施設の活用を促進。

移住相談支援金　【R5新設】　1 件 20 千円

◆事務費　4,748千円

事業評価	震災前は前年並みの支給があったが。震災後は定住支援金のみ対応を実施し、移住支援金の交付対応を復興やまちづくりの体制が整うまで一時保留扱いとする。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
8	7	2	住宅建設費	公営住宅ストック総合改善事業費	4,763	95,205	95,205	0	○ 市営さくら住宅の外壁の長寿命化を図るため改修工事 市営さくら住宅　2棟　24戸　構造　RC-3　築年数　H9年 市営夕陽ケ丘住宅　1棟　10戸　構造　RC-3　築年数　H12年 ◆ さくら住宅外壁改修工事　91,520 千円 ◆ さくら住宅外壁改修工事監理　1,320 千円 ◆ 夕陽ヶ丘住宅外壁等改修工事実施設計　2,365 千円 事業評価：さくら住宅外壁改修工事を実施した。 夕陽ヶ丘住宅外壁改修工事実施に向けた実施設計を実施した。
				公営住宅長寿命化対策事業費	2,739	4,741	4,741	0	○ 市営住宅の長寿命化を図るため、長寿命化計画に基づいて改修工事を実施する。 ◆ 宅田住宅外壁改修工事（6戸/12戸）　4,741 千円 事業評価：今年度実施した改修工事により、住宅の長寿命化や、今後の維持管理費の節減が見込まれる。今後も計画的な改善により長寿命化を図っていく。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価	
4	1	4	環境衛生費	飲料水供給施設整備費補助	5,066	15,000	11,613	3,387	○ 地元で管理している飲料水供給施設の塩素滅菌設備等の整備・改修費補助(補助率80%) 交付先(計3件) 上大沢水道組合　791 千円 上山町水道組合　10,560 千円 久川区水道組合　262 千円	
									事業評価	地区管理の飲料水供給施設の老朽化に伴う施設の更新等費用について地元住民の負担を軽減するとともに、市の水道給水区域外の地域における生活用水の確保を図ることができた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
2	1	1	販売促進費	マリンタウン用地販売促進事業費	8,900	35,400	12,600	22,800	○ マリンタウン分譲地の販売促進及び良好な街並みを形成するための住宅建設費補助 マリンタウン街並み景観形成事業補助金 ・ マリンタウン街並み景観基準により建設した住宅に対し、1区画につき120万円を限度として助成 ・ マリンタウン街並み景観基準によりモデル住宅建築業者に対し、300万円を限度として助成

【R4】

補助件数	交付先	金額(千円)
3件	市内 3名	2,900
2件	㈱家づくり輪島	6,000
計		8,900

【R5】

補助件数	交付先	金額(千円)
3件	市内 3名	3,600
3件	㈱家づくり輪島	9,000
計		12,600

事業評価	マリンタウンにおける住宅建設費補助により、マリンタウン住宅用地の販売を促進し、良好な街並み景観形成を図ることができた。今後は効果を継続させるため、周知の徹底を図ることとする。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
収益的支出									
1	1	2	配水及び給水費 簡易水道配水及び給水費	水道事業におけるIoT・新技術活用推進モデル事業	4,533	4,209	4,209	0	○ 水道事業におけるIoT・新技術活用推進モデル事業 ・ 遠隔検針用量水器(電子式量水器)購入　1,320 千円 13mm 50個、20mm 110個　計160個 （うち輪島上水区域123個、門前上水区域34個、町野簡水区域3個） ・ 遠隔検針用量水器無線通信端末購入　1,232 千円 160個 ・ 遠隔検針用量水器無線通信端末取付業務委託　1,155 千円 160個 ・ 量水器取替業務委託　502 千円 96件（全体件数160件のうち64件については、職員で設置） 事業評価：水道スマートメーターの導入により、漏水世帯の早期発見につなげるとともに、断水被害の拡大防止に役立てることができた。
資本的支出									
1	1	1	水道施設整備費	水道施設整備事業	381,211	488,020	198,123	289,897 (うち繰越) 98,442	○ 水道管路耐震化等推進事業(水道管路緊急改善事業) ・ 水道管布設替工事(大野工区)(※繰越79,060千円)　131,560 千円 配水管(φ150)L=806.9m、配水管(φ100)L=121.5m、配水管(φ75)L=858.9m　外 ・ 水道管布設替詳細設計業務委託　12,774 千円 ○ 水道管布設工事（大野工区）　3,783 千円 配水管(φ50)L=52.0m ○ 輪島地区 ・ 一般国道470号輪島道路関連移設補償工事　外　5,232 千円 ・ 一般国道249号輪島バイパス関連移設補償工事　外　15,024 千円 ・ 河井町横地線関連移設補償工事　616 千円 ・ 下仁行減圧弁更新工事　1,650 千円 ・ 長井送水ポンプ場電気設備更新工事（繰越）　5,768 千円 ・ 一乗ポンプ場サンプリングポンプ更新工事　198 千円 ・ 輪島浄水場無停電電源装置更新工事（繰越）　3,190 千円 ・ 気勝平町送水ポンプ場送水ポンプ更新工事　3,410 千円 ・ 美谷配水池計装設備更新工事　2,327 千円 ○ 門前地区 ・ 地原浄水場ろ過池捨水弁更新工事（繰越）　10,424 千円 ・ 薄野ポンプ場電気設備更新工事　2,167 千円 事業評価：老朽管の更新に併せた管路の耐震化を実施するとともに、電気機械設備等の更新を行うことにより、水道施設の長寿命化を図ることができた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
1	1	1	水道施設整備費（繰越明許）	水道施設整備事業（繰越明許）	0	13,937	13,937	0	○ 輪島地区 ・ 公設消火栓移設補償工事（本江工区） 1,485 千円 ○ 門前地区 ・ 地原浄水場ろ過池捨水弁更新工事 9,207 千円 ・ 穴水門前線改築工事に伴う補償工事詳細設計業務（内保・本内工区） 3,245 千円 事業評価：移設補償工事等に伴せた水道管路等の更新を行うことにより、管路等の長寿命化を図ることができた。
1	1	2	簡易水道施設整備費	簡易水道施設整備事業	65,860	91,600	81,982	9,618 （うち繰越） 4,991	○ 生活基盤近代化事業(基幹改良) ・ 町野浄水場機械設備更新工事 70,642 千円 膜ろ過ユニット更新N=1式、膜ろ過水ポンプ更新N=1台　外 ○ 町野地区 ・ 町野浄水場薬品注入設備更新工事 902 千円 ・ 佐野加圧ポンプ場1号ポンプ更新工事 695 千円 ・ 宇出津町野線改築工事に伴う移設補償工事（繰越） 2,563 千円 ・ 南志見送水ポンプ場電気設備更新工事（繰越） 2,428 千円 ・ 尊利地送水ポンプ場サンプリングポンプ更新工事 198 千円 ○ 舳倉島地区 ・ 舳倉島浄水場海水用エレメントフランジ更新工事 3,454 千円 ○ 洲衛地区 ・ 洲衛浄水場薬品注入設備更新工事 1,100 千円 事業評価：機械設備等の更新を行うことにより、水道施設の長寿命化を図ることができた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
資本的支出									
1	1	1	管渠施設整備費	管渠施設整備事業	60,972	112,000	42,321	69,679	○ 輪島処理区 ・ 公共桝設置工事　4件　1,447 千円 ・ 輪島バイパス関連移設補償工事ほか　2件　10,722 千円 ・ 河井町横地線関連移設補償工事　4件　932 千円 ・ 二勢町マンホールポンプ場電気設備更新工事　2,310 千円 ○ 門前・剱地処理区 ・ 門前クリーンパーク建設工事に伴う機械・電気設備工事　25,755 千円 ○ 農集・阿岸地区 ・ 公共桝設置工事　1件　1,155 千円 事業評価：新たな公共桝の設置により、下水道への新規接続向上に寄与することができた。
1	1	1	管渠施設整備費（繰越明許）	管渠施設整備事業（繰越明許）	34,213	104,023	99,155	4,868	○ 門前処理区 ・ 門前クリーンパーク建設工事に伴う機械・電気設備工事等　68,845 千円 ・ 鹿磯地区マンホールポンプ場電気設備更新工事　9,130 千円 ・ 門前処理区マンホールポンプ場遠方監視装置更新工事　7,832 千円 ・ 黒島地区マンホールポンプ場電気設備更新工事　13,348 千円 事業評価：電気機械設備等の更新を行うことにより、下水道施設の長寿命化を図ることができた。
1	1	3	処理場施設整備費	処理場施設整備事業	81,339	338,200	34,333	303,867 （うち繰越） 179,947	○ 輪島処理区 ・ 輪島市浄化センター電気設備更新工事　789 千円 ・ 輪島市浄化センター汚泥処理棟機械設備改築工事実施設計業務　2,387 千円 ○ 門前・剱地処理区 ・ 門前水質管理センターUPS更新工事　880 千円 ・ 門前水質管理センター耐震化工事　4,600 千円 ・ 門前水質管理センター前処理棟機械設備更新工事　9,100 千円 ・ 門前水質管理センター機械設備更新実施設計業務　2,310 千円 ・ 門前水質管理センター電気設備更新実施設計業務　14,267 千円 事業評価：建物の改築、修繕等を実施することにより、下水道施設の長寿命化を図ることができた。

下水道事業会計主要施策

上下水道局

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度 決算額 （R4）	予算額 （流用額含む） A	決算額 B	差引 A－B	事業内容（成果・実績）・評価
1	1	3	処理場施設 整備費 （繰越明許）	処理場施設整備費 （繰越明許）	12,595	139,231	139,231	0	○ 輪島処理区 ・ 輪島市浄化センター汚泥処理棟機械設備更新工事 6,578 千円 ・ 輪島市浄化センター沈砂池棟機械設備更新工事 17,650 千円 ・ 輪島市浄化センター電気設備更新工事 85,200 千円 ○ 門前・剱地処理区 ・ 門前水質管理センター汚泥処理棟機械設備更新工事 29,803 千円
									事業評価：電気機械設備等の更新を行うことにより、下水道施設の長寿命化を図ることができた。
1	1	4	浄化槽整備費	浄化槽整備事業	36,216	46,700	38,061	8,639	○ 市町村整備浄化槽設置工事 ・ 浄化槽設置工事(19基) 38,061 千円 5人槽 16基、7人槽 1基、10人槽 1基、30人槽 1基
									事業評価：新たに合併処理浄化槽を整備することにより、市内全体の水洗化率向上に寄与することができた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
6	1	3	農業振興費	農産物主産地化事業費	527	1,300	625	675	○ 奨励作物(かぼちゃ、ミニトマト、小豆、小松菜、そば、自然薯、アスパラガス、ほうれん草)を栽培する市内に住所を有する農家団体(3戸以上)、農業協同組合に対し、苗代20%を助成することで、奨励作物の産地化、農業経営の複合化を進め奨励作物栽培農家の所得向上を図る。

区分			おおぞら農業協同組合 輪島支店	門前支店	町野支店	合計
作物名	ミニトマト	戸数(戸)	11	9	16	36
		作付面積(㎡)	3,748	1,730	4,300	9,778
		生産量(kg)	8,820	1,495	20,670	30,985
	かぼちゃ	戸数(戸)	9	7	6	22
		作付面積(㎡)	7,560	6,580	6,500	20,640
		生産量(kg)	4,851	6,005	7,330	18,186
	そば	戸数(戸)	－	3	－	3
		作付面積(㎡)	－	75,000	－	75,000
		生産量(kg)	－	1,128	－	1,128
	アスパラガス	戸数(戸)	－	－	1	1
		作付面積(㎡)	－	－	4,000	4,000
		生産量(kg)	－	－	2,520	2,520
総事業費（千円）			727	1,263	1,132	3,122
補助額（千円）			146	253	227	625

事業評価

奨励作物の苗代助成により、地域振興作物の栽培普及を行った結果、生産農家の農業所得向上と経営の安定化につながった。また、主食用米の買取価格が回復傾向ではあるものの、依然として米の需要は減少傾向であることから、今後も本制度により主食用米からの転作を推進していく必要がある。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
6	1	3	（農業振興費）	担い手経営強化支援事業費	6,010	5,000	4,996	4	○ 農地の維持及び保全のため、必要な農業用機械又は設備を購入する者に対し、補助金を交付することにより地域の中心となる農業の担い手の育成及び集落営農を促進する。
				農林水産物ブランド化推進事業費	659	1,417	950	467	○ 「のとてまり」の生産拡大の加速を図るため、意欲ある生産者の規模拡大や商品化率向上等に必要な施設及び機械の導入に対して支援する。

補助対象農業用機械	件数
①トラクター(100万円以上のもの)	2
②田植機(50万円以上のもの)	2
③コンバイン(100万円以上のもの)	1
④農業用機械のアタッチメント(50万円以上のもの)	2
⑤乾燥機、もみすり機、色彩選別器、選別計量器その他乾燥調整設備(50万円以上のもの)	5
⑥スマート農業機械(農林水産省公表のスマート農業技術カタログ掲載されている10万円以上のもの)	0
⑦耕うん機等畑作物の栽培に必要と認められる管理機(50万円以上のもの)	0
⑧農業用パイプハウス(施工費を含み50万円以上のもの)	1

（単位：千円）

区分	補助対象者	要件	補助率	限度額	件数	交付額計
水田	農業者	作付面積2ha以上5ha未満	補助対象の10%以内	200	1	143
		作付面積5ha以上10ha未満		400	0	0
		作付面積が10ha以上		600	0	0
	認定農業者、認定新規就農者、営農組織	作付面積2ha以上5ha未満	補助対象の20%以内	400	3	1,030
		作付面積5ha以上10ha未満		600	4	1,491
		作付面積が10ha以上		800	3	1,863
畑作	農業者	前年度販売額100万円以上300万円未満	補助対象の10%以内	200	1	200
		前年度販売額300万円以上500万円未満		400	0	0
		前年度販売額500万円以上		600	0	0
	認定農業者、認定新規就農者、営農組織	前年度販売額100万円以上300万円未満	補助対象の20%以内	400	1	269
		前年度販売額300万円以上500万円未満		600	0	0
		前年度販売額500万円以上		800	0	0
合　計					13	4,996

事業評価：トラクター、田植え機、コンバインといった農業用機械を大型化・高性能化することにより農作物の生産性が向上し、経営規模の拡大につながったほか、農作物の品質の向上に伴い所得が向上し、農業経営の安定につながった。また、色彩選別機を導入し、品質不良の米や異物を取り除くことによって、米の品質及び付加価値の向上に伴い所得が向上し、農業経営の安定につながった。

補　助　率　：県1/2以内　市1/6以上　JA1/6　生産者1/6
交　付　先　：奥能登原木しいたけ活性化協議会
事 業 内 容　：ビニールハウス・簡易環境制御装置(ミスト発生装置)
事　業　費　：3,745千円　(県1,248千円　市624千円　その他1,873千円)

○ 農林水産物ブランド化推進事業費補助金　326千円
（交付先：山菜ブランド化推進協議会）

事業評価：のとてまり栽培においてはビニールハウスの整備や簡易環境制御装置の導入によって施設環境を整備することにより、栽培管理を効率的に行うことができるようになり、安定生産につながった。山菜については、行者ニンニクの育苗等に対し補助することにより、生産者の増加につながった。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
6	1	3	（農業振興費）	新規就農者助成事業費	942	1,240	217	1,023	○ 新規就農開始助成金 →市外から新たに定住した新規就農者に対し助成を行うことで、農業担い手の確保を図る。 R3年度　実績なし R4年度　1名　720千円(R4.5～) 500千円+20千円×11ヶ月=720千円 R5年度　1名　20千円×1ヶ月=20千円 ○ 農業インターンシップ →都市住民の農作業等への従事や地元住民との交流など能登での生活を体験・研修する機会を設けることにより、都市住民が能登地区で就農・定住することを図る。 →市町からの負担金を財源の一部として、奥能登地区農業インターンシップ協議会が事業を展開する。 ＜研修生受入人数＞【R3】5名　【R4】3名　【R5】3名(4名希望者、1名研修生都合で中止) ＜負担金＞　【R3】420千円　【R4】222千円　【R5】197千円 **事業評価**：R5年度より引き続き新規就農開始助成金を交付した新規就農者1名は、助成金により就農初期の負担が軽減され、R6年度以降も市内での営農を継続できることとなった。また、奥能登地区農業インターンシップ協議会では3人が研修を受け、奥能登での農業の魅力を伝えることができた。
				多面的機能支払事業費	46,139	46,207	46,206	1	○ 農地、用水路、農道等の地域資源の適切な保全管理等、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農業者を中心とした地域の共同活動を支援(補助率：国50%、県25%、市25%) ＜交付金概要＞ 支払種別 / 交付金単価(円/10a) / 備考 ①農地維持 / 3,000 / 畦畔除草や農道の管理 ②資源向上(共同) / 2,400 / 生態系保全、景観形成等農地の多面的機能の向上に資する活動 ③資源向上(長寿) / 4,400 / 老朽化が進む農業用水路や農道等の施設の補修・更新 ＜交付実績＞ 支払種別 / 【R4】集落数 / 【R4】面積(ha) / 【R4】交付金(千円) / 【R4】うち市費 / 【R5】集落数 / 【R5】面積(ha) / 【R5】交付金(千円) / 【R5】うち市費 ① / 80 / 963 / 28,641 / 7,160 / 80 / 964 / 28,666 / 7,166 ② / 55 / 694 / 12,291 / 3,072 / 55 / 695 / 12,232 / 3,058 ③ / 9 / 145 / 5,006 / 1,251 / 9 / 144 / 5,107 / 1,276 合計 / 80 / 1,802 / 45,938 / 11,483 / 80 / 1,803 / 46,005 / 11,500 ※集落数合計については、実集落数 事務費　200千円 **事業評価**：集落が共同で行う農用地・水路・農道・ため池の保全活動を支援することによって、集落主体で農用地等を耕作可能な状態に保全管理できている。また、荒廃農地の発生防止、外来種の駆除による生態系保全、鳥獣被害の防止につながっているほか、集落内での共同作業機会が増えたことにより、参加者同士の交流も生まれている。集落からも事業継続の要望もあり、今後も継続して支援を行っていく必要がある。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
6	1	3	（農業振興費）	中山間地域等直接支払事業費	126,995	128,551	128,551	0	
				環境保全型農業直接支払事業費	10,141	10,598	10,597	1	

中山間地域等直接支払事業費

○ 中山間地域での農業生産活動をする集落等を支援(交付金の交付)することで、農業生産条件の不利を補正し集落の維持・強化を図る。

対象農地：急傾斜(田1/20～・畑15度)、緩傾斜(田1/100～・畑8度)
対象行為：①農業生産活動等を継続するための活動、②体制整備のための前向きな取組
交付単価：次表のとおり(加算措置あり)

田	急傾斜	21,000円/10a
	緩傾斜	8,000円/10a
畑	急傾斜	11,500円/10a
	緩傾斜	3,500円/10a

※②を行わない場合は80%

加算措置(田1/10以上、畑20度以上が対象)

・棚田地域振興活動加算(急傾斜地)	田・畑　10,000円/10a
・棚田地域振興活動加算(超急傾斜地)	田・畑　14,000円/10a(R4年度～)
・超急傾斜農地保全管理加算	田・畑　6,000円/10a
・集落協定の広域化	田・畑　3,000円/10a
・集落機能強化加算	田・畑　3,000円/10a
・生産性向上加算	田・畑　3,000円/10a

年度	交付額(千円)	協定数			対象面積(㎡)			その他(千円) 事務費
			集落	個別		急傾斜農地	緩傾斜農地	
【R4】	126,795	98	94	4	9,166,948	4,133,841	5,033,107	200
【R5】	127,921	101	97	4	9,166,948	4,170,449	5,175,604	630

補助率：国50%、県25%、市25%（事務費、国費100%）

事業評価

集落主体での耕作放棄の発生防止活動、泥上げ、草刈り等といった水路・農道等の管理活動を支援することにより、農用地の保全をはじめ、洪水や土砂崩れの防止、農村の景観保全などといった多面的機能の確保にもつながっている。また、参加協定数及び対象面積も増加しており、今後も継続して支援を行っていく必要がある。

環境保全型農業直接支払事業費

○ 農業の持つ物質循環機能を活かし、生産性との調和等に留意しつつ、土づくり等を通じて化学肥料、農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業に取り組む農業者に対して助成

対象となる取組	補助単価（円/10a）
①化学肥料、化学合成農薬の5割低減＋カバークロップ作付	8,000
②化学肥料、化学合成農薬の5割低減＋リビングマルチ又は草生栽培	
③化学肥料、化学合成農薬の5割低減＋冬期湛水管理	
④有機農業(化学肥料、農薬を使用しない)	12,000
⑤IPMと組み合わせた畦畔の機械除草及び長期中干し	4,000

補助率
国50%
県25%
市25%

	【R4】					【R5】				
	件数	面積(a)	補助金(千円)	国費・県費	市費	件数	面積(a)	補助金(千円)	国費・県費	市費
①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④	4	4,248	5,098	3,823	1,274	3	4,398	5,277	3,958	1,319
⑤	3	12,609	5,044	3,783	1,261	3	13,299	5,320	3,990	1,330
計	7	16,857	10,141	7,606	2,535	6	17,697	10,597	7,948	2,649

事業評価

使用すると温室効果ガスが発生し、また生産に化石燃料を使用する化学農薬や化学肥料を低減する取組を実施することにより地球温暖化防止につながっているほか、様々な生き物が生息できる環境を保全する取組は、食物連鎖及び生態系の維持にもつながっており、今後も引き続き推進していく必要がある。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
6	1	3	（農業振興費）	農業次世代人材投資事業費	750	1,500	1,500	0	○ 青年の就農意欲の喚起と就農定着を図るため、就農開始後の不安定な時期において最大5年間の給付金を交付(国費100%) 対象者　・原則50歳未満　・人・農地プランに位置づけられていること ・独立・自営農業者　・前年の農業所得が350万円未満であること ・経営開始計画が妥当なものであること(石川県の審査あり)

【R4】			【R5】		
交付件数	給付金(千円)	備　考	交付件数	給付金(千円)	備　考
1	750		1,500		

事業評価：就農時は農地の確保だけでなく、農業用機械等の購入や当面の生活費などで多額の費用が必要であることに加え、昨今の肥料や燃料の価格高騰等の影響により農業経営が不安定となっている中、本給付金の活用により離農を免れ、R6年度以降も引き続き市内での営農を継続できることとなった。

事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B
有害鳥獣対策事業費	21,892	21,162	13,750	7,412

○ 農地等に被害を及ぼす有害鳥獣を捕獲した者に対し報償金を交付
（対象有害鳥獣：イノシシ、報償額：成獣　25,000円／頭　幼獣　10,000円／頭(国費分を含む。)）

【R4】				【R5】			
区分	頭数	報償額(千円)	うち国費	区分	頭数	報償額(千円)	うち国費
幼獣	1,075	10,750	2,576	幼獣	658	6,580	1,317
成獣	241	6,025		成獣	97	2,425	
合計	1,316	16,775		合計	755	9,005	

○ 関係機関、関係団体との協調により、鳥獣による農林業被害を把握し、被害防止のため対策を実施する組織に対し運営費用を助成

	【R4】	【R5】
＜交付先＞　輪島市有害鳥獣対策協議会	323千円	53千円
＜有害鳥獣処理施設運営費＞		
有害鳥獣処理施設管理業務委託	2,596千円	2,730千円
有害鳥獣処理施設その他委託	1,066千円	636千円
その他管理費	1,132千円	1,326千円

事業評価：イノシシの駆除を支援及び推進することにより、農作物への食害をはじめ、耕地の掘り起こし、土手や水路を崩すなど農業基盤への被害防止につながった。また、捕獲したイノシシの処理を行う有害鳥獣処理施設の運営により、猟友会会員の埋設処分作業の負担軽減につながっており、今後も引き続き支援していく必要がある。

事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B
農業緊急経営支援事業費	8,543	6,500	3,111	3,389

○「農業経営への影響緩和」と「化学肥料の使用量低減」を目的に、化学肥料の低減に向けて取り組む販売農家に対し、前年度から増加した肥料費（高騰分）の15%を国事業の肥料価格高騰対策事業に上乗せする。

・補助対象者：化学肥料の低減に向けて取り組む販売農家（447人）
・補助対象肥料：令和4年11月～令和5年5月に注文した肥料（令和5年産米春肥）
・補助率：肥料費（高騰分）の15%（国70%と石川県15%と合わせて満額）
・補助方法：肥料価格高騰対策事業を実施している石川県肥料コスト低減対策推進協議会（事務局：全国農業協同組合連合会石川県本部）に補助
・補助額：3,111千円

事業評価：世界的な穀物需要の増加やエネルギー価格の上昇に加え、ロシアによるウクライナ侵略等の影響で、化学肥料原料の国際価格が大幅に上昇したことによる肥料価格高騰の影響を受けた農業者を支援することにより、農業経営の安定化及び産地維持につながった。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
6	1	3	（農業振興費）	農業経営収入保険料助成事業費	1,780	1,710	1,710	0	○ 農業者の経営努力では避けられない外部リスクによる収入減少に備え、農業経営の安定化を図るため、農業経営収入保険料に対する助成金を交付する。 ・対象者　R4年度中に石川県農業共済組合が取り扱う「農業経営収入保険」に加入又は更新の契約を締結した市内に住所を有する農業者 ・補助方法　石川県農業共済組合を通して補助 ・補助率・上限　農業経営収入保険に係る保険料及び事務費の1/2(上限60千円(認定農業者及び法人は100千円)) ・助成額　1,710千円(37人) 事業評価：近年増加傾向にある自然災害に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う米価下落やロシアのウクライナ侵攻等に伴う原油、肥料及び農業資材の価格高騰の影響により、農業経営が不安定となっている農業者の保険加入を促進し、農業経営の安定化を図ることで地域農業の維持・発展につながった。
				能登地域トキ放鳥受入推進事業費	500	2,000	1,316	684	○ 宝達志水町以北の4市5町において、各市町毎に1地区ずつ選定及び設置されたトキ放鳥推進モデル地区の化学肥料・化学合成農薬の低減、無農薬での畦畔除草、冬期湛水、江・水田魚道・水張水田の維持管理などといった取組に係る経費に対し補助を行う。 【R5実績】 ・交付先　町野町東区 ・取組内容　水張水田(621㎡)の維持管理、江(285m)の維持管理、化学肥料・化学合成農薬の低減実施田への農薬流入対策、冬期湛水(12,648㎡)の実施、生き物調査(6, 8月)の実施 ・補助額　1,000千円 ○ 石川県とゆかりが深いトキを「シンボル」とし、トキが舞う里山里海を未来の世代へ継承することを目的に、関係者が一丸となって、トキと共生する里地づくりの取組を推進するため、トキが羽ばたくいしかわを目指す。 ・交付先　能登地域トキ放鳥受入推進協議会 ・負担金　316千円 事業評価：トキが餌場として利用しやすい水張水田や、田んぼの中干し時期や降雪時にもトキの餌場となる江を維持することができ、また、畦畔の除草において、除草剤を使用しない定期的な草刈りを行ったほか、稲刈り後の冬期に田んぼに水を張ることにより、ミミズ、昆虫などといったトキの餌となる生き物がすむ環境整備につながった。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
6	1	5	農地費	県営広域営農団地農道整備事業負担金	41,087	97,830	39,244	58,586 内 繰越明許 58,256	○ 県営広域営農団地農道整備事業に関する市の所定割合負担(市負担：15%) 事 業 名：県営広域営農団地農道整備事業 事業内容：能登外浦4期(飯川谷～千代)　L=4,180m 区 分 ／ 総事業費(千円) ／ 市負担(千円) ／ 備　考 R4 ／ 700,000 ／ 41,087 ／ 繰越　63,913千円 R5 ／ 652,200 ／ 39,244 ／ 繰越　58,256千円 事業評価：輪島市門前町から宝達志水町を結ぶ、広域営農団地農道のうち未供用区間である能登外浦4期地区(飯川谷～千代)の、県営事業への市負担であり、今後事業の早期完成に向け進捗を図る上においても負担額の確保が必要である。
				県営一般農道整備事業負担金	2,313	12,500	3,810	8,690 内 繰越明許 8,690	○ 県営一般農道整備事業に関する市の所定割合負担(市負担：25%) 事 業 名：県営一般農道整備事業 事業内容：広域農道輪島地区(三井町仁行地内) 区 分 ／ 総事業費(千円) ／ 市負担(千円) ／ 備　考 R4 ／ 10,000 ／ 2,313 ／ 繰越　187千円 R5 ／ 50,000 ／ 3,810 ／ 繰越　8,690千円 事業評価：広域営農団地農道のうち、三井町仁行地内において、法面保全対策を行うもので、対策工の早期完成のため負担額の確保が必要である。
				県営農村地域防災減災事業負担金	1,142	1,253	231	1,022 内 繰越明許 1,022	○ 農業水利施設の長寿命化対策等として、老朽化した農業水利施設の機能診断や補修・更新、集中豪雨による農村地域の浸水対策等を実施 事 業 名：農村地域防災減災事業(山本町地内のため池改修事業) 事業期間：R4～R8 (負担金) 補 助 率：山本(防災対策型)　国55%、県34%、市11% 区 分 ／ 総事業費(千円) ／ 市負担(千円) ／ 繰越 ／ 備　考 R4 ／ 15,000 ／ 1,142 ／ 508 ／ 山本 R5 ／ 10,000 ／ 1,100 ／ 1,022 ／ 山本 (委託料)：計画策定業務 補 助 率：国55%　県45% 区 分 ／ 事業費(千円) ／ 市負担(千円) ／ 繰越 ／ 備　考 R4 ／ 5,300 ／ 0 ／ 5,300 ／ 金蔵2,700千円、能納屋2,600千円 R5 ／ 153 ／ 153 ／ 0 ／ 金蔵53千円、能納屋99千円 事業評価：当該地区の重要な水源であり、老朽化により波浪侵食・漏水が確認されていたが、堤体及び付帯施設の改修により、ため池機能の改善を図ることができた。また、豪雨調査により安全性が確保されなかった防災重点ため池においては、補強対策工の早期完成のため負担額の確保が必要である。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
6	1	5	（農地費）	県営ほ場整備事業負担金	30,283	42,155	29,860	12,295 内 繰越明許 11,832	○ 県営ほ場整備事業に関する市の所定割合負担及び、事業完了後の農地集積のための土地利用調整に関する補助金 事業個所 ： 本郷地区、町野北部、里地区、尾山地区、金蔵地区、阿岸地区、本郷地区 負担割合 ： ・事業負担金　国55%、県30%、市10%、地元5% ・調査設計事業　国50%、県25%、市25% ・土地利用調整　国55%、県45% ・集団化事業　国55%、県15%、市30% （単位：千円）

区　分	【R4】		【R5】	
負担金				
事業負担金	14,785	町野北部、里、本郷、本郷第2、尾山	21,466	町野北部、里、本郷、本郷第2、尾山
調査設計事業(担い手育成型)			3,890	金蔵、阿岸
委託料				
計画策定業務	1,199	金蔵	3,410	金蔵、阿岸、本郷
補助金				
環境機能増進	－			
農地集積促進	14,299	清水		
その他				
換地設計賦課金	－		1,094	金蔵地区、阿岸地区
合　計	30,283		29,860	

事業評価：営農の効率化を図るための農地の大区画化事業であり、完成後の担い手への農地集積により更なる営農の効率化が見込まれる。現在事業継続中であり早期完成に向け予算の確保が必要である。

事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
県営広域営農団地農道整備事業負担金（繰越明許）	50,431	63,913	63,913	0	○ 県営広域営農団地農道整備事業に関する市の所定割合を負担(市負担：15%) 事 業 名：県営広域営農団地農道整備事業 事業内容：能登外浦4期(飯川谷～千代) L＝4,180m

区　分	事業費(千円)	市負担(千円)	備　考
R4	700,000	41,087	繰越 63,913円
R5	652,200	63,913	－

事業評価：輪島市門前町から宝達志水町を結ぶ、広域営農団地農道のうち未供用区間である能登外浦4期地区(飯川谷～千代)の、県営事業への市負担であり、今後事業の早期完成に向け進捗を図る上においても負担額の確保が必要である。

事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
県営農村地域防災減災事業負担金(補正分)（繰越明許）	0	5,500	5,500	0	事 業 名：農村地域防災減災事業(山本町地内のため池改修事業) 国の補正予算に伴う計画前倒しによる繰越事業を実施 （負担金） 補 助 率：山本(防災対策型) 国55%、県34%、市11%

総事業費(千円)	市負担(千円)	備　考
50,000	5,500	山本

事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
県営ほ場整備事業負担金(補正分)（繰越明許）	13,890	28,500	28,500	0	○ 国の補正予算に伴う計画前倒しによる繰越事業を実施。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
6	2	2	林業振興費	松くい虫奨励防除事業費	7,956	6,333	6,062	271	○ 松の保全を図る計画区域において、松くい虫被害の拡大を防止するための伐倒駆除及び予防対策として樹幹注入を実施
				森林環境保全整備事業費	1,824	934	934	0	○ 国土保全、水源涵養、環境保全等の公益的機能の回復を推進するため、民有林の利用間伐に対する助成を実施
				森林経営管理事業費	52,637	72,222	72,221	1	○ 温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を図るため、森林整備の適切な管理を推進する。

松くい虫奨励防除事業費

（単位：千円）

業務内容	【R4】	【R5】
松くい虫伐倒駆除(春)業務	2,167	2,530
松くい虫伐倒駆除(秋)業務	1,562	803
松くい虫防除(樹幹注入)業務	1,100	－
その他　枯松等の伐採業務	3,127	2,729
合　計	7,956	6,062

伐倒駆除
国50%、県25%、市25%
樹幹注入
国50%、市50%
※一部、市単独分あり

事業評価：松くい虫の繁殖源を除去し、松林の健全な育成及び保全が図られた。

森林環境保全整備事業費

・交付先：能登森林組合　【R4】　1, 824千円　【R5】　934千円
・市：事業費の11%以内

事業評価：民有林の間伐が促進され、森林の持つ公益的機能の回復を推進できた。

森林経営管理事業費

森林保険保険料　1,111千円

（単位：千円）

業務内容	【R4】	【R5】
経営管理間伐	21,254	38,752
経営管理権集積計画作成	12,441	10,274
林地台帳附図作成	17,336	20,159
林地台帳整備	1,606	1,925
合　計	52,637	71,110

事業評価：森林整備の適切な管理を推進することができた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
6	2	2	（林業振興費）	森林経営管理事業費（環境林整備推進事業費）	5,091	2,248	2,248	0	○ いしかわ森林環境基金事業を活用し、森林の多面的な機能を安定的に健全な状態に保つため森林整備やその推進を図る。
				広葉樹植栽事業費	1,429	1,812	1,773	39	○ 森林の手入れ不足や荒廃が進んでいる中で資産価値の低下や水源涵養機能の向上、洪水・土砂災害等の自然災害による被害を拡大させないために、手入れ不足の森林に広葉樹を植栽する。
				輪島産材活用住宅助成事業費	4,500	2,400	2,400	0	○ 一定の交付要件を満たす、市内で自ら居住するために輪島産材を活用した住宅を新築する者、新築住宅を購入する者又は増築する者に対して助成

森林経営管理事業費（環境林整備推進事業費）

（単位：千円）

業務内容	【R4】	【R5】
環境林整備推進業務	35	70
緩衝帯整備業務	4,956	2,078
合　計	4,991	2,148

<その他>　事務費(消耗品等)　【R4】 100千円　【R5】 100千円

事業評価：環境林整備事業の計画作成及び協定の締結、緩衝帯整備事業が促進され、森林整備の推進が図られた。

広葉樹植栽事業費

（単位：千円）

業務内容	委託先	【R4】	【R5】
広葉樹植栽事業下刈・準備業務	能登森林組合	1,375	1,749
植栽箇所下刈(赤崎キャンプ場)		27	－
合　計		1,402	1,749

<その他>　事務費(消耗品等)　【R4】 27千円　【R5】 24千円

事業評価：広葉樹の植栽を通じて、地元児童等に森林の果たす役割や大切さを理解してもらうことができた。

輪島産材活用住宅助成事業費

【R4】			【R5】		
区分	件数	金額(千円)	区分	件数	金額(千円)
10㎡以上20㎡未満(300千円)	3	900	10㎡以上20㎡未満(300千円)	0	0
20㎡以上(600千円)	6	3,600	20㎡以上(600千円)	4	2,400
合　計	9	4,500	合　計	4	2,400

事業評価：制度を改正し、利用者増となった昨年と同程度の申請数となり、地元産材の需要を推進できた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
6	2	3	林道費	林道長寿命化対策事業費	16,983	17,527	17,527	0	○ 林道施設(橋梁等)における長寿命化対策について、点検・診断の結果に基づき、施設の機能の維持・強化等の対策を適切な時期に実施し、効果的かつ効率的な維持管理更新等につなげるメンテナンスサイクルの構築を図る。 【R4】 橋梁点検 1 件 3,245 / 橋梁補修(設計) 1 件 3,190 / 橋梁補修(工事) 2 件 10,084 / 事務費 464 / 合計 16,983 【R5】 橋梁点検 1 件 5,489 / 橋梁補修(設計) 2 件 6,776 / 橋梁補修(工事) 1 件 4,844 / 事務費 418 / 合計 17,527 国50%、県10%、市40% 事業評価：林道橋の維持管理を適切かつ効率的に実施することができた。
6	2	4	公有林費	公有林整備事業費	12,001	6,868	6,867	1	○ 材木の育成及び水資源の涵養等森林資源の充実を図るため、公有林を計画的に整備 委託先：能登森林組合 業務名：公有林整備事業　間伐業務　【R4】 0千円　【R5】 4,863千円 更新伐業務　【R4】 12,001千円　【R5】 2,004千円 事業評価：市有林を計画的に整備することで、今後の木材の育成及び森林資源の充実につながった。
6	3	2	水産業振興費	水産種苗放流育成事業費	887	402	401	1	○ 水産種苗放流事業について支援する。 交付先：県漁協輪島支所 補助率：市50%、漁協50%(定額補助)　【R4】 800千円　【R5】 331千円 交付先：県漁協門前支所 補助率：市50%、漁協50%　【R4】 87千円　【R5】 70千円 事業評価：水産種苗放流により漁業経営の安定、資源管理型漁業の推進を図ることで、漁業者の所得向上や水産資源の確保につながった。
				離島漁業再生支援事業費	13,881	8,520	7,992	528	○ 石川県内唯一の離島である舳倉島における多面的機能を有する離島漁業の再生を図るため、漁場の生産力向上や漁業集落の創意工夫に対して支援する。 ＜補助実績＞ 交付先：舳倉島集落　【R4】 7,800千円　【R5】 3,802千円 ※種苗放流、食害生物駆除、藻場清掃、製塩業務、水産加工等 補助率等：国50%、県25%、市25%(事業費) 交付先：県漁協輪島支所　【R4】 5,881千円　【R5】 3,990千円 ※水産物の海上輸送に係る経費(舳倉航路での輸送コスト) 補助率等：国60%、県10%、市10%、漁協20%(事業費) ＜その他＞ 事務費等　【R4】 200千円　【R5】 200千円 補助率等：国100%(事務費) 事業評価：アワビ・サザエの種苗放流による水産資源対策及び特産品の生産・開発を行った。また、水産物の海上輸送に係る舳倉航路の輸送コストを支援して、舳倉島の基幹産業である漁業の活性化につながった。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
6	3	2	（水産業振興費）	豊かな藻場支援事業費	1,270	1,270	1,270	0	○ 水産資源の保護・培養や水質浄化等の機能を持つ藻場を保全することで、持続可能な漁業活動を支援 ＜補助実績＞ 交付先：輪島の里海を守る会　【R4】 1,000千円　【R5】 1,000千円 ※計画づくり、モニタリング、食害生物や浮遊・浮遊堆積物の除去　等 ＜その他＞ 事務費等　【R4】 270千円　【R5】 270千円 補助率等：国70%、県、市30%(事業費)、国100%(事務費) 事業評価：専門家の潜水による藻場(沿岸の海藻等の郡落地)調査、海藻を食害する生物の除去等により、藻場の保全が図られた。
				海女漁振興事業費	2,850	2,355	2,153	202	○ 海女文化の継承・振興に向けた調査事業に係る県事業負担金及び海女振興協議会の取組に対する支援 ＜県事業負担金＞　県1/2、市1/2　（単位：千円） 【R4】事業費 4,700　市負担額 2,350　【R5】事業費 3,272　市負担額 1,636 ＜補助実績＞ 交付先：輪島の海女漁保存振興会　【R4】 500千円　【R5】 500千円 ＜その他＞ ・事務費(旅費)等　【R4】 0千円　【R5】 17千円 事業評価：石川県と連携し海女文化の継承・振興に向けた活動ができた。
				漁業緊急経営支援事業費	20,000	20,000	13,745	6,255	○ コロナ禍において燃料費高騰による漁業者の負担を軽減するため、漁業船舶に給油する燃料代の一部を助成する。 ・対象者　JFいしかわ輪島支所又は門前支所登録船舶(244隻(輪島支所231隻、門前支所13隻)) ・対象金額　軽油又はガソリン　1リットル当たり10円 事業評価：コロナ禍における燃料費高騰の対策として、漁業船舶に給油する燃料代の一部を助成することにより、漁業者の負担を軽減することができた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
5	1	2	労働諸費	シルバー人材センター運営費補助	13,200	13,200	13,200	0	○ 高年齢者が働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会の活性化に貢献するシルバー人材センターに対し運営費の補助を行った。 ・ 輪島市シルバー人材センター運営費補助金 交　付　先 ：（公社)輪島市シルバー人材センター 交 付 金 額 ：　13,200千円　（ R4　13,200千円 ） 総 事 業 費 ：　111,890千円　（ R4　150,995千円 ） 事 業 実 績 ：受　託　件　数　2,917件　会　員　数　299人 就業延日人員　24,733人　年間就業率　98.7% 事業評価：（公社)輪島市シルバー人材センターに対し運営費の補助を行った結果、安定した運営を行うことができ、高年齢者の就労機会の確保につながった。
7	1	2	商工振興費	輪島市民まつり事業費	13,000	13,000	13,000	0	○ 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行を受け、基本的な感染対策は個人で実施することにより開催。コロナ禍前とほぼ同規模で実施し、市内外から多くのお客様にお越しいただき、交流人口の拡大と賑わいを創出することができた。 ・ 輪島市民まつり2023補助金 交　付　先 ：輪島市民まつり振興会 交 付 金 額 ：　13,000千円 総 事 業 費 ：　21,297千円 （財源内訳） 市補助金　13,000千円　協賛金　165千円　雑収入　0千円 花火基金　4,509千円　参加負担金　1,145千円　繰越金　2,478千円 事業評価：メインイベントの大花火大会を目当てに、例年市外からの来訪者も多く、地元への経済効果も大きい。輪島市民まつりは、市民にとって憩いの場、交流の場であると同時に、本市の賑わいの創出・交流人口拡大にとって重要な事業であり、今後も取り組んでいく必要がある。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
7	1	2	（商工振興費）	物産品販路開拓事業費	2,851	3,053	3,009	44	○ 輪島市の物産品の販路拡大を目的として、石川県アンテナショップの管理運営費への支援のほか、全国で開催された観光物産展の出展に対し支援を行った。 ・ 石川県アンテナショップ管理運営負担金 負　担　額 ： 1,133千円　（R4 1,177千円　） 店　舗　名 ： （閉館）いしかわ百万石物語・江戸本店（H26.10～R5.10　東京・銀座） 来店者数　108千人（563人／日） 売上高　92,551千円（482千円／日） （新）八重洲いしかわテラス（R6.3～　東京・八重洲で開設） 来店者数　57千人（2,488人／日） 売上高　75,727千円（3,292千円／日） 運 営 主 体 ： 江戸本店：石川県（委託業者：㈱ジェイアール東日本企画北陸営業所及び㈱シ・ピ・エル） いしかわテラス：石川県（委託事業者：(株)ジェイアール東日本企画、(株)ジェイアール東日本クロスステーション、(株)丹青社） ・ (独)日本貿易振興機構金沢貿易情報センター事業運営分担金 負　担　額 ： 204千円　（R4　204千円 ） ・ 石川県の観光物産展開催負担金 負　担　額 ： 54千円　（R4　90千円 ） 事 業 主 体 ： (一社)石川県物産協会 ※R6能登半島地震発生以降は負担金免除 ・ 輪島市物産展販路開拓事業補助金 交 付 金 額 ： 900千円　（R4　900千円 ） 交　付　先 ： 輪島市物産展実行委員会 ・ 物産展出展旅費 金　額 ： 718千円 事業評価：石川県アンテナショップや観光物産展への出展支援を通じ、広く輪島市の特産品及び観光のPRを実施することができた。輪島市の特産品の販路拡大に向け、引き続き取り組んでいく必要がある。
				中小企業退職金共済加入促進事業費	1,015	540	389	151	○ 中小企業退職金共済制度及び特定退職金共済制度への加入促進を図った。 ・ 輪島市中小企業退職金共済加入促進補助金 交　付　先 ： ①中小企業退職金共済制度加入事業所 ②特定退職金共済制度加入事業所 交 付 金 額 ： 被共済者の掛金年額の1/5（限度額　1人当たり12千円） 交 付 実 績 ： R4 ① 15社 53名 636千円 ／ R5 ① 11社 21名 252千円 R4 ② 16社 38名 379千円 ／ R5 ② 11社 22名 137千円 R4 合計 31社 91名 1,015千円 ／ R5 合計 22社 43名 389千円 事業評価：中小企業者へ補助金を交付することにより退職金共済制度への加入を促進することができ、従業員の福利向上及び雇用の安定を図ることができた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
7	1	2	（商工振興費）	商業活性化支援事業費	1,534	1,090	1,008	82	○ 市内商店街等が行う地域振興事業や、遊休施設に出店する事業者に対し支援を行った。 ・ 輪島市商業等活性化推進支援補助金 補 助 内 容 ： ①商店街活性化イベント支援事業 補助率　1/2 限度額　イベント等開催費補助　500千円 ②個店対策事業(遊休施設利用促進事業) 補助率　1/4 限度額　店舗整備費補助　300千円　店舗賃貸料補助　300千円 遊休施設購入費補助　300千円　広告宣伝費補助　50千円 補 助 実 績 ： ①商店街活性化イベント支援事業 合計　4件　1,006千円　（ R4　3件　1,146千円 ） 輪島市商店連盟協同組合(グランドセール)　476千円　（ 事業費　2,932千円 ） 輪島市本町商店街振興組合(大売出、プレゼント抽選)　367千円　（ 事業費　807千円 ） 馬場崎商店会(季節ごとの沿道飾付等・上期)　43千円　（ 事業費　95千円 ） 馬場崎商店会(季節ごとの沿道飾付等・下期)　120千円　（ 事業費　264千円 ） ②個店対策事業(遊休施設利用促進事業) 合計　1件　2千円　（ R4　2件　388千円 ） 干場　静雄　2千円　（ 事業費　10千円 ）
									事業評価：市内商店街等への支援により地域商業の活性化が図られた。引き続き地域商業の活性化に向けて支援を行っていく必要がある。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
7	1	2	（商工振興費）	商工団体等運営支援事業費	14,840	14,690	14,690	0	○ 市内商工業者の振興と安定を図るため、商工団体に対し支援を行った。 ・ 輪島市商工振興強化育成支援事業補助金 交　付　先 ： 輪島商工会議所 交 付 金 額 ： 9,500千円 （ R4 9,350千円 ） 総 事 業 費 ： 45,765千円 （ R4 43,982千円 ） （財源内訳） 市補助金 9,500千円 県補助金 34,853千円 自己資金等 1,412千円 ・ 門前町商工会活動事業補助金 交　付　先 ： 門前町商工会 交 付 額 額 ： 4,450千円 （ R4 4,450千円 ） 総 事 業 費 ： 39,968千円 （ R4 29,550千円 ） （財源内訳） 市補助金 4,450千円 県補助金 21,893千円 その他補助金 1,091千円 会費等 10,549千円 自己資金 1,915千円 受託料収入 70千円 ・ 輪島市商店連盟協同組合活動事業補助金 交　付　先 ： 輪島市商店連盟協同組合 交 付 金 額 ： 90千円 （ R4 390千円 ） 総 事 業 費 ： 2,742千円 （ R4 2,781千円 ） （財源内訳） 市補助金 90千円 自己資金 2,652千円 ・ 石川県中小企業団体中央会運営事業補助金 交　付　先 ： 石川県中小企業団体中央会 交 付 金 額 ： 650千円 （ R4 650千円 ） 総 事 業 費 ： 35,982千円 （ R4 35,411千円 ） （財源内訳） 市補助金 650千円 他市補助金 10,710千円 自己資金 24,622千円
									事業評価：商工団体への支援を通じ、市内の商工業者の経営改善、活動支援を行うことができた。能登半島地震からの復旧、復興と、地域経済の発展に向け継続して支援していく必要がある。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
7	1	2	（商工振興費）	創業支援事業費	700	2,400	416	1,984	○ 遊休施設に出店する事業者に対し支援を行った。 ・ 輪島市空き店舗等利活用支援事業 補助率　1/3 限度額　施設整備費等補助　800千円 補助実績 合計　2件　416千円 Hosi bosi　山崎　里香　235千円　（ 事業費　1,038千円 ） Atelie+　濵木　香織　181千円　（ 事業費　884千円 ） 事業評価：新たな創業により遊休施設の利用が促進された。引き続き地域商業の活性化に向けて支援を行っていく必要がある。
				起業・新規出店支援事業費	12,267	15,177	3,168	12,009	○ 起業・新規での出店に対する支援を行った。 ・ 輪島市起業・新規出店支援事業補助金 事業目的：金融機関等と連携しながら、「あと一歩」で実現できそうな新たな出店に対し、初期投資等を支援し、新店舗の開業を促す。 総事業費：3,168千円 事業実績：初期投資等に対する補助金　3,000千円 過年度創業者への利子補助　168千円 R5　新規出店 1 ㈱奥能登元気プロジェクト　飲食店,飲食製造業(里町)　3,000千円　「ココハサトマチ」 合　計　3,000千円 事業評価：これまでの実績として、累計58件の出店をサポートした。本市の賑わいを更に高めるには、新しいお店づくりは欠かせないものであることから、今後も同様に出店の支援に取り組む。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
7	1	3	漆器費	輪島漆器商工業協同組合事業費補助	3,200	5,500	3,260	2,240	○ 輪島漆器商工業協同組合が行う漆器振興に対して支援を行った。 ・ 輪島漆器商工業協同組合運営費補助金 交　付　先 ： 輪島漆器商工業協同組合 交 付 金 額 ： 3,260千円　（補助率1/2以内） 総 事 業 費 ： 6,526千円 事 業 内 容 ： 首都圏等で開催される伝統工芸関係催事への参加 漆器青年会や漆器婦人会に対する活動支援 地元産原材料確保に向けた漆液採取や漆植栽 震災のため一部の事業が実施できなかった。 事業評価：輪島漆器商工業協同組合が行う漆器振興の安定的継続に貢献した。また、漆器業界の活性化にも寄与した。
				輪島漆芸作家活動支援事業費	400	2,136	504	1,632	○ 若手漆器従事者の作品発表開催(グループ展)や勉強会開催に対して支援を行った。 ・ 輪島若手漆芸作家活動支援補助金 事 業 内 容 ： 作品展開催経費の一部を補助 交　付　先 ： 輪島在住の若手漆器従事者(50歳未満)を3人以上加えた漆器従事者グループ 交 付 金 額 ： 補助対象経費の1/2以内(200千円上限) 交 付 実 績 ： 0件（能登半島地震によって開催及び申請を断念） ・ クリエイティブデザイン塾事業 事 業 内 容 ： 生業継続に向けた知識向上や市場動向把握のための勉強会開催 交　付　先 ： 輪島漆再生プロジェクト実行委員会 交 付 金 額 ： 504千円（補助率10/10） 開 催 実 績　6回予定のところ4回開催(能登半島地震によって残り2回の開催を断念) 事業評価：資金や経験が少ない若手漆器従事者が作品の展示販売を経験できる機会増に貢献した。また、若手従事者とベテラン従事者の世代間交流にも寄与した。
				伝統産業合同見本市開催費補助	1,000	1,000	1,000	0	○ 県内伝統工芸品の普及振興を目的に首都圏で開催される展示販売会に対し、構成自治体として開催経費を補助した。 ・ 石川県伝統産業合同見本市参加助成費補助金 交　付　先 ： 石川県合同見本市実行委員会 交 付 金 額 ：　1,000千円 総 事 業 費 ：　35,596千円 事 業 内 容 ： いしかわの伝統工芸フェア2024（2月16日～18日） 会　　場 ：　東京国際フォーラムB1ロビーギャラリー(東京都千代田区丸の内3-5-1) 入場者推移 R5(震災後)：場所：東京国際フォーラム　入場者数　74,700人 R4(コロナ禍)：場所：東京国際フォーラム　入場者数　37,850人 R2(コロナ禍)：場所：東京国際フォーラム　入場者数　21,351人 事業評価：県内伝統工芸36業種の中で輪島の出展事業者数が最も多く(出展者全体の約1/5)、震災後であるにも関わらず9社が参加し(例年11社)、売り上げも他産地と比べ健闘した。 震災応援で特に来場者が多く、輪島塗の普及振興につながった。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価	
7	1	3	（漆器費）	国際漆展開催事業費	0	730	730	0	○ 漆産業の活性化と国際交流の推進等を目的とした漆の国際公募展「国際漆展」に、開催経費を補助した。 ・国際漆展開催事業費補助金 交　付　先 ： 国際漆展・石川開催委員会（事務局：石川県デザインセンター） 交 付 金 額 ： 730千円 総 事 業 費 ： 19,980千円 事 業 内 容 ： 国際漆展・石川2023を開催	
									事業評価	作り手の発表の場となっており、漆器産業振興に寄与した。
7	1	5	企業誘致対策費	企業誘致推進事業費	7,563	6,623	5,152	1,471	○ 産業の振興を図るため、輪島市内における企業立地を進める。 支 出 内 容 ： ・企業立地活動に係る事務経費等(旅費、消耗品費、負担金) 1,816千円 ・臨空産業団地の管理費等(除雪機借上、草刈、光熱水費、通信費) 3,336千円	
									事業評価	R3年度から臨空産業団地の造成に着手しており、同団地をはじめ、幅広く企業の立地に取り組む。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
7	1	4	観光費	門前モータースポーツ公園管理費	6,932	7,653	5,318	2,335	○ 施設管理運営 ・ 機材等借上げ　2,782 千円（R4　918 千円） ・ その他通常管理等　2,455 千円（R4　2,205 千円） ・ コース整備費　81 千円（R4　1,232 千円） ・ 施設改修等　0 千円（R4　2,577 千円） ・ 利用件数　22 件（R4　24 件） ・ 利用人数　745 人（R4　648 人） 事業評価：施設(コース)管理をJAF加盟クラブの「モータースポーツクラブ門前」に委託し、安定した運営が図られた。また、6月に全日本ダートスプリントin門前が開催され、観光誘客が図られた。
				観光プロモーション事業費	22,310	23,825	23,225	600	○ 市の知名度アップによる誘客を図るため、旅行会社や雑誌、メディアなどを複合的に活用した誘客につながる広報活動、大都市圏での観光プロモーション活動、受入態勢の整備 ・旅費(誘客及び出向宣伝、全国棚田サミット等)　【R4】1,272 千円　【R5】1,023 千円 ・印刷製本費(ポスター、チラシ等印刷)　【R4】416 千円　【R5】324 千円 ・広告料(いしかわ百万石物語文化紀行、ぶらり能登ガイドブック等)　【R4】2,319 千円　【R5】335 千円 ・輪島観光PR業務　【R4】0 千円　【R5】7,700 千円 ・輪島キリコ会館イベント誘客業務　【R4】990 千円　【R5】880 千円 ・WEBを活用した観光プロモーション業務　【R4】0 千円　【R5】1,210 千円 ・わじま観光デジタルマップ保守管理業務　【R4】0 千円　【R5】858 千円 ・負担金(能登半島広域観光協会、奥能登ウェルカムプロジェクト推進協議会等)　【R4】6,126 千円　【R5】6,543 千円 ・補助金　【R4】5,200 千円　【R5】3,935 千円 ○ 誘客宣伝事業 事業主体：誘客宣伝実行委員会 総事業費：2,999千円（財源：市補助金2,925千円　自己資金74千円） ○ 輪島朝市を味わう事業 事業主体：輪島市朝市組合 総事業費：600千円（財源：市補助金230千円　自己資金370千円） ○ 観光案内人クラブ「あかり人」活動事業費補助 事業主体：観光案内人クラブ「あかり人」 総事業費：426千円（財源：市補助金300千円　自己資金126千円） ○ WEB発信強化事業 事業主体：(一社)輪島市観光協会 総事業費：960千円(財源：市補助金480千円、自己資金等480千円) ・その他　【R4】919 千円　【R5】417 千円 事業評価：WEBを活用した情報発信や外国人向けの雑誌広告、わじま観光デジタルマップ運用を始め、国内外特に欧米豪富裕層が輪島に来るきっかけづくりに力を入れた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
7	1	4	（観光費）	輪島まちおこし連絡協議会等事業費補助	2,000	1,900	852	1,048	○ イベント名：輪島あえの風冬まつり(中止) 事業主体：輪島まちおこし連絡協議会 総事業費：541千円（財源：市補助金352千円　各種団体負担金等189千円） 冬期間の誘客を促進するためイベントを開催に向けて準備を進めていたが、令和6年能登半島地震発生のため開催を中止した。 【参考】輪島塗ありがとう市、輪島朝市感謝祭など。 入込(ありがとう市)　【R3】 1,000人　【R4】 3,000人 ○ イベント名：一本松公園桜ライトアップ事業 事業主体：輪島商工会議所 総事業費：983千円（財源：市補助金500千円　自己資金、協賛金等483千円） 花見の時期に合わせ、一本松公園にボンボリや提灯を設置しライトアップ。 市内外から来訪者を呼び込み、消費を喚起した。 ボンボリの設置　【R4】 115 本　【R5】 115 本 提灯の設置　【R4】 400 本　【R5】 400 本 スポットライトの設置　【R4】 5 本　【R5】 5 本 事業評価：輪島商工会議所などの民間団体によるにぎわい創出のためのイベントを支援し、地域の活性化を図った。
				御陣乗太鼓実演事業費	4,500	4,500	4,500	0	○ 輪島キリコ会館もてなし広場で御陣乗太鼓の無料実演の実施 委 託 先：　株式会社まちづくり輪島 委 託 料：　4,500千円 実施期間：　4月29日～10月9日の期間のうち121日間 入場者数：　【R4】 16,487 人 【R5】 19,986 人 事業評価：郷土芸能である御陣乗太鼓の無料実演を実施し、夜のにぎわいを創出することで、市内の宿泊客の増加を図り、交流人口の拡大とおもてなしの充実を図った。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
7	1	4	（観光費）	白米千枚田観光景観保全事業費	6,300	4,700	4,700	0	○ 国指定名勝「白米の千枚田」の景観保全事業費補助 事業主体：(公財)白米千枚田景勝保存協議会 総事業費：17,447千円（財源：市補助金4,700千円　寄附金等12,747千円） 前年度決算額6,300千円 5月7日　田植えイベント　参加ボランティア　【R4】300 人　【R5】200 人 参加オーナー　【R4】270 人　【R5】300 人 9月17日～9月18日　稲刈りイベント　参加ボランティア　【R4】150 人　【R5】168 人 参加オーナー　【R4】294 人　【R5】510 人 その他オーナー作業(5回)　参加オーナー　【R4】339 人　【R5】638 人 【R4】白米千枚田オーナー制度会員数･･･　221　組 内訳：オーナー会員 175 組 トラスト会員 25 組 企業会員 14 組 特別名誉会員 7 組 【R5】白米千枚田オーナー制度会員数･･･　272　組 内訳：オーナー会員 213 組 トラスト会員 34 組 企業会員 18 組 特別名誉会員 7 組 事業評価：耕作イベントには市内外から約370名のボランティアが参加した。また、オーナー制度の会員数は制度創設以降過去最高の272組となり、今後もボランティアやオーナーの協力を得ながら景勝保存に努めたい。
				白米千枚田イベント開催費補助	4,050	4,500	4,050	450	○ H23.6に「能登の里山里海」が世界農業遺産に認定され、その象徴といえる白米の千枚田を利用したイベント開催事業費補助 事業主体：千枚田景勝保存実行委員会 【輪島・白米千枚田あぜのきらめき事業】 開催期間：10月21～翌年1月1日　73　日間 総事業費：6,914千円（財源：市補助金4,050千円　協賛金等2,864千円　） 自然エネルギーである太陽光パネルを電源としたLED発光装置25,000個を千枚田に設置。 千枚田の四季を全体で表現し、冬期の誘客対策の目玉として宿泊客の増加を図る。 ・来場者　【R4】35,800 人　【R5】22,400 人 ・ほたるびと　【R4】250 人　【R5】224 人 事業評価：R5年度はR6.1.1に発災した令和6年能登半島地震の影響により、イベント開催期間を大幅に短縮することとなった。また前年と比較し、レストハウスの営業時間も1時間短縮されていることから、来場者数は前年同期間比で微減となった。しかし、観光入込客が落ち込む冬場に行うイベントとして県内外から来場者があり、今後も周知に努め来場者数の増加に努めたい。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
7	1	4	（観光費）	わじま同窓会応援事業費	0	266	266	0	○ 市内経済の活性化及びふるさと回帰による交流・定住促進を図るため、従来のセカンドメモリアルGOGOの内容を改め、創設した。 【補助対象者】 R5年度に25歳～35歳及び55歳となる方 （R5年度に限り、56～58歳の方も対象） 【補助要件】 ・市内の中学校、高等学校を卒業した方が行う同一の学校等を単位とした同窓会 ・市内店舗で開催される同窓会 ・出席者数が10名以上かつ市外在住者の出席割合が3割以上 ・「ふるさと納税」や「移住」などの情報発に協力すること ※上記全ての用件を満たした場合のみ交付 【補助金額】 2,000円／人 ※上限100,000円 【実績】 R5 申請数：4件 参加人数：133人 補助金額：266千円
									事業評価：R5年度は震災の影響をうけ、同窓会を開催する機運が高まらなかったため想定を大きく下回った。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容（成果・実績）・評価
7	1	4	（観光費）	マリンタウンおもてなし事業費	1,800	1,800	1,800	0	○ 輪島港マリンタウンに寄港する大型客船等の受入を行うことにより、新たな交流を創出し、地場産業や漆文化の振興を図り、地域経済の更なる発展に資することを目的とする。 【大型クルーズ客船等受入促進事業】 事業主体：マリンタウンおもてなし委員会 総事業費：1,900千円（財源：市補助金1,800千円、自己資金100千円） （開催日） ① 6月3日　「にっぽん丸」 商船三井客船㈱ （来場者数等） 【R4】（人） 客船・イベント名 / 乗客数 / 来場者数 にっぽん丸 6/4 / 250 / 1,500 ぱしふぃっくびぃなす 6/5 / 240 / 400 ぱしふぃっくびぃなす 8/2 / 160 / 700 【R5】（人） 客船・イベント名 / 乗客数 / 来場者数 にっぽん丸 6/3 / 400 / 1,000 事業評価：R5年度はこれまで輪島に寄港していたぱしふぃっくびぃなすが運航を取りやめたため、大型客船の延べ寄港数はにっぽん丸の１隻のみとなり、1,000人の来場者数の創出となった。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
7	1	4	（観光費）	禅の里づくり推進事業費	11,247	11,400	8,572	2,828	○ 禅の里づくり推進協議会が門前地域の活性化を目指し、各種事業を効果的に実施 ・ 旅費　372 千円（R4　247 千円） ・ 需用費　0 千円（R4　0 千円） ・ 補助金　8,200 千円（R4　11,000 千円）※交付先：禅の里づくり推進協議会 首山三十三観音めぐり「慈悲の杜」 令和5年4月1日～令和5年12月31日　入込　370人 三十三霊場と慈雲閣に設置した巡礼印を押して巡る。すべて巡礼すると満願の御朱印がもらえる。 てらぱす　令和5年4月1日～令和5年12月31日　入込　1,249人 禅の里交流館、總持寺祖院、門前交流センターの3施設を巡るお得なチケット販売 sorahana（ソラハナ）　令和5年4月1日～10月1日　入込　24,776人 總持寺祖院境内の禅と洋傘による彩の異空間を演出 皐月まつり　令和4年5月13日、14日　入込　約1,500人 ステージイベントや食ブースを実施 14日の花まつり（稚児行列）は天候不良のため中止 13日19時からミス・ワールドジャパン石川主催で總持寺祖院山門にて開催 wagasairo（ワガサイロ）　令和5年10月2日～令和5年12月31日　入込　11,428人 總持寺祖院回廊や太祖堂などにてほのかに灯る和傘を展示 ぜんのきらめき 總持寺山門デジタルアート　10月1日、21日、22日　入込　375人 總持寺山門にデジタルアートを投影 10月1日に總持寺祖院大聖堂にて門前浪曲演奏会を実施 禅の里大花火　8月13日　入込 5,000人 諸岡松明保存会主催の「松明のタベ」に合わせて開催、花火約3,000発 第59回峨山道巡行　10月14日、15日　参加者　14日52名、15日37名 總持寺二祖峨山禅師が往来した歴史古道「峨山道」の足跡をたどる 雪割草保全事業　11月　参加延べ人数 47人 門前町内の中学校・高校・支援学校による雪割草栽培講習会を実施 雪割草植栽は荒天のため中止 禅と海　里づくり・交流促進プロジェクト事業 （1）門前高等学校・鶴見大学付属高校交流事業　参加者 17名 大本山總持寺祖院にて参禅体験、鶴見大学付属高校生と鶴見大学施設見学を実施 （2）全国曹洞宗青年会事業　10月29日　入込 300人 三重県曹洞宗青年会の和太鼓集団「鼓司（くす）」による太鼓演奏を実施、売店前広場にて御詠歌の披露 能登雪割草まつりは、令和6年能登半島地震により中止
									事業評価：「ZEN（禅）文化」とその拠点である總持寺祖院を活用した事業等を展開し、賑わいを創出することができた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
7	1	4	（観光費）	コンベンション等誘致支援事業費	1,250	1,119	710	409	○ 市内において実施され、市内の宿泊施設に宿泊を伴うコンベンション等に対し助成金を交付し、交流人口の増加とにぎわい創出を図る。 【R4】 学会　0 件　0 人　0 千円 スポーツ等の大会　43 件　593 人　606 千円 修学旅行　1 件　16 人　16 千円 合宿　4 件　76 人　76 千円 計　48 件　685 人　698 千円 【R5】 学会　0 件　0 人　0 千円 スポーツ等の大会　29 件　419 人　419 千円 修学旅行　1 件　30 人　30 千円 合宿　5 件　251 人　261 千円（空港利用含む） 計　35 件　700 人　710 千円 事業評価：R4年度と比較すると合宿の参加による申請が増え、徐々にコロナ前の水準まで戻りつつある。今後は、大会主催者や宿泊施設による周知や商談会でのPRに努め、交流人口の拡大につなげたい。
				東部エリア観光振興事業費	2,020	4,304	4,304	0	○ 能登平家物語などの地域資源を活用した事業を行ったほか、東部エリアにおける調査業務を行い地域の活性化を図った。 新【観光まちづくり調査業務】 契約金額：1,705千円 事業内容：現状把握・整理、関係者ヒアリング、勉強会開催 【平家の里活性化事業(名舟大祭)】 事業主体：御陣乗太鼓保存会 総事業費：800千円(財源：市補助金500千円、自己資金300千円) 事業内容：名舟大祭における花火の打上げ(実施日：7/31) 【平家の里づくり推進事業】 事業主体：平家の里ふるさと五千人の祭典実行委員会 総事業費：4,816千円(財源：市補助金2,000千円、自己資金2,816千円) 事業内容：平家の里ふるさと五千人の祭典において、花火大会をはじめ、空飛ぶランタンやLED文字アートなどを実施するほか、YouTubeでの生配信を実施。 事業評価：名舟大祭や平家の里ふるさと五千人の祭典を活用した誘客推進事業などにより、本エリアの観光振興を図ることができた。また、令和5年度は観光まちづくり調査業務を実施したが、能登半島地震の影響により業務内容の変更や期間の短縮を余儀なくされた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
7	1	4	（観光費）	わじまの美食PR推進事業費	2,000	400	400	0	○「輪島の美食」情報発信事業 市を挙げた食の取組を行うとともに、輪島の食をPRすることによって、観光入込客の増加と滞在時間の延長、さらには宿泊者数の増加による売上向上を目指す。 事業主体：能登半島・輪島わのしま食楽部 総事業費：2,634千円（財源：市補助金400千円　自己資金2,234千円） 事業評価：食の取組として、漁獲量日本トップクラスである輪島ふぐをPR及び販路拡大を図るため、統一価格メニューの新料金プランの造成やPR用品の作成を実施した。令和6年能登半島地震発生により予定していた輪島ふぐの日イベントや有名シェフを招いたふぐ料理の提案会は中止となった。
				観光誘客推進特別対策事業費	173,300	40,237	40,237	0	○ 令和5年5月5日に発生した奥能登地震の風評被害により宿泊施設など市内経済に多大な影響を与えていることから、需要喚起策や旅行会社等への直接的な営業活動、WEBによる広告発信、また、輪島市の観光魅力アップに資するPRを目的とするイベントを実施することで観光客の回復と市内経済の活性化を図る。 ・わじまに泊まろうキャンペーン事業　30,000 千円 実施期間：R5.7.1～R5.9.30宿泊分　実績：9,883人泊、割引額29,643千円 事業主体：(一社)輪島市観光協会 総事業費：30,000千円(財源：市補助金30,000千円) ・わじまで満タン！ドライブキャンペーン事業　7,200 千円 実施期間：R5.7.1～R5.10.1　実績：8,037台、給油量211,629.38ℓ 事業主体：(一社)輪島市観光協会 総事業費：7,200千円(財源：市補助金7,200千円) ・誘客強化緊急対策事業　699 千円 事業主体：(一社)輪島市観光協会 総事業費：860千円(財源：市補助金699千円) ①出向宣伝の実施及び観光商談会への参加 ・首都圏出向宣伝：R5.9.25～R5.9.27　場所：東京都内のテレビ番組制作会社、雑誌社等 ・北陸地区観光商談会(東京)：R5.9.26　ホテルメトロポリタン池袋 ・関西出向宣伝：R6.2.28～R6.2.29　※令和6年能登半島地震により取りやめ ・北陸地区観光商談会(大阪)：R6.2.28　※令和6年能登半島地震により取りやめ ②WEB広告 ・わじまに泊まろうキャンペーン、わじまで満タン！ドライブキャンペーン　他：R5.7.1～R5.8.31 配信メディア：YouTube広告、meta(Instagram、Facebook)広告　配信エリア：首都圏、中京圏、関西圏 ターゲット層：30～50歳代の旅行好き 表示数：2,578,179回　視聴数：2,158,258回　視聴率：83.71% ・輪島あえの風冬まつり　他：R6.1～R6.2　※令和6年能登半島地震により取りやめ 配信予定だったメディア：Tver

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
7	1	4	（観光費）	（観光誘客推進特別対策事業費）					・観光魅力アップイベント支援事業　2,000 千円 ①浴衣DE輪島朝市(+段駄羅 +フォト)実行委員会　225 千円 総事業費：451千円(財源：市補助金225千円) 実施期間：R5.8.5～R5.9.24 実績：R5.8.5輪島朝市で浴衣姿の人約25名、撮影者役15名、段駄羅カルタ2回合計24名参加 ②輪島バイク・フェスティバル実行委員会　450 千円 総事業費：934千円(財源：市補助金450千円) 実施期間：R5.9.30 実績：バイク約250台、ミニツーリング約50台、家族連れ市民約100名参加 ③輪島塗協議会　384 千円 総事業費：769千円(財源：市補助金384千円) 実施期間：R5.11.17～R5.11.23 実績：53,835名来場 ④能登森林組合林業まつり実行委員会　941 千円 総事業費：2,455千円(財源：市補助金941千円) 実施期間：R5.11.11 実績：約1,000名来場 ・その他　338 千円
									事業評価：奥能登地震による風評被害により落ち込んだ観光客の増加を図るため、様々なキャンペーン等を実施し、夏から秋にかけて観光需要の喚起を図ることができたが、令和6年能登半島地震発生により、1月以降の事業を中止せざるを得なくなった。
				いしかわの新たな観光スタイル開発支援事業費	0	3,000	2,926	74	○ 長引くコロナ禍において旅行ニーズが多様化していることから、コロナ禍でニーズが高まっている新たな観光コンテンツの開発に意欲的な団体や事業者を石川県と連携して支援することで、ウィズコロナ・ポストコロナ を見据えた輪島市の観光魅力の向上と誘客の拡大を図る。 ・欧米豪富裕層サイクリングツアー　2,000 千円 実施期間：R5.10.1～R6.3.31 事業主体：(株)ゼック 総事業費：3,000千円(財源：県補助金1,000千円・市補助金1,000千円) ・台湾の富裕層をターゲットとした能登半島サイクリング事業　926 千円 実施期間：R5.10.1～R6.3.31 事業主体：能登DMC合同会社 総事業費：2,779千円(財源：県補助金926千円・市補助金463千円・他市補助金463千円)
									事業評価：欧米豪や台湾の富裕層をターゲットにしたサイクリングツアーを能登半島で実施することにより、この地のブランド力アップ及び輪島市へのインバウンド誘客を促進し、復興後の訪日旅行者増を図る。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
7	1	4	（観光費）	インバウンド誘客促進事業費	2,365	8,545	5,625	2,920	○ インバウンドコンテンツ造成等事業　1,760 千円 事業主体：　誘客宣伝実行委員会 事業概要：　外国人旅行者の誘致を図るため、輪島市内の観光コンテンツを外国人旅行者向けに磨き上げ、海外旅行会社や日本側の手配支援会社等への観光案内及び解説を担うプロダクトマニュアルを作成し、今後のインバウンド向けPR活動に活用する。 実施内容：　観光コンテンツの磨き上げ モデルコース策定 欧米市場向けに観光コンテンツをカスタマイズ 将来のガイド候補の掘り起こしと育成に向け、地域おこし協力隊を巻き込んだプロダクト造成プロセスを実施 プロダクトマニュアル作成 ○ インバウンド誘客促進事業　847 千円 事業主体：　誘客宣伝実行委員会 事業概要：　令和5年4月より運行を再開した国際線小松台北便は、輪島市における台湾人旅行者誘客の絶好のチャンスと捉えている。そこで、香港及び台湾でユーザー数トップクラスの訪日メディアへ一年間掲載することにより旅マエの情報収集において輪島の魅力をPRするとともに誘客促進を図 実施内容：　台湾人ライターによる観光コンテンツの取材・モデルコース策定 訪日メディアへの情報掲載 ○ インバウンド観光コンテンツ造成支援事業　3,018 千円 事業主体：　禅の里づくり推進協議会 事業概要：　大本山總持寺祖院、羽咋市永光寺、大本山總持寺と曹洞宗の中心の寺を巡る長期的・広域周遊型・高付加価値な観光コンテンツを造成することで、「禅」に関心を持つ訪日外国人の入込の増加を図る。 実施内容：　モデルコース策定 モニターツアーの実施（大本山總持寺のみ） 事業評価：　昨年度から引き続き、欧米豪富裕層への観光PRのほか、台湾人旅行者の誘致を図るため事業を予定していたが、能登半島地震発生により、事業が一部の実施または中止となった。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
2	1	8	交通対策費	チャイルドシート購入助成事業費	8	50	5	45	○ 事業目的 チャイルドシート購入助成金を交付することにより、市民の交通安全意識の高揚と自動車乗車中の乳幼児の安全確保を図ることを目的とする ○ 助成対象・・・次の各号の全てに該当する者とする (1)市に住所を有し、かつ、市に住所を有する6歳未満の乳幼児を養育する者 (2)同一世帯内に市税等の滞納者がいない者 ○ 助成額・・・購入費の1/2を助成。ただし、上限10千円 ○ 助成実績(件数) 年度 / 助成件数 / 対象児童数(人) R1 / 34 / 651 R2 / 26 / 581 R3 / 2 / 463 R4 / 1 / 328 R5 / 1 / 192 ※対象児童数（R2.9.30以前生まれで6歳未満）については、4月1日現在の住民基本台帳登録者数である。 事業評価：当該事業は、子どもや保護者を総合的に支援する「出産お祝い事業費」に統合したため、経過措置として、R2.9.30以前に出生した児童に対する助成を行っている。
3	1	1	社会福祉総務費	出産お祝い事業費	7,402	8,121	6,213	1,908	○ 事業目的 子どもの誕生をお祝いし、子育て環境の充実を支援することを目的とする。 ○ 助成対象・・・次の各号の全てに該当する者とする (1)出生による住民登録地が輪島市である乳幼児の父又は母 (2)出生児と同一の世帯に登録されている父又は母 ○ 助成実績 年度 / 助成内容 / 助成件数 / 出生数(人) R2(04/28～09/30) / 現金3万円＋商品券7万円 / 35 / 35 R2(10/01～ 3/31) / 商品券10万円 / 46 / 46 R3 / 商品券10万円 / 84 / 85 R4 / 商品券10万円 / 76 / 76 R5 / 商品券10万円 / 67 / 70 ・ 需用費 99千円 ・ 役務費 0千円 ・ 償還金 6,114千円 事業評価：R2から助成内容を拡充し、子どもの誕生へのお祝いや子育て環境の充実への更なる支援となった。 R6能登半島地震の影響により、商品券の利用実績が減少した。商品券の利用期限を延長するなど、対象者への救済策を講じた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	2	2	高齢者福祉対策費	はり・きゅう・マッサージ施術助成事業費	1,653	1,761	1,371	390	○ 事業目的 保険適用外のはり、きゅう又はマッサージの施術に係る費用の一部を市及び施術者が助成することにより、高齢者の健康の保持及び在宅福祉の増進に寄与することを目的とする ○ 助成対象・・・70歳以上の者(65歳以上の後期高齢者医療被保険者を含む) ○ 助成・・・マッサージ施術費の1か月(1枚)あたり1千円の助成券を発行 ○ 助成実績

	助成人数(人)	交付枚数(枚)	利用枚数(枚)
R1	322	3,128	1,868
R2	246	2,423	1,456
R3	248	2,481	1,483
R4	274	2,643	1,584
R5	251	2,614	1,294

事業評価：R6能登半島地震の影響により、R6.1月～R6.3月の利用が減少した。今後、「広報わじま」等で周知に努めていく。

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
4	1	3	保健事業費	後期高齢者医療健康診査費	17,924	18,895	18,039	856	○ 後期高齢者医療被保険者(75歳以上及び65歳～74歳の一部障害者)を対象とした健康診査事業 医療保険者である石川県後期高齢者医療広域連合が実施主体で、市は委託を受けて実施する H20年度の国の医療制度改革により、それまでの基本健康診査に代わって実施されるが、実施は努力義務とされているため、特定健康診査のような受診率等の目標は課されていない

年　度	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率
R1	6,144	1,635	26.61%
R2	5,928	1,704	28.74%
R3	5,749	1,458	25.36%
R4	5,779	1,684	29.14%
R5	5,882	1,709	29.05%

事業評価：R1から検査項目を拡充し、被保険者にとって魅力ある健診にしたため、受診率は上がっていたが、コロナ禍は医療機関における新型コロナワクチン接種による診療体制への影響もあり下がった。R4は新型コロナが落ち着いてきたこともあり上昇した。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
4	1	4	環境衛生費	環境美化推進事業費	150	356	158	198	○ 市内一斉清掃活動(ごみゼロ運動)の協力・支援や環境ポスター展の実施 ・ごみゼロ運動用草刈り機替え刃、燃料購入等(春：5/26、秋：10/27) ・環境ポスター展材料代等(応募作品数：172点) 事業評価：市内一斉清掃活動（ごみゼロ運動）に協力・支援することにより環境美化の推進を図ることができた。また、未来を担う市内小中学校の児童・生徒から環境をテーマとしたポスターを募集し、環境ポスター展を実施することにより、環境美化意識の向上を図ることができた。
				フラワーロード整備事業費	2,746	2,938	2,038	900	○ 道路沿いの花壇に植栽するための花苗の購入等 【R4】（単位：本） 地区／春植栽／秋植栽 町野地区 1,100 800 南志見地区 3,030 320 鵠巣地区 2,200 1,750 河井地区 770 250 鳳至地区 700 460 河原田地区 1,200 1,200 三井地区 2,400 1,000 大屋地区 600 本郷地区 2,300 門前地区 2,800 1,450 仁岸地区 760 850 浦上地区 500 300 春植栽　花苗 13,705本　（12地区26か所） 秋植栽　花苗 6,100本　（10地区15か所） 【R5】（単位：本） 地区／春植栽／秋植栽 町野地区 1,100 800 南志見地区 675 320 鵠巣地区 700 河井地区 770 270 鳳至地区 700 460 河原田地区 1,200 1,200 三井地区 2,900 1,000 大屋地区 本郷地区 2,100 門前地区 2,200 1,050 仁岸地区 660 600 浦上地区 600 剱地地区 100 春植栽　花苗 18,360本　（12地区30か所） 秋植栽　花苗 8,380本　（10地区16か所） 事業評価：各地区の協力により、道路沿いの花壇を華やかな花で彩り、緑と花に包まれたうるおいのある美しい沿道空間を創出することができた。今後も各地区の協力により事業を継続していく。
				LED街灯照明等導入促進事業費	5,761	5,761	5,761	0	○ 街路灯のLED化による低炭素社会の促進及びランニングコストの削減を図る。 街路灯等賃貸借契約　リース代　480.1千円/月 H28.3から10年間リース(長期継続契約) 事業評価：街路灯のLED化効果により、維持管理費の抑制及び低炭素社会に向けた省エネルギーの推進を図ることができた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
4	1	4	（環境衛生費）	合葬式墓所管理費	858	1,088	443	645	○ 輪島市合葬式墓所管理費 申請件数（R6.3末現在）　　納骨済件数（R6.3末現在） 焼骨所持　納骨堂　7件　埋蔵室　2件　　納骨堂　13体 改葬　埋蔵室　4件　　埋蔵室　42袋(行旅死亡人等 10袋含む) 生前予約　納骨堂　0件　埋蔵室　0件 事業評価：R4.3.1に供用を開始したことにより、将来のお墓の管理に不安を抱いている方へのニーズに応えることができた。
4	2	1	清掃総務費	輪島市・穴水町環境衛生施設組合負担金	202,889	107,315	99,276	8,039	○ 組合運営費、施設維持管理費等　223,926 千円 うち輪島市負担分　99,276 千円 1　議会分担金　238 千円 2　総務費分担金　20,029 千円 3　衛生費分担金 最終処分場費　3,412 千円 火葬場費　36,072 千円 RDFセンター費　3,286 千円 焼却処理場費　34,418 千円 4　廃棄物処理施設整備事業費　－ 千円 マテリアルリサイクル整備　1,771 千円 5　公債費分担金　－ 千円 6　予備費分担金　50 千円 合計　99,276 千円 事業評価：輪島・穴水クリーンセンターや、やすらぎの杜火葬場等について、輪島市穴水町環境衛生施設組合が、適切に施設を運営することができた。
4	2	2	ごみ処理費	クリーンセンター焼却処理施設解体事業費	10,967	396,754	175,584	221,170 (うち繰越) 221,170	○ 輪島クリーンセンター焼却処理施設解体工事　172,400 千円 解体工事 【R5】　387,900 千円 （うち支出済172,400千円　繰越215,500千円） 【R6】　260,000 千円 合計　647,900 千円 工事監理業務 【R5】　8,370 千円 （うち支出済2,700千円　繰越5,670千円） 【R6】　5,710 千円 合計　14,080 千円 動力設備工事 【R5】　484 千円 事業評価：新焼却処理施設の供用に伴い、廃焼却炉となった輪島クリーンセンターについて、円滑に解体工事を着手することができたが、令和6年能登半島地震の影響により、本工事を一時中止することになった。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
4	2	2	（ごみ処理費）	クリーンセンター埋立処分場管理費	24,347	36,756	29,654	7,102	○ クリーンセンター埋立処分場の運営費 主な内容 光熱水費(電気料等) 3,412 千円 委託料(環境測定、保守点検等) 2,692 千円 埋立処分場施設修繕料 1,539 千円 埋立処分場施設消耗品費(水処理施設用薬品等) 1,398 千円 水中ポンプ取替工事・遮光マット補修工事 4,697 千円
									事業評価：施設を安定的に運営することができた。今後も適切な管理運営に努めていく。
				ごみ焼却施設運営管理費負担金	31,989	115,592	96,816	18,776	○ ごみ焼却処理施設(輪島・穴水クリーンセンター)の運営業務に係る委託料を負担 運営・維持管理の期間：R5.1から20年間
									事業評価：施設の設計、建設、運営業務を一体的に委ねる民間委託方式を採用し、民間のノウハウを活用することにより、効率的かつ効果的な運転管理が可能になった。
				マテリアルリサイクル推進施設整備事業負担金	3,509	7,611	7,611	0	○ マテリアルリサイクル推進施設整備事業費 計画支援事業(生活環境影響調査、発注支援業務) R4～5年度事業費 22,000 千円　R5年度 14,011 千円　うち輪島市負担分 7,066 千円
									事業評価：循環型社会の形成をより一層推進する施設となるリサイクルセンターについて、輪島市穴水町環境衛生施設組合が、順調に業務を進めることができた。
				再資源化促進事業費	32,499	45,641	38,268	7,373	○ 資源ごみの処理を行ったほか、資源ごみ回収団体に奨励金を交付 資源ごみ処理量

種　類	R5(t)	R4(t)
空き缶	72	73
空きビン	255	195
ペットボトル	109	91
紙類	680	737
発砲スチロール	24	14

資源ごみ回収団体奨励金
9 団体：110 千円

事業評価：資源ごみを適正に処理することができた。また、資源ごみ回収団体に奨励金を交付することにより、リサイクル意識の向上を図ることができた。今後も循環型社会の形成推進に努めていく。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
4	2	2	（ごみ処理費）	廃棄物減量化対策事業費	18,435	23,266	17,637	5,629	○ 指定袋の作成や販売管理 指定袋作成費 10,571 千円　収集カレンダー等作成 917 千円 指定袋取扱手数料 5,282 千円　分別表・カレンダー配布業務委託 30 千円 ○ コンポスト等の購入助成によりごみの減量化を図る。 ごみステーション購入助成 47 基 813 千円(1/2補助 20千円限度) コンポスト購入助成 2 基 4 千円(1/2補助 4千円限度) 生ごみ処理機購入助成 1 基 20 千円(1/2補助 20千円限度) 事業評価：ごみ減量化の推進やごみ分別、ごみ出し日について周知することにより、円滑なごみ処理を行うことができた。今後も循環型社会の形成推進に努めていく。
				海岸漂着物等地域対策推進事業費	35,738	43,852	36,133	7,719	○ 海岸漂着物の回収・運搬・処分（委託：県管理海岸、補助：市管理海岸） 委託 回収量　補助 回収量　合計 河井・町野海岸 64.25 t　39.03 t　103.28 t 輪島・西保海岸 11.30 t　0.22 t　11.52 t 七浦海岸 28.08 t　2.17 t　30.25 t 門前地区海岸(北部) 22.17 t　15.85 t　38.02 t 門前地区海岸(南部) 21.59 t　21.91 t　43.50 t 舳倉島海岸 7.08 t　－ t　7.08 t 合計 154.47 t　79.18 t　233.65 t 高圧ガス容器委託6本　補助30本　合計36本 事業評価：国内外に由来する海岸漂着物を適正に処理することができた。今後も良好な自然景観及び海岸保全が図れるよう努めていく。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	1	1	社会福祉総務費	民生委員費	13,566	13,587	13,497	90	○ 民生委員児童委員及び主任児童委員の活動費等 民生委員児童委員　119名 委嘱期間 R4.12.1～R7.11.30 主任児童委員　14名 地域福祉推進員　220名（うち、3名主任児童委員と兼務） 事業評価：本市は、国の基準(民生委員100名、主任児童委員12名)を上回り委嘱しており、各地域の要援護者に対する見守り活動等に成果を上げている。
				社会福祉協議会運営費補助	20,021	18,332	17,624	708	○ 地域福祉の拠点である社会福祉協議会の運営費に係る補助 交付先：輪島市社会福祉協議会 事業評価：輪島市社会福祉協議会へ運営費の補助を行うことにより、安定した運営を行うことができ、目的である地域福祉の向上に寄与できた。
				ボランティアセンター事業費補助	1,150	1,150	1,150	0	○ 市内78団体のボランティア活動の拠点となるセンターへの補助であり、ボランティア団体の育成・研修を行っている。 交付先：輪島市社会福祉協議会 事業評価：新型コロナウイルスの影響により各活動が制限される中でも、各グループが工夫を重ね、活動を継続していた点が評価できた。
				生活困窮者自立支援事業費	21,250	21,814	20,447	1,367	○ 生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立相談支援事業を実施する。 運営委託先：くらしサポートセンターわじま(輪島市社会福祉協議会) ・自立相談支援事業費　8,219千円 ・就労準備支援事業費　4,146千円 ・家計改善支援事業費　5,100千円 ・住居確保給付金　0千円 ・子どもの学習支援事業　2,982千円 相談延べ件数(件) 自立相談支援事業 / 就労準備支援事業 / 家計改善支援事業 R4：1,154 / 93 / 709 R5：713 / 80 / 458 事業評価：新型コロナウイルス感染症の流行により増加していた相談件数が少し落ち着いた。また、R4には1件の利用があった住居確保給付金のR5の利用実績はなし。幾分落ち着いた状況ではあるものの、能登半島地震の影響で、今後の利用実績増加する可能性が高くなっている。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	1	1	（社会福祉総務費）	高齢者等サービス事業継続支援事業費	17,045	9,310	9,040	270	○ 急激な物価高により高齢者向けサービス事業所や障害者向けサービス事業所の負担が増加していることから、事業所の運営継続や利用者負担への転嫁を抑制するため、市内でサービスを提供している事業所に対し事業所の規模や車両の保有台数等に応じ給付。 【実績】 ○車両分 1台当たり 軽自動車30千円、軽自動車以外50千円 【R4】 23 法人、事業所 軽自動車 135 台 軽以外 80 台 補助金合計 8,050 千円 【R5】 ・未実施 ○光熱水費分 1拠点50千円、1定員5千円 【R4】 23 法人、事業所 拠点数 44 拠点 定員 1,359 名 補助金合計 8,995 千円 【R5】 23 法人、事業所 拠点数 45 拠点 定員 1,358 名 補助金合計 9,040 千円 事業評価：補助の実施により事業所の負担軽減を図ることができた。
				電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業費	0	378,430	347,780	30,650 （うち繰越） 26,410	○ 電力・ガス・食料品等の価格高騰の負担感が大きい低所得世帯に対し、価格高騰重点支援給付金を支給。（国10/10） 給付額： 1世帯当たり3万円 対象者： ① R4住民税非課税世帯(R4に5万円の給付金を受給した世帯) ② R5住民税非課税世帯(①の給付金を受給した世帯以外の世帯) ③ 家計急変世帯(①②の受給世帯を除く) 給付額： 1世帯当たり7万円の追加給付 対象者： ④ R5住民税非課税世帯 （対象世帯数／支給済／支給率） ① 3,268世帯／3,255世帯／99.6% ② 651世帯／451世帯／69.3% ③ 2世帯／2世帯／100.0% ④ 3,690世帯／3,342世帯／90.6% 合計 7,611世帯／7,050世帯／92.6% 事業評価：緊急支援給付金を受給済みの世帯にはプッシュ型での給付を実施し迅速に家計への支援を行った。追加給付対象者のうち転入世帯などR6年1月に申請書を郵送予定だったものは、令和6年能登半島地震により郵送等に不測の時間を要したため一部繰越となった。
				住民税均等割のみ課税世帯給付金給付事業費	0	72,000	2,970	69,030 （うち繰越） 69,030	○ 令和6年能登半島地震により、対象者の抽出等準備に不測の時間を要したため、一部繰越 ・R4非課税でR5均等割のみ課税世帯（99世帯）への3万円の給付金支給について、予算科目を変更
				住民税非課税世帯等給付金給付事業費（こども加算分）	0	11,700	0	11,700 （うち繰越） 11,700	○ 令和6年能登半島地震により、対象者の抽出等準備に不測の時間を要したため、全額繰越

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	1	2	障害者福祉費	障害者自立支援給付費（介護給付費）	480,884	491,569	470,067	21,502	○ 重度の心身障害等のために介護を必要とする人に対して、障害者本人の日常生活の支援及び介護者の介護負担軽減のために、居宅介護や短期入所、施設入所などの障害福祉サービスを提供する。

サービス名	支給決定者数(人)		延べ利用者数(人)		給付費（千円）	
	R4	R5	R4	R5	R4	R5
居宅介護	25	25	203	187	5,982	3,331
行動援護	11	12	51	47	1,990	1,841
同行援護	4	5	17	16	390	318
療養介護	10	12	118	139	33,718	39,312
生活介護	144	141	1,557	1,483	285,418	275,647
短期入所	60	67	190	172	10,298	8,682
施設入所支援	97	98	1,092	1,032	114,381	109,455
相談支援	340	342	955	1,207	18,151	21,512
地域移行・地域定着	6	9	13	66	740	782
特定障害者特別給付費	89	87	1,092	1,032	9,288	8,664
高額障害ｻｰﾋﾞｽ等給付費	3	1	3	7	4	2
合計	789	799	5,291	5,388	480,360	469,546

・介護給付費支払手数料　521千円

事業評価：障害者総合支援法に基づきサービスの案内や支給決定を行い、必要な支援等が受けられるものであり、重要な事業である。

| 障害者自立支援給付費（訓練等給付費） | 275,101 | 317,459 | 289,879 | 27,580 | ○ 障害者が地域で自立した生活を送ることができるよう、就労継続支援や自立訓練などの障害福祉サービスを提供する。 |

サービス名	支給決定者数(人)		延べ利用者数(人)		給付費（千円）	
	R4	R5	R4	R5	R4	R5
共同生活援助	72	78	723	778	90,460	98,063
宿泊型自立訓練	4	5	13	44	1,770	5,551
自立生活援助	1	1	12	4	247	74
自立(機能)訓練	0	0	12	0	0	0
自立(生活)訓練	6	8	28	36	2,567	2,716
就労移行支援	12	9	49	48	6,098	7,357
就労継続支援A型	30	38	327	370	42,393	48,472
就労継続支援B型	102	102	1,084	1,006	124,184	119,882
特定障害者特別給付費	56	59	723	773	6,991	7,362
合　計	283	300	2,971	3,059	274,710	289,477

・訓練等給付費支払手数料　402千円

事業評価：障害者総合支援法に基づきサービスの案内や支給決定を行い、必要な支援等が受けられるものであり、重要な事業である。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	1	2	（障害者福祉費）	障害者自立支援給付費（補装具費）	4,050	3,833	3,832	1	○ 身体障害者手帳所持者に対して、身体機能を補完又は代替する補装具(車いす、補聴器、義足など)の購入・修理に係る費用を支給する。
				障害児給付費	36,423	44,141	39,512	4,629	○ 18才未満の支援を必要とする児童を対象に、放課後や長期休暇における居場所の提供や療育支援を行う。

【購入】

種類	件数（件）		給付費（千円）	
	R4	R5	R4	R5
義肢	1	0	704	0
装具	6	3	304	441
座位保持装置	1	1	476	399
盲人安全つえ	1	3	7	17
眼鏡	0	0	0	0
補聴器	12	7	630	591
車いす	5	3	558	560
電動車いす	0	1	0	903
歩行器	0	2	0	60
歩行補助杖	1	0	6	0
合計	27	20	2,685	2,971

【修理】

種類	件数（件）		給付費（千円）	
	R4	R5	R4	R5
義肢	2	1	410	151
装具	1	3	11	35
座位保持装置	1	3	30	117
補聴器	2	2	49	81
車いす	13	11	619	477
電動車いす	1	0	36	0
歩行器	0	0	0	0
人工内耳	1	0	210	0
合計	21	20	1,365	861

事業評価：補装具は失われた身体機能を補完または代替する用具であり、障害者総合支援法に基づき補装具の購入又は修理にかかる費用の支給決定を行うものであり、重要な事業である。

サービス名	支給決定者数(人)		延べ利用者数(人)		給付費（千円）	
	R4	R5	R4	R5	R4	R5
放課後等デイサービス	25	23	248	292	28,601	29,684
児童発達支援	4	8	21	48	5,732	6,606
相談支援	29	31	94	138	2,017	3,134
高額障害通所給付費	3	1	9	7	11	8
合　計	61	63	372	485	36,361	39,432

・障害児給付費支払手数料　80千円

事業評価：児童福祉法に基づき、支援を必要とする児童に対し福祉サービスの支給決定を行い、必要な支援が受けられるものであり、重要な事業である。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	1	2	（障害者福祉費）	障害者自立支援医療費（療養介護医療費）	9,164	11,239	11,239	0	○ 医療と常時介護を必要とする重度の障害者に対し、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の世話を行う。 利用延べ人数：R4 120、R5 139 実人数：R4 10、R5 12 事業評価：長期に入院している重度の障害者の経済的な負担軽減を図るため、重要な事業である。
				障害者自立支援医療費（更生医療費）	26,727	25,118	22,390	2,728	○ 身体障害者手帳を所持する者で、その障害を除去・軽減する手術等の治療により日常生活活動が回復又は向上する可能性が見込まれる者に対し、その医療費を支給する。 【支給決定者数】 心臓機能障害 R4 16 人 R5 16 人 じん臓機能障害 R4 99 人 R5 90 人 肝臓機能障害 R4 1 人 R5 1 人 免疫機能障害 R4 2 人 R5 2 人 肢体不自由 R4 0 人 R5 0 人 事業評価：身体障害者に対し、障害の程度の軽減や、残存機能の回復に必要な医療費の助成を行うものであり、重要な事業である。
				障害者自立支援医療費（育成医療費）	1	129	76	53	○ 18歳未満の身体に障害がある児童、あるいはそのまま放置すると将来障害を残すと認められる疾患がある児童で、その障害を除去・軽減する手術等の治療によって、確実に治療効果が期待できる児童に対して、その医療費を支給する。 【支給決定者数】 聴覚・平衡機能障害 R4 0 人 R5 0 人 視覚障害 R4 0 人 R5 1 人 音声、言語、咀嚼機能障害 R4 0 人 R5 0 人 肢体不自由 R4 1 人 R5 0 人 その他内部機能障害 R4 0 人 R5 1 人 事業評価：身体に障害がある児童に対し、その障害の治癒または軽減のために必要な医療費の助成を行うものであり、重要な事業である。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	1	2	（障害者福祉費）	地域生活支援事業費（相談支援事業費）	5,339	5,367	5,366	1	○ 地域の障害福祉に関するシステム作りに関し、中核的な役割を果たす協議の場としてH20年10月に奥能登2市2町で広域設置。その中で地域の障害者の福祉に関する諸般の問題につき、障害者、家族等からの相談に応じ必要な情報提供及び助言等を行うため3事業所に委託している。
				地域生活支援事業費（コミュニケーション支援事業費）	146	264	201	63	○ 聴覚障害者のコミュニケーションの円滑化を支援する。

・相談支援事業(基礎部分)

委託事業所	金額	備考
日本海倶楽部(能登町)	199千円	2市2町で按分（人口50%＋障害者数50%）
ピアサポート北のと(穴水町)	199千円	
相談支援キララ(穴水町)	199千円	
合　計	597千円	

・相談支援機能強化事業(強化部分)

委託事業所	金額	備考
日本海倶楽部(能登町)	1,461千円	相談実績により2市2町で按分
ピアサポート北のと(穴水町)	1,792千円	
相談支援キララ(穴水町)	1,516千円	
合　計	4,769千円	

・相談実人数

委託事業所	R4	R5
日本海倶楽部(能登町)	7 人	6 人
ピアサポート北のと(穴水町)	34 人	49 人
相談支援キララ(穴水町)	24 人	15 人

事業評価：相談支援事業は、障害者やその家族等からの相談内容に応じた必要な支援を行い、最適なサービスにつなげる上で重要な役割を担っており、障害者やその家族等が地域で安心した生活を送ることができるよう支援するために必要な事業である。

事業名	利用回数		金額(千円)	
	R4	R5	R4	R5
手話通訳等派遣事業	5	5	26	46
要約筆記派遣事業	22	29	118	153
消耗品/保険料/負担金	―	－	2	2
合　計	27	34	146	201

事業評価：聴覚障害者にとって、他者とコミュニケーションをとる場合に必要な事業である。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	1	2	（障害者福祉費）	地域生活支援事業費（日常生活用具給付等事業費）	7,419	7,439	7,439	0	○ 在宅重度障害者に対し日常生活用具を給付し、障害者の日常生活の便宜と介護者の負担軽減を図る。
				地域生活支援事業費（移動支援事業費）	609	888	888	0	○ 一人では外出が困難な障害者が余暇活動や社会参加のための外出時にヘルパーが付き添い、支援する。
				地域生活支援事業費（地域活動支援センター事業費）	4,690	6,039	6,039	0	○ 障害者地域生活支援センター運営費を負担することにより、障害者の生活を支援する。

地域生活支援事業費（日常生活用具給付等事業費）

種　目	件数 R4	件数 R5	金額(千円) R4	金額(千円) R5
介護・訓練支援用具(特殊寝台、特殊マット、入浴担架、体位変換器等)	2	3	319	460
自立生活支援用具(入浴補助用具等)	2	3	65	73
在宅療養等支援用具(盲人用体重計等)	5	1	175	55
情報・意思疎通支援用具(情報・通信支援用具、視覚障害者用ﾎﾟｰﾀﾌﾞﾙﾚｺｰﾀﾞｰ、拡大読書器、盲人用時計、人工咽頭等)	5	1	353	85
排泄管理支援用具(ストーマ装具、紙おむつ等)	881	880	6,507	6,500
居宅生活動作補助用具(住宅改修費)	0	2	0	266
合　計	895	890	7,419	7,439

事業評価：支給額のうち、約9割がストーマ装具等の排泄管理支援用具が占めている。

地域生活支援事業費（移動支援事業費）

	利用延べ人数	実人数	延べ時間
R4	117	10	358
R5	157	20	442

事業評価：H30に近隣事業所で事業が開始されてから利用者が増加している。障害者の社会参加の促進に寄与している。

地域生活支援事業費（地域活動支援センター事業費）

・「ピアサポート北のと」
　→運営費については、奥能登2市2町で人口割(50%)、利用者割(50%)で負担する。

事業所	利用件数 R4	利用件数 R5	金額(千円) R4	金額(千円) R5
ピアサポート北のと	1,136	1,362	3,048	3,727

○ ピアサポート北のと以外の施設利用負担分
・ピアサポートのと、地域活動支援センターかが、地域活動支援センターたかまつ　2,312千円

事業評価：障害者にとって身近な活動場所として定着している。自宅で過ごしがちな障害者(特に精神障害者)にとって貴重な外出先である。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	1	2	（障害者福祉費）	地域生活支援事業費（訪問入浴サービス事業費）	1,099	1,167	719	448	○ 自宅の浴槽では入浴が困難な身体障害者に対し、移動入浴車で入浴介助を行うサービス。
				地域生活支援事業費（生活訓練等事業費）	586	713	586	127	○ 視覚及び聴覚障害者を対象に日常生活のために必要な歩行、パソコンなどの基本技術、手話や補装具等の装着方法などを学ぶ機会を提供し、自立と社会参加を促進する。
				地域生活支援事業費（日中一時支援事業費）	5,486	5,400	4,677	723	○ 利用者の日中活動の場を提供するとともに、家族など介護者の就労や休息を図るためのサービスを提供する。

地域生活支援事業費（訪問入浴サービス事業費）

	人数	利用回数
R4	2	72
R5	2	46

事業評価：対象者の健康管理・維持、介護に携わる家族の介護負担軽減に大きく寄与している。

地域生活支援事業費（生活訓練等事業費）

＊平成21年度から奥能登広域で実施(人口割50%＋障害者割50%で按分)

訓練教室名	事業内容	参加者数 R4	参加者数 R5	金額(千円) R4	金額(千円) R5
視覚障害者生活訓練教室	相談、点字、パソコン、歩行、用具紹介指導等 珠洲増進センター等で2回開催	20	23	218	216
聴覚障害者生活訓練教室	手話、健康講座、交流会等 奥能登行政センター等で5回開催	30	20	368	370
合　計		50	43	586	586

事業評価：視覚・聴覚障害者に対し、日常生活上必要な訓練・指導等を行い、日常生活の質的向上を図り、社会復帰につなげるとともに、集いの場の提供ができた。

地域生活支援事業費（日中一時支援事業費）

	人数	利用回数
R4	27	2,458
R5	31	2,070

事業評価：障害者(児)の日中活動の場の提供及び介護にあたる家族の介護負担を軽減するための支援として重要な事業である。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	1	2	（障害者福祉費）	地域生活支援事業費（社会参加促進事業費）	6,328	6,323	5,417	906	○ 障害者の社会参加の促進を図る。 ・委託料 事業名：障害者芸術・文化講座開催等事業／内容：カルチャー教室開催、サロンの開催／金額：4,937千円 業務委託先：まんなか・ばんばざき商店会 事業名／受講者 R4 28 R5 14／修了者 R4 28 R5 14／開催回数 R4 4 R5 1／金額(千円) R4 190 R5 191 手話奉仕員養成講座事業／受講者 R4 5 R5 15／修了者 R4 5 R5 12／開催回数 R4 30 R5 23／金額(千円) R4 416 R5 289 合計／受講者 R4 33 R5 29／修了者 R4 33 R5 26／開催回数 R4 34 R5 24／金額(千円) R4 606 R5 480 H21から奥能登広域で実施(人口割で負担按分) 業務委託先：石川県聴覚障害者協会 ・身体障害者介助用自動車改造費助成金　0千円 事業評価：イベント等で障害者の外出する機会を増やし、社会参加促進につながるものである。
				地域生活支援事業費（障害支援区分認定審査会費）	1,097	1,475	1,125	350	○ 障害支援区分認定基準に照らして審査及び判定を行い、障害者福祉サービス支給の指標とする。 ・審査会開催件数　8 回　（開催日 4/10, 5/8, 6/12, 7/10, 9/11, 10/11, 11/13, 12/11） ・審査会委員数　5 名 ・判定件数　60 件 事業評価：介護給付を受ける場合、審査会を経て支援区分の認定を受けることが必須である。
				地域生活支援事業費（自立支援協議会運営費）	142	740	15	725	○ 奥能登2市2町と委託相談支援事業所(3事業所)が事務局の協議会で、障害福祉サービスの調整等を行う。 ・主な事業内容 事業名：研修会(R5.10.27)／内容：・内容：「こどもの支援に関する研修会」・対象者：障害児支援従事者等（参加人数：18人）／金額(千円)：15 合計：15 事業評価：R5は能登半島地震により、当初計画していた支援関係者向け研修会や、障害理解に関する住民向けパンフレットの作成が中止となったが、障害福祉サービスの質の向上、地域住民への普及啓発のために必要な事業である。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	1	2	（障害者福祉費）	地域生活支援事業費（福祉ホーム運営費）	200	203	203	0	○ 福祉ホーム運営事業者に、運営費の1/4を負担する。(地域生活支援事業のため国1/2、県1/4) ・利用者数　3 人 事業評価：福祉ホームは、低額な料金で、居室、その他の設備や日常生活に必要なサービスを提供する施設であり、収入が少ない障害者にとっては必要なサービスである。
				心身障害者医療費助成事業費	111,443	109,726	109,549	177	○ 心身障害者に対し医療給付を行い、保健の向上に努めるとともに社会福祉の増進を図る。 （単位：人） 身体 1・2級：554、身体 3級：271、知的 A：73、知的 BⅠ：110、知的 BⅡ：46、精神 1級：9、合計：1,063 事業評価：障害者の医療費の一部を助成することにより、本人またはその家族の経済的負担を軽減することにつながった。
				特別障害者手当等給付費	7,780	10,421	8,378	2,043	○ 重度の重複障害を持った在宅障害者で、常時特別な介護を要する者の所得保障の一助として手当を支給する。支給額は物価スライド制。 根拠法令：特別児童扶養手当等の支給に関する法律 特別障害者手当：R4 人数25 支給額6,636千円／R5 人数26 支給額7,468千円 障害児福祉手当：R4 人数7 支給額1,144千円／R5 人数5 支給額910千円 事業評価：常時介護を要する在宅の障害者(児)の所得保障により、経済的負担を軽減するため、必要な制度である。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	1	2	（障害者福祉費）	障害者支援施設通所交通費補助	194	317	234	83	○ 障害者支援施設利用者への交通費補助 事業所利用の通所者へ、バス賃に応じた交通費の補助を行う。 あすなろふたばぱいんの会 人数 / 支給額（千円） R4 3 194 R5 3 151 輪島KABULET 人数 / 支給額（千円） R4 0 0 R5 2 83 事業評価：市内の就労継続支援施設に通所する障害者の交通費を補助することにより、経済的負担を軽減するとともに、社会参加にもつながっている。
				身体障害者福祉協議会運営費補助	130	130	130	0	○ 温泉療養や県障害者スポーツ大会等の行事に参加することで、自立及び社会参加の促進を図る。 ・会員数　43 名(R6.3.31現在) 事業評価：スポーツ大会やイベント等に積極的に参加し、会員同士や他市町福祉協議会会員等との交流につながっている。
				障害者扶養共済掛金助成事業費	173	310	173	137	○ 石川県心身障害者扶養共済制度の加入者(障害者の保護者等)に対し、掛け金の2割分を助成することにより、加入者の経済的負担の軽減を図ることを目的とする。 ・助成対象者　6 人　173 千円 事業評価：扶養共済制度加入者の経済的負担を軽減することにより、障害者の生活の安定と福祉の増進につながっている。
				在宅心身障害者配食サービス事業費	1,143	1,159	856	303	○ 在宅の障害を持つ方に対して、食の自立の観点から調査及び評価を行った上で、配食サービスの利用調整や提供を行うことにより、当該障害者が健康で自立した生活を営めるよう支援する。 利用人数 / 延べ配食数 R4 5 2,721 R5 5 2,037 事業評価：食事作りが困難な障害者に対して、食事を提供することにより、食生活の向上と併せて安否確認を行い自立生活を支援するために有効な事業である。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	1	2	（障害者福祉費）	障害者福祉タクシー利用料金助成事業費	577	966	539	427	○ 外出のための移動手段の確保が困難な障害者が医療機関への通院のためにタクシーを利用する場合の料金を助成し、福祉の増進を図る。 利用人数：R4 34、R5 31 延べ利用件数：R4 839、R5 772 事業評価：公共交通機関の利用が困難な障害者にとって、タクシー料金助成制度の存在意義は大きく、移動手段確保に有効である。
				除雪困難世帯生活道路除雪支援事業費	2,176	2,056	1,834	222	○ 個人及び集落で除雪対応が困難な高齢者及び障害者宅の除雪を行い生活道路を確保する。 利用件数：R4 60、R5 33 事業評価：各年度の積雪量により利用頻度は違うが、R5は12月の大雪の影響により利用件数が多く、高齢者等の支援につながった。
3	2	1	高齢者福祉総務費	地域包括支援センター事業費	17,526	18,742	17,411	1,331	○ 要支援1、要支援2の介護予防サービス計画を介護予防支援事業所に委託して作成する。 （事業状況）　（R4）　（R5） 委託先　18 事業所　92 事業所 初回加算件数　138 件　174 件 委託件数　3,425 件（延べ）　3,216 件（延べ） 委託料　16,708,260 円　15,147,400 円 事業費支弁職給等　817,550 円　2,263,820 円 事業評価：要支援1・2の介護予防サービス計画作成を介護予防支援事業所に委託することで、円滑なサービスの提供に努めることができた。今後も同事業の委託を推進することで地域包括支援センターの業務体制強化を図る。
3	2	2	高齢者福祉対策費	老人保護措置費	177,427	179,685	175,476	4,209	◯ 65歳以上の者で環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な者を市が養護老人ホームに入所させ、その者の生活費・事務費を負担し、施設での安定した生活の維持を図る。 （R4決算額）　6 施設　73 人入所　177,232,301 円 上記事務費等　194,930 円 合計　177,427,231 円 （R5措置状況）　12 施設　75 人入所　175,289,309 円 上記事務費等　186,228 円 合計　175,475,537 円 事業評価：自宅で生活できない者が安心した生活を送ることにつながっているが、震災により市内の施設が被災したため県外を含め入所施設が増加した。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容（成果・実績）・評価
3	2	2	（高齢者福祉対策費）	老人クラブ活動費補助	3,868	3,868	3,769	99	◯ 高齢者の生きがいと健康づくりのための多様な社会活動を支援した。 （R4実績） 71 クラブ　2,416 人　3,867,712 円 （R5補助状況） 69 クラブ　2,340 人　3,769,120 円 （事業費の主な財源） 会費　744,000 円 市補助金（前金払い）　3,769,120 円 県老連等　1,342,691 円 事業評価：単位クラブ数、会員数ともに減少している。新型コロナウイルスの影響により各活動が制限される中でも、各クラブが工夫を重ね、活動を継続していた点が評価できた。
				高齢者生きがい活動支援事業費	100	100	100	0	◯ 高齢者の生きがいにつなげるための各種スポーツ大会に対する補助である。 （R5補助状況） ・ 高齢者と障害者のニュースポーツ大会　80,000 円 ・ 高齢者スポーツ交流事業　20,000 円 （事業費の主な財源） 市補助金　100,000 円 社会福祉協議会　44,108 円 合計　144,108 円 事業評価：障害者とともにニュースポーツ体験を実施することや屋外でのスポーツ大会に参加し参加者間の交流を深めることで高齢者の生きがいづくりの一助となった。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	2	2	（高齢者福祉対策費）	介護予防・地域支え合い事業費	5,954	6,996	4,933	2,063	○ 高齢者が寝たきりなどの要介護状態に陥ったり、状態がさらに悪化することのないよう予防し、住み慣れた地域において可能な限り自立した生活を営むことができるよう高齢者の生活支援、介護予防、生きがい活動支援等を行った。 （実施状況） タクシー利用料金助成事業 （延べ） 1,014 枚 699,790 円 658 枚 454,020 円 軽度生活援助サービス （延べ） 212 回 195,321 円 119 回 143,990 円 寝具類洗濯乾燥サービス （延べ） 0 0 円 0 0 円 訪問理美容サービス （延べ） 87 回 295,000 円 76 回 238,000 円 緊急通報体制等整備サービス （3月末） 26 人 1,011,084 円 30 人 860,618 円 生活管理指導短期宿泊サービス （延べ） 24 日 71,400 円 33 日 69,300 円 リハビリ指導事業 （延べ） 1 回 8,650 円 0 回 0 円 有償運送事業 （延べ） 1,009 人 2,176,979 円 580 人 2,032,900 円 家族介護用品支給事業(要介護3) （延べ） 1,398 枚 1,398,000 円 1,064 枚 1,064,000 円 上記事務費等 97,663 円 70,027 円 合計 5,953,887 円 4,932,855 円 （R4決算額）（R5決算額） 上記のうち、「有償運送事業」は補助金交付事業であり、事業費等は次のとおり ○ 事業費 2,779,300 円 （財源） 利用料 746,400 円 市補助金 2,032,900 円 事業評価：震災によりR6.1～3の利用はほとんどなかったが、高齢者が要介護状態となることを予防したり、要介護状態となった場合でも可能な限り在宅生活を続けることができるよう生活に密着した支援を行うことができた。
				長寿者祝品贈呈事業費	3,941	3,590	3,462	128	○ 輪島市に居住する高齢者の長寿をお祝いした。 （事業内容）（対象者数）（R4）（R5） 88 歳 輪島塗 カップ 2,970,000 円 275 人 295 人 100 歳 輪島塗 お盆 440,000 円 23 人 21 人 事務費等 51,900 円 合計 3,461,900 円 事業評価：高齢者に慶祝の意を表するとともに、88歳及び100歳の方に記念品を贈呈することにより高齢者の福祉の増進を図ることができた。
				ふれあい入浴デー実施助成事業費	360	360	360	0	○ 公衆浴場が、高齢者と家族をはじめ世代間交流の場となるように支援した。 （補助状況） 月1回実施 1施設あたり120,000円/年 上限 （R4決算額） （R5決算額） 石川県公衆浴場業衛生同業組合輪島支部加盟施設(3施設) 360,000 円 360,000 円 （利用実績） R3 延べ 1,577 人 R4 延べ 1,542 人 R5 延べ 1,387 人 事業評価：ふれあい入浴デーを定めることで、高齢者との世代間交流を促進し、高齢者福祉の向上を図ることができた。 1月から3月は、令和6年能登半島地震の影響により事業を実施することができなかったが、12月までは定期的に事業を実施できたことは評価できる。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	2	3	高齢者福祉施設費	ふれあいプラザ管理費	6,966	7,368	6,988	380	○ 介護予防を通じ高齢者の健康の保持及び増進を図り、高齢者に対して、やさしいまちづくりを推進するための地域拠点施設として設置した。 （事業状況） ふれあいプラザ二勢施設管理費　6,645,850 円 ふれあいプラザ曽々木施設管理費　342,345 円 合計　6,988,195 円 事業評価：介護予防や世代間交流活動を通じ、高齢者の健康の保持増進、社会参加を図ることができた。今後も介護予防の拠点施設として高齢者の生きがい活動の場等になるよう努めていく。
3	4	1	生活保護費	法内扶助費	346,934	360,000	344,798	15,202	○ 要保護世帯に対して必要な扶助を行い、最低限度の生活を保障するとともにその自立を助長する。要保護世帯の状況に応じて、住宅扶助や教育扶助、介護扶助などが行われる。

要保護者数

	被保護世帯数	被保護者数
R4	164世帯	183人
R5	161世帯	180人

（中国残留邦人）

	被保護世帯数	被保護者数
R4	1世帯	2人
R5	1世帯	2人

世帯類型別被保護世帯数

区　分	単身世帯	2人以上世帯	合　計
高齢者世帯	103	13	116
母子世帯	－	1	1
障害者世帯	14	0	14
傷病者世帯	12	0	12
その他世帯	17	2	19
合　計	146	16	162

扶助費別支給額の内訳

生活扶助	住宅扶助	教育扶助	介護扶助
63,375千円	16,579千円	24千円	21,322千円
出産扶助	生業扶助	葬祭扶助	施設事務費等
0千円	453千円	417千円	43,709千円
進学準備給付	医療扶助	就労自立給付	合　計
0千円	198,818千円	0千円	344,697千円

※決算額との差額101千円は次年度の生活保護費返還金として扱う。

事業評価：管内の被保護世帯数及び被保護者数は微減傾向であり、保護の廃止に至る理由としては、被保護者の高齢化に伴う死亡や施設入所が大半を占めてはいるものの、累積金増による保護廃止も数件あった。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価	
3	1	2	障害者福祉費	発達相談支援事業費	2,231	3,025	2,278	747	○ H29年度、切れ目のない支援体制を確立するために発達支援室を設置し、発達に課題のある児童や子育てに悩んでいる保護者、保育士や教員などへの支援を強化してきた。 保育所から小学校への引継ぎ支援(年中・年長・新1年生)、不登校支援、専門講師の派遣、小中学校との連携など、福祉と教育の連携強化を図っている。 ○相談支援　実人数161人 ○子育て広場　9回 ○発達支援教室　個別指導18回、参加型小集団7回、言語相談10回 ○就学移行支援　年中児訪問11回、年長児訪問11回、1年生訪問9回	
									事業評価	発達支援室の中心事業である就学移行支援について、教育委員会と協働し学校見学や引継ぎをさらに丁寧に行うことができた。また、「子育て広場」(発達に特性のある子を持つ親子が集い、情報交換を行う)を実施。相談支援事業に関しても年代が広がってきており、着実に成果を上げている。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	3	1	児童福祉総務費	児童センター事業費	3,095	3,377	3,078	299	○ 地域において児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操をゆたかにすることを目的とする児童福祉施設の運営費 ○ 利用状況＊児童センター・子育て支援センター 開設日数　243 日 開設時間 平日　午前8時30分～午後5時 土日　午前8時30分～午後4時 休館日　毎週月曜日 祝日・年末年始 来館者数 ○ H30から直営 事業評価：子育て支援センターとの一体的運営により、児童の健全育成、子育て相談の対応等子育て支援の拠点として運営することができた。
				もんぜん児童館管理費	9,504	16,614	14,409	2,205	○ 地域において児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操をゆたかにすることを目的とする児童福祉施設の機能と乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う地域子育て支援拠点事業の機能を有する施設の運営費 ○ 利用状況 開設日数　227 日 開設時間 平日　午前9時00分～午後6時 土日　午前8時30分～午後5時 休館日　毎週月曜日 祝日・年末年始 来館者数 ○ 業務委託者　輪島市社会福祉協議会 事業評価：委託事業者と連携しながら、児童館事業、地域子育て支援拠点事業を行い、地域の子育て支援の拠点、放課後児童の居場所として有効活用を図りながら運営を行っている。

来館者数（児童センター）

	乳幼児	児童	中高生	保護者	ボランティア他	合計
R4	4,618	3,089	244	4,541	1,637	14,129
R5	3,821	4,388	178	3,695	1,371	13,453

※R6.1.1～3.4までは能登半島地震により避難所となったため休館

来館者数（もんぜん児童館）

	乳幼児	児童	中高生	保護者	ボランティア他	合計
R4	695	6,361	254	648	639	8,597
R5	530	5,822	261	535	600	7,748

※R6.1,2,3月は能登半島地震により入浴支援施設となったため休館

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	3	1	（児童福祉総務費）	放課後児童健全育成事業費	72,903	74,528	67,630	6,898	

○ 児童福祉法第6条の3第2項の規定に基づき、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、放課後適切な遊び場・生活の場を与えて健全育成を図る。
令和6年能登半島地震の発生以降、全クラブが休所したが、2月22日より再開した。

○ 事業内容

開設時間　月曜日～金曜日　放課後～午後6時30分
第二・第四土曜日　午前8時00分～午後5時00分
夏期・冬期及び学年末年始の学校休業日　午前8時00分～午後6時30分

利用料　月額6千円(8月は8千円)
（1月から3月分までは利用料を全額減免とし、利用料収入の減額分を補助）

○ 補助実績

クラブ名	鳳至児童クラブ	鳳至第2児童クラブ	河井児童クラブ	河井第2児童クラブ	河井第3児童クラブ
総事業費	8,811千円	9,575千円	9,750千円	8,351千円	3,989千円
利用料等収入	1,665千円	1,414千円	2,194千円	2,052千円	1,701千円
補助金額	6,696千円	7,729千円	6,890千円	5,687千円	1,766千円
補助金（利用支援(震災)）	450千円	432千円	666千円	612千円	522千円
支援員数	3	3	3	2	2
利用実人数(人/月)	29	25	39	36	30
開設日数	222	222	222	221	222
補助金交付先	輪島市社会福祉協議会				

クラブ名	大屋児童クラブ	大屋第2児童クラブ	鵠巣児童クラブ	三井児童クラブ	河原田児童クラブ
総事業費	8,561千円	8,752千円	4,154千円	3,425千円	5,077千円
利用料等収入	1,432千円	1,399千円	553千円	498千円	582千円
補助金額	6,679千円	6,921千円	3,439千円	2,783千円	4,333千円
補助金（利用支援(震災)）	450千円	432千円	162千円	144千円	162千円
支援員数	3	3	3	2	3
利用実人数(人/月)	25	25	9	8	11
開設日数	221	221	222	221	223
補助金交付先	輪島市社会福祉協議会				

クラブ名	もんぜん児童クラブ	まちの児童クラブ	南志見児童クラブ
総事業費	9,573千円	6,665千円	2,777千円
利用料等収入	2,141千円	1,617千円	556千円
補助金額	6,766千円	4,562千円	2,221千円
補助金（利用支援(震災)）	666千円	486千円	0千円
支援員数	4	3	4
利用実人数(人/月)	38	29	11
開設日数	223	222	183
補助金交付先	輪島市社会福祉協議会		南志見地区区長会

○ 利用実人員
R4 304人　R5 324人

○ 支援員数
R4 37人　R5 38人

事業評価	支援員等を適切に配置し、児童の安全の確保、配慮の必要な児童への支援を行うことができた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	3	1	（児童福祉総務費）	放課後児童クラブ利用支援事業費	3,489	3,926	2,758	1,168	○ 多子世帯やひとり親家庭などを対象に放課後児童クラブの利用料を軽減し、子育て世帯の経済的な負担の軽減を図る。 ○ 実績（4月分～12月分）　（単位:人） 種別 / 軽減額 / R4 / R5 多子世帯 / 同時入所2人目半額、3人目以降全額 / 556 / 475 ひとり親家庭 / 入所1人目3千円、入所2人目以降全額 / 455 / 286 生活保護世帯 / 全額 / 0 / 0 ※ひとり親家庭は所得制限あり 事業評価：ひとり親家庭や多子世帯などへの放課後児童クラブの利用料を軽減することにより、子育て世帯の経済的な負担軽減を図っていきたい。
				児童手当費	178,715	178,335	164,955	13,380	○ 児童手当制度は、次代の社会を担う子どもたちの健全な育成を支援することを目的にしている。 ○ 支給対象 15歳到達後最初の3月31日までの間にある児童(中学校修了前の児童)を養育する監護者に支給。 （公務員は職場より支給） ○ 支給額(月額) 3歳未満　15千円(一律) 3歳以上小学校終了前　10千円(第3子以降は15千円) 中学生　10千円 特例給付対象者　5千円 支給延べ人数：R4 16,024 / R5 14,811 事業評価：少子化により支給対象世帯、児童数は年々減少しているが、子どもたちの健全育成に寄与している。
				地域組織活動育成事業費	768	800	784	16	○ 児童の健全な育成を図るため、母親など地域住民の積極的参加による地域組織活動の促進を図る。 ○ 活動 (1)親子及び世代間の交流、文化活動 (2)児童養育に関する研修活動 (3)児童の事故防止等活動 (4)その他、児童福祉の向上に寄与する活動 ○ 交付先 三井みらいクラブ どんぐりクラブ すくすくクラブ もこもこクラブ 太陽の子クラブ ○ 交付額　1クラブあたり160千円×5クラブ 事業評価：親子の交流やこどもの遊びを通じて児童の健全育成を図っている。今後も地域の子育て支援活動の活性化につなげていきたい。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	3	2	保育所費	保育所施設管理費	78,887	76,840	64,608	12,232	○ 通常管理分：市内6ヵ所の公立保育所の施設管理・運営を行う。 ○ 施設管理費の主な支出 1節　報酬　12,104千円 ・会計年度任用職の報酬 2節　給料　17,746千円 ・会計年度任用職員給料等 3節　職員手当等　5,249千円 4節　共済費　5,394千円 8節　旅費　397千円 10節　需用費　18,796千円 11節　役務費　964千円 12節　委託料　1,307千円 13節　使用料　1,098千円 14節　工事請負費 南志見保育所ガステーブル取替工　192千円 松風台保育所倉庫屋根瓦葺きなおし工事　220千円 南志見保育所乳児室エアコン取替　253千円 17節　備品購入費　759千円 18節　負担金　129千円
				子育て支援センター事業費	18,806	22,861	20,844	2,017	○ 市の子育て支援の拠点施設として、子育て支援家庭等に対する育児不安等についての相談支援、子育てサークルの活動支援等を行った。 ○ 事業実績

	R4	R5
地域子育て支援拠点事業　子育て支援センター利用状況	8,830人	6,949人
子育てに関する相談	67件	72件
子育てに関する講座等の開催	423 人	286人
乳幼児の遊びの提供(親子ふれあい活動)	1,057 人	763人
子育てに関する情報収集及び提供	12回	10回
子育て情報誌「ふれあいこどもセンターだより」	毎月1日発行	毎月1日発行
利用者支援事業　相談件数	10件	8件
市内保育所開放	0組	0件
ファミリー・サポート・センター　利用件数	11件	6件

※R6.1.1～3.4までは能登半島地震により避難所となったため休館

事業評価	本市の子育て支援の拠点施設として事業実績のとおり育成支援を行うことができた。今後も情報の提供や支援の紹介などの子育て支援事業の活性化を進めていきたい。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	3	2	（保育所費）	子どものための教育・保育給付費	489,415	510,680	459,176	51,504	

【保育所】
市内にある私立保育所に、教育・保育を提供するために必要な経費として、子ども・子育て支援法による施設型給付費を支払う。
施設型給付費(保育所)の内訳

施設名	延児童数(人)		給付費(千円)	
	R4	R5	R4	R5
かわい保育園	1,062	964	99,009	95,652
わじまミドリ保育園	1,450	1,262	115,640	101,464
まちの保育園	299	181	34,955	32,255
合　計	2,811	2,407	249,604	229,371

【認定こども園】
市内にある私立認定こども園に、教育・保育を提供するために必要な経費として、子ども・子育て支援法による施設型給付費を支払う。
施設型給付費(認定こども園)の内訳

施設名	延児童数(人)		給付費(千円)	
	R4	R5	R4	R5
和光幼稚園	1,083	1,003	114,650	124,099
海の星幼稚園	982	749	123,447	104,763
合　計	2,065	1,752	238,097	228,862

【管外】
児童の受け入れを委託している市外の保育所・認定こども園に、教育・保育を提供するために必要な経費として、子ども・子育て支援法による施設型給付費を支払う。
施設型給付費(管外)の内訳

施設名	延児童数(人)		給付費(千円)	
	R4	R5	R4	R5
平和こども園(穴水町)	12	0	800	0
上戸保育所(珠洲市)	12	0	914	0
つばき保育園(珠洲市)	0	12	0	943
合　計	24	12	1,714	943

事業評価：子どものための教育・保育給付事業費については、国が定める公定価格に基づき保育所・認定こども園に給付している。この給付により、保育の質の向上や保育士の処遇改善などが実施されている。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	3	2	（保育所費）	私立保育補助事業費	19,522	25,263	25,263	0	

○ 私立保育所・認定こども園が行う通常保育以外の特別保育事業等を補助し、安心して子育てができるような環境整備を総合的に推進する。

1.延長保育事業
開所時間11時間を超えて保育を実施する保育所・認定こども園に対する補助

交付先	施設名	延長時間	補助基準額	交付額
(社福)町野福祉会	わじまミドリ保育園	30分	300千円	300千円
(学)和光学園	和光幼稚園	30分	300千円	300千円
合　計				600千円

2.地域子育て支援拠点事業
子育て支援のため、育児相談、親子の交流の場の提供、各種子育て情報の提供を行う。

交付先	施設名	実施保育所	施設の種類	補助基準額	交付額
(社福)町野福祉会	地域子育て支援ひろば「めばえ」	まちの保育園	一般型・3～4日型	4,392千円	2,811千円
	地域子育て支援室「たんぽぽ」	わじまミドリ保育園	一般型・5日型	8,639千円	8,639千円
合　計					11,450千円

3.障害児保育支援事業
障害を持つ児童の健やかな成長を支援することにより、児童福祉の向上を図る。

交付先	施設名	補助基準額	児童数	実施月数	交付額
(社福)町野福祉会	かわい保育園	4,641千円	4	12	4,641千円
	わじまミドリ保育園	4,641千円	4	12	4,641千円
(学)石川カトリック学園	認定こども園 海の星幼稚園	3,384千円	3	12	3,384千円
合　計					12,666千円

4.一時預かり事業（災害特例型）
保育所等を利用している児童が、被災により別の保育所等を利用するときに、利用者負担なしで児童を預かる保育所・認定こども園に対する補助

交付先	施設名	保育認定児童	未就園児	交付額
(社福)町野福祉会	わじまミドリ保育園	6	26	547千円
合　計				547千円

事業評価

私立保育所・認定こども園が行う延長保育、子育て支援拠点事業、マイ保育園登録事業、障害児保育の子育て支援事業を補助することにより、安心して子育てができるような環境整備を総合的に推進することできた。
また、一時預かり事業（災害特例型）を実施することで、被災地においても保育ニーズに応えることができた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	3	2	（保育所費）	マイ保育園登録事業費	49	172	59	113	○ 妊娠中から出産後の育児不安を解消するために、身近な保育所で育児教室や育児相談を受けることができる制度。また、「体験入所券」を使って一時保育(半日)を無料で3回受けることができる。
				市立保育所運営適正化事業費	0	210	95	115	○ 急激な少子化や施設の老朽化に対応するため輪島市立保育所運営適正化委員会を開催し、今後の保育施設のあり方について検討する。
				保育所等事業継続支援事業費	1,930	1,523	1,511	12	○ 物価高騰の影響を受けている市内保育所等に対して、その影響額の一部を補助する。

マイ保育園登録事業費

交付先	施設名	補助基準額	実施回数 R4	実施回数 R5	交付額（千円） R4	交付額（千円） R5
(社福)町野福祉会	かわい保育園	体験入所券1枚につき900円	4	8	4	5
	わじまミドリ保育園		19	2	17	7
	まちの保育園		6	6	5	2
(学)和光学園	和光幼稚園・あいこう園		14	3	13	3
(学)石川カトリック学園	認定こども園 海の星幼稚園		11	10	10	9
合　計					49	26

事業評価：在宅保育の母親と妊婦が保育所見学や育児体験、保育士への育児相談を通じて、育児不安の解消を図るとともに、一時保育の利用などを通じて育児負担の軽減が図られた。

市立保育所運営適正化事業費

輪島市市立保育所運営適正化委員会
委員　7名
開催日　令和5年10月4日　、令和5年11月30日

事業評価：委員会を開催し、今後の保育施設のあり方について検討することができた。

保育所等事業継続支援事業費

○ 補助基準額
1施設当たり100千円＋児童一人当たり3千円

交付先	施設名	補助額	交付先	施設名	補助額
(社福)町野福祉会	かわい保育園	340千円	(学)和光学園	和光幼稚園	331千円
	わじまミドリ保育園	415千円	(学)石川カトリック学園	海の星幼稚園	277千円
	まちの保育園	148千円			

事業評価：補助を実施することで、物価高騰に対し支援することができた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	3	2	（保育所費）	医療的ケア児保育支援事業費	0	1,984	1,584	400	○ 医療的ケア児が保育所等の利用を希望する場合に、受入が可能となるよう、保育所等の体制を整備し、医療的ケア児の地域生活支援の向上を図る。 ○ 受入保育所 河原田保育所 ○ 受入児童数 1名 ○ 受入体制の整備 訪問看護師もしくは会計年度任用職員（看護師）配置による医療的ケアの実施の確保 事業評価：医療的ケア児の受入体制を整備することで、医療的ケア児を子育てする家族の負担を軽減し、医療的ケア児の健やかな成長を図ることができた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容（成果・実績）・評価
3	3	3	母子福祉費	ひとり親家庭等医療費助成事業費	10,332	10,737	8,789	1,948	○ ひとり親家庭の母または父と児童、父母のいない児童に対して医療費の一部を助成することにより、ひとり親家庭等の保健の向上、母子福祉の増進を図る。 ○ 助成額 ・高校生までの児童は全額助成。 ・その他は医療費の自己負担分1か月の合算額から1,000円を控除した額。 ○ 助成の範囲 ・18歳到達後最初の3月31日まで ・障害児については20歳まで ※所得の制限あり ○ 助成件数　1,462 件 事業評価：ひとり親家庭等の経済的な負担の軽減や保健の向上などを図っている。こどもの医療費の現物給付開始に伴い助成額は増加しているが、早期の受診による病気の重症化の予防につなげていきたい。
				児童扶養手当費	71,517	66,066	63,744	2,322	○ 父母の離婚などにより父親又は母親と生計を同じくしていない児童（18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間）を扶養している母子・父子家庭等の生活の安定と自立を助け、児童福祉の推進を図る（H22.8より父子家庭についても支給対象となる）。 ○ 事業内容 児童扶養手当 ・ 全額支給（月額）44,140円 ・ 一部支給（月額）44,130～10,410円（※所得に応じて支給） ・ 加算分　全部支給の2子目加算（月額）10,420円 一部支給の2子目加算（月額）10,410～5,210円（※所得に応じて支給） 全部支給の3子目以降加算（月額）6,250円 一部支給の3子目以降加算（月額）6,240～3,130円（※所得に応じて支給） ○ 延月人数

	全部支給	一部支給	2子目加算	3子目以降加算
R4	848	896	861	263
R5	769	745	666	231

事業評価：母子・父子家庭等の経済的な支援を行い、自立の促進につなげている。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
4	1	1	保健衛生総務費	母子保健推進事業費	14,422	21,023	17,451	3,572	
				こどもの医療費助成事業費	50,815	57,832	53,280	4,552	

母子保健推進事業費

○健診・訪問指導
・医療機関委託妊産婦・乳幼児健診（妊婦17回、産婦2回、1か月児・10か月児健診、精密検査）
健診委託料　8,559,967円
・乳幼児集団健診(4か月児：2か月に1回、1歳6か月児・3歳児健診：:毎月1回）

	実人員	延べ人員
妊婦	105	739
産婦	64	106
1か月	62	62
10か月	54	54

	対象者	実人員	受診率(%)
4か月	54	53	98.1
1歳6か月	63	62	98.4
3歳	63	62	98.4

・母子訪問　実55件、延べ67件

○母子健康相談・教室
・乳幼児健康相談　実48名　延べ133件
・妊婦等教室(2クール）　参加者：妊婦　実9人　延16人、　家族　延11人

○歯科保健事業
・妊婦歯科健診　33件
・フッ素洗口　対象者　199人、実施者　190人

○産後ケア事業　利用可能な医療機関　　4医療機関
・市立輪島病院　・公立能登総合病院　・恵寿総合病院　・桑原母と子クリニック
利用実績　　実4人　延べ15日間利用

事業評価：乳児健診は対象者の減少により医療機関に個別健診として委託した。災害発生により市外・県外に市民が避難したが、個別に連絡を取り、支援が必要な妊産婦に対しては丁寧に関わり、情報提供するなどして支援した。

こどもの医療費助成事業費

○ 乳幼児及び児童の保健の向上と福祉の増進を図ることを目的とする。

○ 助成対象費
0歳児から高校生までの児童の保護者

○ 助成額
・全額助成。
県内医療機関は現物給付。

○ 助成件数

	件数
R4	10,035件
R5	10,565件

事業評価：子育て家庭の経済的な負担の軽減を図り、早期の受診による病気の重症化の予防につなげることができた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
4	1	1	（保健衛生総務費）	子宝支援事業費	2,850	2,900	276	2,624	令和4年4月より治療が保険適用となったため補助対象等が変更となった。 ○不妊検査費助成 助成　2件　26,338円 ○ 新制度 一般不妊治療　保険適用(自己負担の5割助成)　助成実績 実5件　194,981円 保険適用外（助成対象外） 先進医療　保険適用(自己負担の7割助成、上限15万円)　助成実績 0件 ○ 旧制度経過措置分 一般不妊治療助成　保険適用(自己負担の5割助成、上限5万円)　助成実績　実2件　54,925円 保険適用外(自己負担の7割助成、上限70万円)助成実績　延べ 0件 特定不妊治療助成　保険適用外(自己負担の8割から県補助引いた額 上限100万円) 助成実績 0件 助成人数　実　6人、延べ　7人　合計金額　276,244円 年度 / 利用実数（新規） / 利用者出産数 / 過去19年間の実績 R1 / 29人(3) / 5人 / 助成利用者数 R2 / 30人(10) / 1人 / 延べ　317人 R3 / 12人(10) / 10人 / 出産数　91人 R4 / 12人（7） / 7人 R5 / 7人（3） / 3人 / （R6.4月現在）
									事業評価：R4.4.1から不妊治療が保険適用となり、県の不妊治療への助成は廃止となった。令和5年度は3人が出産につながった。
				出産・子育て応援事業費	9,097	9,140	7,040	2,100	○ 妊婦や子育て家庭に寄り添った伴走型相談支援を実施するとともに、妊娠期、妊娠中期及び出産時に給付金を支給し経済的支援を行う。 【出産応援給付金】 ・ 妊娠届出時等の面談後　50,000円 【子育て応援給付金】 ・ 出産届出時等の面談後　50,000円　合計　100,000円 ○ 給付実績 年度 / 出産応援給付金 5万円 / 子育て応援給付金 5万円 R5 / 94人 / 73人
									事業評価：伴走型相談支援と経済的支援により、妊婦や子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境づくりにつながった。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
4	1	2	予防費	予防接種費	47,741	60,435	48,577	11,858	○ 感染症の発症を予防し、まん延を防止することを目的とし、予防接種法に基づき実施する定期予防接種である。
				任意予防接種促進事業費	3,114	3,542	2,656	886	○ 感染症の発症及び重症化予防を目的とし、予防接種法に基づかない予防接種の費用の一部を助成する。 ①インフルエンザ(1歳～小6) 2,000円を2回、(中1～3) 2,000円　②おたふく2,000円

	四種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ） 第1期 初回接種 第1回	第2回	第3回	追加接種	二種混合（ジフテリア・破傷風） 第2期	ロタウイルスワクチン（R2.10.1生まれから定期予防接種対象） 1価 第1回	1価 第2回	5価 第1回	5価 第2回	5価 第3回
R4	78	75	78	78	89	76	77	0	0	0
R5	70	78	69	63	95	61	62	4	6	0

	日本脳炎 第1期 初回接種 第1回	第2回	追加接種	第2期	B型肝炎 第1回	第2回	第3回
R4	95	98	170	181	78	78	82
R5	75	74	77	130	67	63	57

	ヒブワクチン 第1回	第2回	第3回	第4回	小児肺炎球菌ワクチン 第1回	第2回	第3回	第4回	子宮頸がん予防ワクチン 第1回	第2回	第3回
R4	77	78	75	79	77	78	75	80	121	115	89
R5	68	68	65	66	68	69	64	69	53	40	58

	麻しん・風しん(混合) 第1期	第2期	BCG	水痘 1回目	2回目	高齢者インフルエンザ	高齢者肺炎球菌 60～64歳	65歳～
R4	80	107	77	78	78	6,192	0	335
R5	70	102	62	69	67	5,933	0	282

事業評価：適切な時期に適切な予防接種ができるよう、接種勧奨を各乳幼児健診、各年齢毎に個別案内で実施しており、今後も継続していく。出生数の減少に伴い、接種者数が全体的に減少している。

		R4	R5
①インフルエンザ	1歳～中3	1,406 人	1,209 人
②おたふく	1歳～就学前	73 人	64 人

○ 先天性風疹症候群の予防を目的とし、妊娠を希望する女性とその同居家族に対し、風疹予防接種に係る費用の一部を助成する。
風疹予防接種助成(助成額：6,300円上限)　R4　3 件　R5　3 件

事業評価：H28からインフルエンザ予防接種対象者を拡大したことで、発症予防及び重症化予防を目指す。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
4	1	3	保健事業費	がん・結核検診費	15,903	17,672	15,835	1,837	
				健康指導費	460	715	604	111	
				こころの相談事業費	228	2,003	1,740	263	

がん・結核検診費

○ 健康増進法に基づくがん検診とがん検診受診率向上のためのクーポン事業を実施した。

R5	対象者	対象者数	受診者数	受診率
胃がん	40歳以上	15,896	722	4.5%
大腸がん	40歳以上	15,896	1,235	7.8%
肺がん	40歳以上	15,896	1,411	8.9%
乳がん	40歳以上女性	8,267	565	6.8%
子宮がん	20歳以上女性	11,293	547	4.8%

○ 30. 35. 40. 50. 60歳を対象にがん無料クーポン券を交付し、受診のきっかけづくりとする。
クーポン券利用率

R5	胃がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
30歳			3.8%	
35歳			6.3%	
40歳	5.9%	11.3%	14.7%	7.3%
50歳	3.0%	5.2%	14.9%	9.1%
60歳	5.7%	7.8%	8.5%	12.1%

事業評価：がんは本市の死亡原因の第1位である。がんによる死亡を防ぐためには早期発見が最も重要であり、そのためにはがん検診の受診率向上が課題である。令和5年度は従来通り無料クーポン券事業を実施した。しかし、感染症対策により人数制限を行ったため、希望日に受診できない方がいた。
対象者数に関して、令和5年度より算定方法が変更したため対象者数が増加し受診率が減少したと考えられる。

健康指導費

○ 健康増進法に基づき、壮年期からの健康づくりと、脳血管疾患、心血管疾患等の生活習慣病予防や疾病の早期発見・早期治療を図る。

	R4	R5
健康教育	27回　延べ866人	9回　延べ64人
健康相談	821人	21回　延230人
訪問指導	42人	8人

健康増進事業費補助金：県2/3補助

事業評価：集団健康教育は感染症対策を行いながら実施した。 生活習慣病対策として、健診受診者に対し健康相談、訪問指導を重点的に行っており、今後も継続して取り組んでいく。

こころの相談事業費

○ 自殺防止を目的とし、こころの健康づくりに関する啓発及び支援体制の強化を図る。

	R4	R5
こころの授業	小中学校　7校　410人 高校　1校　19	小中学校　8校　347人 高校　2校　113
ゲートキーパ育成講座	4回	1回　31人
こころの健康に関するパンフレットの配布	特定年齢市民　177人	特定年齢市民　204人

自殺防止緊急対策事業費補助金　国　1/2～2/3

事業評価：R6.3月に輪島市健康づくり計画（第3次）と自殺防止対策計画（第2次）を一体的に策定し、市民の心身にわたる健康づくりを推進していくことができた。本計画に基づき、関連機関、関連施策との有機的な連携により、自殺者の減少を目指す。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
2	4	1	出産育児一時金	出産育児一時金	2,101	4,203	2,836	1,367	○ 被保険者が出産したときは出産育児一時金を支給する。 ・ 出産育児一時金　408,000円 × 1件 ＝ 408,000円（産科医療保障制度未加入医療機関） 426,852円 × 1件 ＝ 426,852円（差額分未支給あり） 500,000円 × 4件 ＝ 2,000,000円 ・ 事務手数料　210円 × 6件 ＝ 1,260円 事業評価：国民健康保険法第58条の規定により出産育児一時金の支給を行った。
2	5	1	葬祭費	葬祭費	3,900	4,000	3,250	750	○ 被保険者が死亡した際に遺族に葬祭費50千円を支給する。 65人　3,250千円 事業評価：国民健康保険法第58条の規定により葬祭費の支給を行った。
2	6	1	任意給付費	任意給付費	3,860	3,984	3,596	388	○ 結核及び精神に係る医療費の一部負担金を免除する。 4,126件　3,596千円 事業評価：結核公費及び精神通院公費の対象となる被保険者の負担軽減につながった。
4	1	1	特定健康診査事業費	特定健康診査事業費	21,472	22,598	22,332	266	○ 40歳以上の被保険者を対象に実施する生活習慣病の予防に重点を置いた健康診査事業。 国の医療制度改革により平成20年度から医療保険者に実施が義務づけられ、実施にあたっては、受診率等の目標が課されている。 事業評価：R5年度はコロナは落ち着いたが、例年、年度末に実施している医療機関から生活習慣病治療中の対象者の検査データを本人承諾のもと提供を受ける事業が、能登半島地震の発生によりできなかったことにより受診率が下がった。

年度	対象者数	受診者数	受診率	受診率(目標)
R1	5,643人	2,636人	46.7%	49.0%
R2	5,542人	2,304人	41.6%	51.0%
R3	5,313人	2,268人	42.7%	53.0%
R4	4,914人	1,986人	40.4%	55.0%
R5	5,270人	1,862人	35.3%	55.0%

※R4までは法定報告値
※R5は見込み

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容（成果・実績）・評価
4	2	1	保健事業費	保健衛生普及事業費	808	1,202	798	404	○ 医療費通知 被保険者に対し1年間にかかった医療費を通知し、確定申告に利用しやすいように年2回送付 配布世帯数　R6.2(R5.1～R5.11診療分)：4,108世帯 R6.3(R5.12診療分)：2,316世帯 ○ ジェネリック差額通知 被保険者に対しジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額を通知する。(年1回) 配布世帯数　R5.10：516世帯
									事業評価：ジェネリック医薬品の使用割合の増加により医療費の抑制が図られると思われる。また、差額通知に加え希望シール等の発行も行い、ジェネリック医薬品の普及に努めていく。
				人間ドック等助成事業費	6,105	9,784	8,262	1,522	○ 35歳以上の国保被保険者を対象に人間ドック、脳ドック検査費用の助成を行う。

・ 人間ドック(市立輪島病院を指定検査機関とし、検査費用の約8割を助成。)

年度	人数	助成額
R1	177人	9,285千円
R2	92人	4,762千円
R3	153人	7,886千円
R4	97人	5,076千円

・ 脳ドック(検査機関の指定はせず検査費用の8割を償還払いで助成。ただし、上限40,000円。)

年度	人数	助成額
R1	20人	657千円
R2	11人	369千円
R3	14人	463千円
R4	29人	1,029千円

・ 人間ドック等(検査費用の8割を償還払いで助成。ただし、上限あり)

年度		人数	助成額	助成額計
R5	市立輪島病院	94人	5,118千円	8,262千円
	その他の医療機関	55人	3,144千円	

事業評価：R5年度から市立輪島病院に加え、特定健診実施項目を行う県内の医療機関が助成対象となった。R6能登半島地震の影響により、市立輪島病院でのR6.1月～R6.3月受検は実施できなかった。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	1	1	介護予防・生活支援サービス事業費	介護予防サービス事業費（通所型サービス事業費）	64,449	59,841	56,596	3,245	○ 要支援者・基本チェックリスト該当者にデイサービス及び筋力向上トレーニングを提供することで介護予防を図る。 （事業状況）　【R4】利用延べ人数等　【R5】利用延べ人数等 元気デイサービス事業　1,426 人　1,087 人 アクティビティ教室事業　2,536 人　1,732 人 筋力向上トレーニング事業　1,396 人　826 人 通所介護(予防)　1,597 件　1,272 件 事業評価：住み慣れた地域で在宅生活を継続できるよう支援することができた。事業効果の周知や必要に応じて事業内容の見直しを行い、専門職や委託事業所の職員等と連携し、効果的な介護予防事業を提供した。
				介護予防サービス事業費（訪問型サービス事業費）	16,154	16,297	14,272	2,025	○ 要支援者・基本チェックリスト該当者に訪問により必要な相談指導を実施する。 （事業状況）　【R4】利用延べ人数等　【R5】利用延べ人数等 在宅機能訓練(訪問リハビリテーション)派遣　1 件　0 件 訪問介護(予防)　788 件　609 件 事業評価：一人一人の生きがいや自己実現のための取組を支援し、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう支援することができた。今後も事業を維持し介護予防を推進する。
				介護予防ケアマネジメント事業費	8,397	9,268	7,891	1,377	○ 基本チェックリスト該当者及び要支援1・2の認定を受けた方に、地域包括支援センター又は地域包括支援センターから委託を受けた居宅介護支援事業者が、対象者へ個別にアセスメントを実施して介護予防プランを作成する。 （事業状況）　【R4】　【R5】 要支援1・2のケアプラン委託件数　1,083 件　834 件 基本チェックリスト該当者のプラン委託件数　108 件　75 件 事業評価：基本チェックリスト該当者及び要支援1、2の認定を受けた方に、早期に介護予防ケアプランを作成して支援することで、身体機能及び認知機能の維持向上に取り組むことができた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	1	2	一般介護予防事業費	介護予防対象者把握事業費	332	297	186	111	○ 要支援・要介護状態になることを予防するため、対象者を把握する。 （事業状況） 介護予防対象者にアセスメントを行い、介護予防事業につなぐ。 事業評価：基本チェックリスト等により予防事業対象者を選定し、早期の介護予防に取り組むことができた。R2より医療機関と連携した形での対象者の把握方法を検討、模索している。
				介護予防対象者施策事業費（介護予防普及啓発事業費）	214	140	55	85	○ 広く一般高齢者に介護予防の必要性を啓発することで、高齢者の介護予防への主体的な取組を促す。 （事業状況）　【R4】　【R5】 いきいき百歳体操グループ数　39 グループ　42 グループ いきいき百歳体操参加人数(実数)　377 人　435 人 介護予防普及啓発番組「わじまイキイキ体操」 介護予防普及啓発を目的として、自宅でもできる介護予防体操の番組を製作。 輪島市ケーブルテレビで放送中。 事業評価：高齢者が自ら活動に参加して介護予防に向けた取組が主体的にできるようサポートしている。グループメンバーの高齢少数化と担い手の不足は不可避な課題である。各グループは、基本的な感染予防対策を行いながら活動を継続している。 能登半島地震後、対口支援の堺市より同市美原区作成の「いきいき百歳体操」の動画を提供いただき、輪島市ケーブルテレビで放送中である。
				介護予防対象者施策事業費（地域介護予防活動支援事業費）	2,911	3,464	2,606	858	○ 介護予防事業に取り組むボランティア及びボランティアグループの育成及び支援を行う。 （事業状況） 介護予防サポーター　【R4】　【R5】 ・登録人数　17 人　16 人 ・活動回数　57 回　52 回 地域住民グループ活動 ・活動グループ数　28 グループ　28 グループ 事業評価：介護予防に関するボランティア等の人材育成及び地域住民グループ活動の支援を行うことで介護予防に向けた取組を推進することができた。 登録のみで実際の活動が困難なサポーターが多いのが現状である。活動可能なサポーターを中心に介護予防活動を展開してもらっている。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	2	1	包括的支援事業費	総合相談事業費	4,659	5,324	4,840	484	○ 高齢者からの相談を受け付ける総合相談事業を行うとともに地域包括支援センターの運営に必要な業務を行う。 （事業状況）　【R4】　【R5】 地域包括支援センター運営協議会開催　1 回　1 回 総合相談件数(委託事業所受付含む)　2,020 件　1,406 件 総合相談業務等に関する業務委託事業所　13 事業所　13 事業所 事業評価：高齢化に伴い独居世帯や高齢者のみの世帯が増加しており、高齢者及びその家族等の相談を広く受付できるように、介護事業所へ一部委託を行っている。8050問題など関係機関が連携して取り組んでいくことが重要であり、適切な保健・医療・福祉サービス、機関又は制度の利用につなげるなど継続的な支援に取り組んでいく。
				権利擁護事業費	2,769	2,853	2,785	68	○ 高齢者虐待などの困難な問題を抱える高齢者の権利を護るため、専門的な立場から支援する。 （事業状況）　【R4】　【R5】 虐待相談件数　7 件　4 件 成年後見制度相談件数　10 件　6 件 事業評価：地域包括支援センターが専門的・継続的な視点から高齢者の権利擁護のための必要な支援を行った。今後も必要に応じて随時支援を行っていく。
				包括的・継続的ケアマネジメント事業費	3,791	3,153	2,516	637	○ 困難事例を抱える介護支援専門員への支援を行うとともに、必要に応じて関係機関とも連携を図ることで問題解決を図る。また、県のモデル事業として要支援等の生活行為の課題解決等、状態の改善に導き自立を促すことを目的とした自立支援型の地域ケア会議も開催した。 （事業状況）　【R4】　【R5】 地域ケア会議実施回数(課題解決型)　6 回　1 回 地域ケア会議実施回数(自立支援型)　2 回　0 回 事業評価：介護支援専門員・主治医・関係機関等の地域における連携・協働の体制づくりや介護支援専門員に対する支援を行った。
				在宅医療・介護連携推進事業費	3,643	3,889	3,519	370	○ 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう在宅医療と介護事業所等関係者の連携を図る。 （事業状況）　【R4】　【R5】 在宅医療・介護連携推進協議会開催　1回　委員　8　名　0回　委員　8　名 作業部会　2回　委員　6　名　2回　委員　6　名 わじまケアネット連絡協議会活動費補助金　95,846 円　69,966 円 事業費支弁職給等　3,547,029 円　3,449,258 円 事業評価：在宅医療・介護連携推進協議会の開催及びわじまケアネット連絡協議会の活動支援を行った。R2より、在宅資源部会と情報共有部会を作業部会に再編統合し、計2回開催。専門職間で多様な意見が交わされ、効果的な多職種連携が図られた。わじまケアネット連絡協議会の事業として、門前地区において介護フェアを開催し、介護サービスの周知や介護相談、看取りに関する講演会を開催した。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	2	1	(包括的支援事業費)	生活支援体制整備事業費	10,639	12,146	11,603	543	○ 高齢者等が可能な限り住み慣れた地域で暮らし続けられるように、住民主体で介護予防や生活支援に取り組み、お互いを支え合うことのできる体制を、既存の互助の力を組織化することで強化する。 ・第2層生活支援コーディネーター活動地区　6地区(浦上、門前、三井、町野、鵠巣、大屋) ・第1層協議体会議の開催　書面開催により、第1層生活支援コーディネーター(通称SC：サポートコーディネーター)、第2層協議体、第2層生活支援コーディネーターの活動状況を報告。 事業評価：第2層協議体、第2層生活支援コーディネーターの配置体制が整った地域から、サロンの開催の活動支援等を行っている。 第1層協議体(市全域)の会議は、能登半島地震への対応で活動状況の報告はできなかった。 新たな地区での第2層の体制整備に向けた協議を地域関係者や介護事業所と行い、R5年度中は大屋地区で新たに体制を整えることができた。
				認知症総合支援事業費	4,547	5,057	4,618	439	○ 認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らせるよう医療、介護及び生活支援を行うサービスが連携したネットワークを形成する。 (事業状況)　【R4】　【R5】 認知症地域支援推進員配置人数　11 人（うち地域包括職員4人）　12 人（うち地域包括職員4人） 認知症初期集中支援チーム支援件数　1 件　0 件（前年度からの継続支援1件） 事業評価：R1より、地域密着型事業所内にも認知症地域支援推進員を配置した。認知症になってもできる限り住み慣れた地域で暮らせるように、認知症初期集中支援チームで、認知症の人やその家族に早期に関わることにより、認知症の人に対して効果的な支援が行われた。
3	2	2	任意事業費	任意事業費	44,187	38,082	30,800	7,282	○ 家族介護者への支援及び配食サービス、認知症高齢者とその家族への支援を行うことで、高齢者が住み慣れた自宅で暮らし続けるための環境を整える。 (事業状況) 【R4】実績値　【R5】実績値 家族介護支援事業(紙おむつ助成券)　3,036 枚　2,586 枚（要介護4,5） 成年後見制度利用支援事業　10 人　6 人 シルバーハウジング生活援助員派遣事業　31 戸対象　31 戸対象 食の自立支援事業(配食サービス)　73,867 食　47,850 食 生活・介護支援サポーター養成事業　11 人　10 人 介護給付費通知書作成　6,569 件　6,127 件 地域貢献みまもり事業　72 者　72 者 事業評価：高齢者が要介護状態等となることを予防することを通じて、一人一人の生きがいや自己実現のための取組を支援し、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう支援することができた。今後も同事業を推進することで、在宅介護を支援する体制を強化する。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
資本的支出									
1	1	1	営業設備費	医療機器等整備事業	209,507	90,000	89,976	24	○ 耐用年数が経過した医療機器等の更新等 医療機器の更新(主なもの) X線透視診断装置 34,650 千円 静的視野計 7,568 千円 電気メス 6,380 千円 マンモビューワー 5,742 千円 全自動血液凝固測定装置 5,368 千円 眼圧計 4,290 千円
									事業評価：耐用年数を経過した医療機器等の更新については、計画的に進めることができた。今後も、計画的な更新により医療の質の向上を図るとともに、経営改善に努めていく。
			施設整備費	空調用間接蒸気加湿器改修工事等	32,802	106,009	14,830	91,179 (うち繰越) 88,879	○ 老朽化に伴う施設設備等の改修 宮川医師住宅改修工事（301号室、302号室） 9,189 千円 空調用間接蒸気加湿器改修工事 3,971 千円 照明器具改修工事 1,670 千円
									事業評価：能登半島地震の影響により一部事業を繰越すこととなった。災害に伴わない機械設備や建物本体の老朽化対策については、今後も全体的な長寿命化計画(個別施設計画)により、計画的に更新していく。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
2	1	6	企画費	門前高等学校野球指導アドバイザー事業費	4,404	4,401	4,400	1	○ 門前高等学校野球指導アドバイザーに星稜高校野球部元監督の山下智茂氏を招聘(R4.3から指導開始) 門前高等学校生徒確保及び人間力の育成を目的として活動 ・山下智茂氏を輪島市地域おこし協力隊として委嘱(委託型) ・需用費　795 千円 ・委託料　2,400 千円 ・使用料賃借料　1,205 千円 【門前高等学校入学者数】※定員80名 入学年度：R6 R5 R4 R3 R2 H31 H30 H29 人数(人)：32 46 28 11 21 21 36 27 ※R4は28名中、15名が野球部員でうち6名が市外から入学 ※R5は46名中、25名が野球部員でうち23名が市外から入学 ※R6は32名中、20名が野球部員でうち15名が市外から入学 事業評価：地震発生後にもかかわらず、R6の入学者のうち約3分の2の20名が野球部員であり、そのうち15名が市外からの入学者であった。野球部の活動や活躍が世間に広まっており、事業効果が表れている。
				門前高等学校生徒受入支援事業費	18,735	76,930	74,983	1,947	○ 市外から門前高等学校に進学する生徒の住居確保や受入環境整備 ・生徒宿舎賃借料の支払(R9まで) ・使用料及び賃借料　68,200 千円 ・生徒宿舎及びさくら寮の改修・備品購入 ・工事請負費　3,179 千円 ・備品購入費　3,604 千円 事業評価：市外から門前高校に進学する生徒増が見込まれたため、生徒宿舎及びさくら寮を改修し、受入環境を整備することができた。
				門前高等学校生徒宿舎等運営費	0	40,000	26,313	13,687	○ 生徒宿舎及びさくら寮の運営経費 ・人件費　704 千円 ・需用費　5,071 千円 ・役務費　190 千円 ・委託料　18,918 千円 ・使用料及び賃借料　601 千円 ・負担金、補助及び交付金　829 千円 事業評価：生徒宿舎等を市が直接運営することにより、生徒が安心して生活できる環境を整備することができた。R6.8.31現在は生徒44名(3年5名、2年23名、1年16名)を受け入れて運営。今後も生徒宿舎及びさくら寮の円滑な維持運営を実施する。(R6.1.1～R6.3.31は地震のため、生徒宿舎等の使用を休止した。)

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
2	1	6	企画費	高校魅力化プロジェクト事業費	31,348	33,971	27,659	6,312	○ 輪島高校及び門前高校の魅力化を図るため、輪島市高校魅力化プロジェクト事業を実施。 ・ 地域おこし協力隊員(高校魅力化推進スタッフ)の採用等 地域おこし協力隊員の募集・面接の実施等(R5年度は5名体制で活動) ・ 輪島市学習センターの設置及び運営等 輪島市学習センター：輪島高校内　空き教室(R5年度から輪島市文化会館4階フロアへ移転) 輪島市学習センター門前キャンパス：門前総合支所内(1階防災研修室) ・ 輪島市学習センター利用生徒数　（　）は前年同時期の人数

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
輪島高校生徒	22(－)	39(7)	49(10)	52(12)	52(14)	51(16)	49(18)	49(19)	43(17)	閉(17)	閉(16)	閉(12)
門前高校生徒	21(－)	23(2)	25(2)	28(2)	28(2)	28(2)	28(2)	28(5)	28(6)	閉(13)	閉(14)	閉(14)
合計	43(－)	62(9)	74(12)	80(14)	80(16)	79(18)	77(20)	77(24)	71(23)	閉(30)	閉(30)	閉(26)

・ 能登半島地震以降、輪島市学習センターは閉所中（施設被害等により）

事業評価：R5年度は学習センター利用生徒数も急増した。輪島市高校魅力化プロジェクト事業の中核を担う輪島市学習センターの運営を行い、学習センターを利用する生徒の学力向上、進路実現に向けたサポートを行うことができた。※能登半島地震以前までは順調に進捗

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
10	1	2	事務局費	教育支援員等配置事業費	79,021	90,605	78,658	11,947	○ 小中学校図書館司書等に係る人件費　21,031 千円 図書館司書　4名、司書補　4名 閲覧・貸出環境の改善による利用数等の拡大、朝読書の習慣化 ○ 外国語指導助手の配置に係る人件費等　4名　18,427 千円 市内小中学校での英語教育補助等 1校当たり年30日程度 外国語学習の充実を図るための生の英語に触れる機会の提供 ○ 特別支援教育支援員の配置に係る人件費　18名　30,987 千円 障害等を抱える児童生徒に対する教育支援 ○ スクールサポートスタッフの配置に係る人件費　6名　8,213 千円 教員が児童生徒の指導に集中できる環境の整備

事業評価：特別支援教育支援員の増員など、教育現場におけるニーズに合わせた支援体制をとることができた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
10	1	2	（事務局費）	特色ある学校づくり支援事業費	1,028	1,099	773	326	○ 学校ごとの特色を発揮するための独自事業の実施 小学校分　430千円、中学校分　343千円 裁量予算の配当による学校独自の企画力、経営力の醸成 事業評価：校長等の裁量により、学校ごとの独自性のある取組が実施された。
				学力向上推進事業費	2,922	3,069	2,353	716	○ 市独自の学力調査の実施　1,199 千円 小学校全学年及び中学校1年、2年対象 ○ 優秀児童生徒の表彰　28 千円 教育長表彰(漢検・英検準2級以上合格者対象) ○ 中学生英検受験料　1,126 千円 生徒の学力変容等の把握、再学習への活用、学力調査結果の向上 事業評価：市独自の学力調査の実施により、個々の児童生徒への適切な指導のための資料を得ることができたほか、英検等の受験により英語能力の向上についての意識付けが図られた。
				県立高等学校生徒通学支援事業費	4,328	4,500	3,373	1,127	○ 輪島高校及び門前高校に路線バスを使って通う生徒に対するバス通学費(通学定期及び回数券の購入費)を補助 ◇助成内容 市内在住者：自己負担額の全額 市外在住者：自己負担額の2分の1の額(1円未満の端数は切捨て) ◇助成実績【R5年度】 件数：155件　金額：3,372,610円 事業評価：市内外から輪島高校及び門前高校に通う生徒に係るバス通学費の負担軽減が図られ、両高校の生徒確保に寄与している。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
10	1	2	（事務局費）	県立高等学校活性化支援事業費	1,859	2,022	1,497	525	○ 優秀な人材の育成及び特色ある学校づくりを通じた地域教育の充実発展を図るため、市内の県立高等学校の生徒等が行う研修、研究その他の学習活動に係る費用の全部又は一部を支援 ◇ 市内県立高等学校への補助金の交付 ・ 輪島高等学校 789 千円 「ふるさと活性化プロジェクト」の取組 (224) 千円 教員の「教科指導力向上」に向けた取組 (204) 千円 「開かれた学校づくり」推進に向けた取組 (234) 千円 「心豊かで地域に貢献できる人材育成」に向けた取組 (90) 千円 「地域理解プログラム」の取組 (37) 千円 ・ 輪島高等学校(定時制) 198 千円 ふるさとを知り、地域愛を育む事業 (148) 千円 スポーツや文化活動を通して個々の多様な能力を伸ばす事業 (50) 千円 ・ 門前高等学校 510 千円 英会話力向上事業 (270) 千円 授業効率化事業 (80) 千円 総持寺交流事業 (100) 千円 ボランティア活動活性化事業 (14) 千円 そばづくり体験学習 (46) 千円 事業評価：生徒の学習意欲を喚起させ、個々の優れた能力を一層伸ばすとともに、地域に貢献する優秀な人材の育成及び「魅力ある学校づくり」に寄与した。
10	2	1	学校管理費	校舎等営繕費	45,488	35,330	26,854	8,476	○ 市内9小学校(河井小、鳳至小、鵠巣小、大屋小、河原田小、三井小、町野小、門前東小、門前西小)の校舎等の営繕を行い、教育環境の整備を図った。 ・ 需用費 8,770 千円 ・ 工事請負費 18,084 千円
10	2	2	教育振興費	教材費	8,251	10,374	6,491	3,883	○ 授業に必要となる消耗品、教材備品、教具、図書の購入費等
				学校活動振興事業費	1,015	2,484	1,588	896	○ 教育委員会主催事業の実施経費等 172 千円 読書感想文コンクール ○ 卒業制作沈金指導委託及び漆芸パネル購入費 758 千円 輪島沈金業組合へ委託 ○ 校外活動参加に係るバス等の借上費 161 千円 いしかわっ子駅伝　ほか ○ 鼓笛隊用楽器購入費 497 千円 事業評価：市内全小学校参加行事の実施や、校外活動、イベント等への参加を通じ、授業以外での学習や体験の機会を設けることができた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
10	2	2	（教育振興費）	ICT推進事業費	20,647	35,664	23,549	12,115	○ 校務支援システムの構築・運用の開始　4,170 千円 県内の17市町(2町はR6以降導入予定)で共同調達により導入 出席簿や通知表の作成、学校・教職員間の連絡等の校務の簡略化をシステム上で実現し、業務の改善・効率化を図った。 ○ 事務消耗品・備品購入費　4,790 千円 ○ 委託料　5,783 千円 小中学校通信ネットワーク保守業務　(3,159) 千円 学校ICT支援員業務　(2,624) 千円 各学校にICT支援員を派遣し、学習用端末の設定や操作支援、授業中のICT活用支援を行った。 ○ AIドリルソフト、授業支援ソフト、フィルタリングソフトの導入　8,123 千円 ○ 通信費・手数料　638 千円 ○ 補償金　45 千円 事業評価：校務支援システムの運用、ネットワークの保守により、ICT活用の環境を整えることができた。また、学力向上を目的とした児童向け及び教員向けの各種ソフトの導入により、ICTを活用した学習環境を整えることができた。
10	2	3	学校建設費	鳳至小学校屋内運動場改修事業費	0	68,200	61,697	6,503	○ 鳳至小学校屋内運動場の改修工事を実施（外壁・防水・床・バスケットゴール） ・ 工事請負費　61,697 千円 事業評価：劣化した外壁等の改修工事を行い、児童の安全を確保することができた。
10	3	1	学校管理費	校舎等営繕費	4,104	7,270	6,865	405	○ 市内3中学校(輪島中、東陽中、門前中)の校舎等の営繕を行い、教育環境の整備を図った。 ・ 需用費　2,662 千円 ・ 工事請負費　4,203 千円

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
10	3	2	教育振興費	教材費	5,999	6,105	3,909	2,196	○ 授業に必要となる消耗品、教材備品、教具、図書の購入費等
				学校活動振興事業費	16,166	20,016	13,888	6,128	○ 教育委員会主催事業の実施経費等　10 千円 修学旅行企画費ほか ○ 中学生職場体験事業の実施経費　168 千円 腸内細菌検査ほか ○ 部活動の公式大会参加に係るバス等の借上費　5,103 千円 選手等輸送、楽器搬送 ○ 中学校体育連盟負担金　190 千円 ○ 部活動生徒輸送、市中学校体育連盟各種大会開催費、県中学校体育大会選手派遣費補助金　8,417 千円 部活動における各種大会(中体連等が主催する大会を除く。)や練習試合等の生徒の輸送費に対する補助 事業評価：部活動に係る生徒の輸送費を補助することにより、輸送の安全確保並びに教職員及び保護者の負担軽減が図られた。
				ICT推進事業費	8,880	10,666	10,135	531	○ 校務支援システムの構築・運用の開始　1,390 千円 県内の17市町(2町はR6以降導入予定)で共同調達により導入 出席簿や通知表の作成、学校・教職員間の連絡等の校務の簡略化をシステム上で実現し、業務の改善・効率化を図った。 ○ 事務消耗品・備品購入費　1,977 千円 ○ 委託料　1,928 千円 小中学校通信ネットワーク保守業務　(1,053) 千円 学校ICT支援員業務　(875) 千円 各学校にICT支援員を派遣し、学習用端末の設定や操作支援、授業中のICT活用支援を行った。 ○ AIドリルソフト、授業支援ソフト、フィルタリングソフトの導入　4,647 千円 ○ 使用料賃借料　99 千円 ○ 通信費・手数料　55 千円 ○ 補償金　39 千円 事業評価：校務支援システムの運用、ネットワークの保守により、ICT活用の環境を整えることができた。また、学力向上を目的とした児童向け及び教員向けの各種ソフトの導入により、ICTを活用した学習環境を整えることができた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
10	5	1	学校給食費	学校給食費無償化事業費	0	67,827	47,202	20,625	○ 児童生徒の学校給食費を無償化 無償化の対象とする学校給食 ・ 次の①と②の両方に該当する児童生徒が提供を受けた学校給食 ① 輪島市立小中学校又は特別支援学校の小学部・中学部に在籍する児童生徒 ② 児童生徒とその保護者の住民票が輪島市にあること ・ 学校給食の提供を受けた期間 児童 ： 1年生から3年生まで 8月から翌年3月まで 4年生から5年生まで 4月から翌年3月まで 生徒 ： 全学年 4月から翌年3月まで 能登半島地震により避難した先で通学した小中学校で提供を受けた学校給食分も無償化した。 ・ 児童に係る学校給食費無償化事業費 26,733 千円 輪島市立小学校提供分 (23,863) 千円 特別支援学校小学部提供分 (101) 千円 避難先小学校提供分 (2,769) 千円 ・ 生徒に係る学校給食費無償化分事業費 20,469 千円 輪島市立中学校提供分 (20,165) 千円 避難先中学校提供分 (304) 千円 事業評価：物価が高騰する中、安全でおいしい学校給食を引き続き提供することができた。また、子育て世代の経済的負担の軽減を図り、安心して子育てができる環境づくりを進めることができた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
10	4	2	公民館費	公民館活動事業費	7,318	9,390	6,799	2,591	○地域づくり事業、花のまちづくり事業、コミュニティ活動推進事業 18公民館　6,419 千円
10	4	10	男女共同参画推進費	男女共同参画社会づくり推進事業費	744	809	337	472	○事業内容 男女共同参画推進大会　参加者150名

公民館名	講座回数	参加者数	公民館名	講座回数	参加者数
中央			鳳至	59 回	788 人
輪島	53 回	869 人	剱地	184 回	1,729 人
大屋	46 回	389 人	阿岸	75 回	652 人
河原田	35 回	209 人	黒島	103 回	1,095 人
鵠巣	50 回	419 人	諸岡	34 回	688 人
西保	18 回	201 人	門前	32 回	752 人
三井	77 回	1,650 人	本郷	32 回	263 人
南志見	27 回	425 人	浦上	62 回	1,166 人
町野	41 回	502 人	七浦	51 回	545 人
港	31 回	266 人	計	1,010 回	12,608 回

○ 補助金計　6,419 千円
○ 消耗品費　380 千円

事業評価

地域住民の多様な学習ニーズに応じた各種講座を開催することにより、地域住民に対し、「学び」「結びつき」の機会を提供し、地域づくりにつながる学習活動支援を行った。1月より能登半島地震の影響で公民館の利用ができなかったため、利用者は3割程度減少している。

事業評価

今回、輪島市民祭りパレードでの街頭PRや他イベントにおいての男女共同参画啓発活動を実施した。
R4.3に策定した「輪島市男女共同参画行動計画」に基づき、男女共同参画社会の推進に努めた。今後も啓発活動等を行い、男女共同参画の推進に努めたい。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
10	5	2	体育振興費	生涯スポーツ推進事業費	7,081	7,016	6,306	710	○ 総合型地域スポーツクラブの活動及び各種スポーツ大会の開催費用の一部につき、補助金を交付することにより、子どもから高齢者までのスポーツの活性化を図った。 総合型地域スポーツクラブ活動支援事業 ・NPO法人町野スポーツクラブ　900　千円 ・南志見スポーツクラブ　500　千円 ・NPO法人もんぜんスポーツクラブ　900　千円 各種スポーツ大会開催費等　1,311　千円 ・バスケットボール３×３推進事業補助 ・輪島市学童野球大会(春季・夏季・秋季・新人)開催補助 ・輪島市中学生バスケットボール交流大会開催補助 ・第26回輪島市長杯グラウンド・ゴルフ大会開催補助 ・第24回グラウンドゴルフin輪島大会開催補助 ・第63回全能登駅伝競争大会開催・出場補助 ・第36回石川県小学生陸上競技大会輪島市予選会開催補助 ・PFUブルーキャッツスポーツ合宿誘致PR動画作成事業補助 ・第9回石川県パドルテニス選手権大会開催補助 ・北信越ソフトボール大会開催事業補助 事業評価：総合型地域スポーツクラブの活動に対する支援については、多種目・多世代のスポーツ振興を目的としているが、事業内容が固定化の傾向にあるため、広く市民のニーズに対応できるよう自助努力を促す。また、各種スポーツ大会に対する支援については、参加者層や競技の特性を考慮しつつ、補助金交付基準の見直しを実施し、公平性を図ることができた。 多くの大会は通常通り開催することができたが、1.1能登半島地震の影響により1月以降の大会は中止となった。
				全日本競歩輪島大会開催費補助	10,000	10,000	9,099	901	○ 4/15,16　日本陸連公認競歩コース 第62回全日本競歩輪島大会 全日本男子10km、女子10km、U20男子10km、女子10km、男子高校1･2年3km、男子高校5km、女子高校1･2年3km、女子高校5km 第107回日本陸上選手権大会35km競歩 男子35km、女子35km ○ 競歩支援 第14回スピードウォーク大会 開催期日　4/15 事業評価：競歩大会を開催することにより、本市が「競歩の聖地」として定着した。特に、日本陸上競技選手権大会35kmを開催できることは、本市のステータスシンボルである。 世界規模の大会においても、日本選手の強さが目立っており、本大会にも多くのトップ選手が参加している。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
10	5	2	（体育振興費）	体育協会運営費等補助	1,820	4,185	3,887	298	○ 輪島市スポーツ協会(加盟25競技団体)の活動を支援することにより、競技スポーツの振興を図った。 ・輪島市スポーツ協会運営事業費補助金　432 千円 ・石川県民スポーツ大会夏季大会選手派遣事業補助金　2,501 千円 ・石川県民スポーツ大会冬季大会選手派遣事業補助金（中止）　0 千円 ・奥能登体育大会補助金　315 千円 ・奥能登体育協会市町負担金　347 千円 ・第75回石川県民スポーツ大会夏季大会 かほく市を中心として開催された。開催日：8月5日（土）6日（日） 派遣：役員10名　選手19競技　347名 ・第75回石川県民スポーツ大会冬季大会 1.1能登半島地震の影響により中止 ・第18回奥能登体育大会 珠洲地区を中心として開催。次回は能登町 開催日：6月11日（日）　派遣：役員7名　選手12競技　211名 事業評価：石川県民大会夏季大会については、かほく市を中心とし、非常に暑い中での開催となった。奥能登体育大会については5月の珠洲地震後の開催となった。両大会選手派遣を通じて競技スポーツの振興及び競技者の技術力の向上を図った。
				スポーツ少年団各種大会開催費補助	690	750	750	0	○ マリンカップ小学生バレーボール大会は中止となったが、その他大会においては、県内スポーツ少年団を招き、大会を開催することができ、交流人口の拡大と青少年の健全育成を図った。 交付先　輪島市スポーツ少年団 主催　輪島市スポーツ少年団　後援　輪島市教育委員会 ・北陸近県ミニバスケットボール友好大会 5/28,29　参加者数　男子　10チーム161名　女子　12チーム185名 ・マリンカップ小学生バレーボール輪島大会 中止 ・北陸三県輪島招待スポーツ少年団交流野球大会 8/5,6　参加者数　12チーム　217名 ・輪島サッカースポーツ少年団交歓ジュニアサッカー大会 8/12,13　参加者数　14チーム　280名 事業評価：開催した各大会ともに、多くのチームに参加していただき、試合を通じて団員同士の親睦を図ることができた。
				峨山道トレイルランニング大会開催費補助	2,500	3,000	3,000	0	○ 地域資源である峨山道を活用し、禅文化の発信と交流人口の拡大を図った。 開催日　10/7(土) クラシカル77kmコース　エントリー　304名　出走者　269名　完走者　205名 ミドルコース30kmコース　エントリー　176名　出走者　148名　完走者　146名 事業評価：知名度が低いことに加え、県内外においてトレイルランニング大会の開催増加に伴い競争が激化することで、参加者数の伸び悩みが見られる。 こうした中、参加者にとって魅力的なコースの設定、PR活動による知名度向上とともに参加者数の増加に努めていく必要がある。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
10	5	3	体育施設費	体育施設管理費	151,902	147,708	146,516	1,192	○ 一本松総合運動公園、輪島地区体育施設指定管理 ミズノスポーツサービス(株)　103,000 千円 ○ 町野地区体育施設指定管理 NPO法人町野スポーツクラブ　12,465 千円 ○ 門前地区体育施設指定管理 NPO法人もんぜんスポーツクラブ　25,470 千円 ○ その他体育施設管理費　5,581 千円
									事業評価：体育施設の管理・運営に民間活力を導入し、利用者のサービス向上に寄与することができた。
				体育施設整備事業費	123,035	287,628	115,756	171,872 （うち繰越） 138,898	○ 委託費　門前野球場本部施設等改修工事実施設計業務　5,445 千円内　繰越明許 3,845千円 一本松総合運動公園サン・プルル、サン・アリーナ大規模改修実施設計業務　14,994 千円 ○ 工事費　町野水泳プール（50m）ろ過機ろ材入替及び塗装工事　3,762 千円 輪島市輪島野球場ダグアウト改修工事　2,068 千円 一本松総合運動公園市民温水プールサン・プルル制御盤PLC更新工事　814 千円 輪島市門前健民体育館屋根改修工事　34,870 千円　繰越明許 20,970千円 輪島市門前野球場本部施設等改修工事（電気設備）　11,385 千円　繰越明許 6,885千円 輪島市門前野球場本部施設等改修工事（機械設備）　19,800 千円　繰越明許 11,900千円 輪島市門前野球場本部施設等改修工事（建築）　158,400 千円　繰越明許 95,100千円 輪島市輪島野球場ダグアウト床改修工事　440 千円 【災害復旧】一本松総合運動公園サン・プルル電気設備応急復旧工事　167 千円 ○ 手数料　198 千円　繰越許 198千円 ○ 備品購入費　スポーツトラクター及びアタッチメント一式　2,310 千円
									事業評価：施設・設備の改修整備により、利用者へのサービス向上が図られた。
				体育施設整備事業費（繰越明許）	27,698	5,160	5,160	0	○ 委託費　輪島市門前野球場本部施設等改修工事実施設計業務（繰越明許）　5,160 千円
									事業評価：施設・設備の改修整備により、利用者へのサービス向上が図られた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
10	4	3	文化振興費	文化振興事業費	1,840	2,776	2,125	651	○ 文化振興事業の開催 自主事業等公演 ・三宅島芸能同志会×鼓童-石川県輪島公演-(共催)　8/6　輪島市文化会館大ホール　約400 人　308 千円 石川県芸術鑑賞推進事業 ・オーケストラ鑑賞教室　6/1　輪島市文化会館大ホール 鑑賞者：輪島市内中学校全生徒　460人　698 千円 ・スクールシアター　6/9　輪島市文化会館大ホール 鑑賞者：輪島市内小学校5・6年生　275人　496 千円 第65回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会(京都大会出場補助) ・市補助金交付先：門前とどろ保存会　11/9　150 千円 その他事務費　473 千円 事業評価：自主事業、共催事業を行い、市民の多様なニーズに応じた様々な鑑賞機会の提供に寄与することができた。また、オーケストラ鑑賞教室及びスクールシアターを開催し、児童生徒に対し優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供することができた。
				輪島市美術展事業費	1,000	1,000	1,000	0	○ 第55回輪島市美術展の開催　総事業費　1,271 千円 市美術展の運営委託　委託先：輪島市美術展運営理事会　財源：市委託料　1,000 千円 ・会場　：輪島市文化会館2F・3F展示室 ・期間　：6/1～6/5(5日間)　入場者数：769人 事業評価：昭和42年に初展を開催して以来、地域に根ざした美術展として開催しており、市民の文化芸術の振興・発展に寄与することができた。近年、出品数の減少が課題となっている。
				文化協会事業費補助	1,000	1,000	1,000	0	○ 補助金交付先：輪島市文化協会　総事業費　1,995 千円 夏の文化祭(7/2)　財源：市補助金　1,000 千円 ・会場：輪島市文化会館 ・参加：9団体　入場者数：約300人 第16回輪島市民文化祭「あいの風」(11/3～11/5) ・会場：輪島市文化会館、門前会館　ほか　入場者数：約3,200人 ・内容：講演会、作品展、芸能祭、音楽祭、生け花展、お茶会、短歌大会、俳句大会、段駄羅大会 事業評価：市民文化祭「あいの風」、7月に「夏の文化祭」を開催することができ、会員の日頃の活動成果の発表機会が得られたほか、姉妹協会の八尾町文化協会との交流や各種イベントへの参加などにより、市民文化芸術活動の振興に寄与することができた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
10	4	3	（文化振興費）	三夜踊り開催費補助	3,300	2,200	2,200	0	○ 補助金交付先：三夜踊振興連絡会　総事業費 3,061 千円 三夜踊の開催　財源：市補助金 2,200 千円 ・期間 ：8/14～8/16 ・場所 ：マリンタウン特設会場　参加者数：約4,600人 三夜踊講習会 ・期間 ：6/6～8/1(9回) ・場所 ：輪島市文化会館　参加者数：約250人 事業評価：三夜踊及び三夜踊講習を開催することにより、市指定無形民俗文化財「三夜踊」の保存・振興を図ることができた。
				伝統芸能伝承教室開催費	300	320	195	125	○ 市補助金交付先：市内小中学校　5校 ※門前中学校の門前とどろの指導は、震災の影響により事業中止。 事業評価：市内3小学校、2中学校において伝統芸能の伝承教室を実施し、児童生徒が地域の伝統芸能を体験し、潜在的な担い手を確保することに寄与した。

交付先	内　容	対象	金　額
大屋小学校	輪島まだらの指導	4～6年生　44人	75千円
門前東小学校	能登麦屋節の指導	3～6年生　28人	50千円
門前西小学校	能登麦屋節の指導	5～6年生　10人	10千円
輪島中学校	祭り太鼓の指導	3年生　125人	20千円
門前中学校	能登麦屋節の指導	1年生　14人	40千円
		合　計	195千円

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
10	4	3	（文化振興費）	文化活動支援事業費	775	784	648	136	○ 輪島市いけばな協会　総事業費 137 千円 ・事業名：輪島市こどもいけばな体験教室　財源：県文化振興基金 91 千円 ・会場：ふれあい健康センター、輪島漆芸美術館　市補助金 19 千円 ・開催日：6/2～4、11/3～5 ・参加数：16人 ○ 輪島・和太鼓虎之介　総事業費 825 千円 ・事業名：トランスミット・トラディションコンサート　財源：県文化振興基金 373 千円 ・会場：輪島市文化会館大ホール　市補助金 156 千円 ・開催日：10/22 ・参加数：73人、入場者数：160人 ○ 茶道文化発信事業実行委員会　総事業費 134 千円 ・事業名：巡回学校茶道教室及びミニ茶会開催事業　財源：県文化振興基金 89 千円 ・会場：大屋小学校、鳳至小学校　市補助金 22 千円 ・開催日：9/25、10/17 ・参加数：茶道体験教室92人(うち児童57人) ※中学生を対象とした体験教室が実施できなかったため、中学生の参加を想定していたミニ茶会は中止とした。 ○ 輪島高州太鼓　総事業費 1,257 千円 ・事業名：プロ講師に学ぶ子ども和太鼓講習会及び発表会　財源：県文化振興基金 613 千円 （講習会）　市補助金 153 千円 ・会場：旧鵠巣公民館 ・開催日：7/7～7/9、11/23～11/25 （発表会） ・会場：輪島市文化会館大ホール ・開催日：12/17 ・参加者：70人、コンサート入場者：350人 ○ 輪島市文化協会　総事業費 843 千円 ・事業名：輪島市文化協会文化交流拡大事業　財源：県文化振興基金 421 千円 （講演会及び八尾町との交流発表会）　市補助金 210 千円 ・会場：輪島市文化会館大ホール　他 ・開催日：11/4 ・入場者数：330人 ○ 琴生流Oh・つぼね　総事業費 327 千円 ・事業名：大正琴講習会及び定期発表会開催事業　財源：県文化振興基金 151 千円 （定期演奏会)三井の里野外コンサート　市補助金 88 千円 ・会場：旧三井駅舎 ・開催日：7/22 ・入場者数：200人、参加者数：30人 （定期演奏会)”大正琴とうた”のしらべ演奏会 ※R6.3に予定していたが、震災により中止
									事業評価：市内の文化団体が行う新たな文化活動への支援を通じ、文化芸術活動の裾野を広げることに寄与することができた。なお、一部の団体で震災による影響により事業の一部ができなかった。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
10	4	3	（文化振興費）	「いしかわ百万石文化祭2023」開催事業費	1,169	13,942	13,876	66	○「いしかわ百万石文化祭2023」　総事業費 36,118 千円 ・ 会期 ： 10/14～11/26　44日間　財源：県補助金(2/3) 22,100 千円 ・ いしかわ百万石文化祭2023輪島市実行委員会　市補助金 13,634 千円 事業内容 (1)「疾風怒涛－現在を駆け抜ける髹漆表現」 実施期間：10/1～11/26 実施会場：石川県輪島漆芸美術館 来場者数：4,818人 (2)輪島～時國－祭礼－ZEN－　輝く文化のパビリオン 実施期間：10/14～11/26 実施会場：市内飲食店、大本山總持寺祖院周辺、輪島市キリコ会館、国指定重要文化財 時國家 来場者数：5,000人 (3)禅の里秋祭り 実施期間：10/28～10/29 実施会場：總持寺通り商店街、堀端橋付近の広場、大本山總持寺祖院 来場者数：400人 (4)里山・里海文化まつり 実施期間：11/11～11/12 実施会場：輪島マリンタウン（キリコ会館周辺） 来場者数：4,400人 (5)ときのしらべ 実施期間：11/25 実施会場：国指定重要文化財　時國家 来場者数：200人 (6)里山里海きりえの祭典 実施期間：10/17～10/26 実施会場：輪島市文化会館2階展示室、3階301・302会議室 来場者数：1,400人 (7)来訪神と御面太鼓の祭典 実施期間：10/29 実施会場：輪島市文化会館大ホール 来場者数：1,100人
									事業評価：国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭が石川県で開催され、輪島ならではの文化資源を活かした様々なイベントを開催し、多くの方々に地域の文化の魅力を発信することができた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
10	4	3	（文化振興費）	現代美術展輪島展開催事業費	0	2,700	2,082	618	○ 第79回現代美術展　輪島展 ・ 開催期間 ： 7/15～7/23（9日間） ・ 会場 ： 石川県輪島漆芸美術館 ・ 入場者数 ： 1,389人 ・ 展示数 ： 71点 ・ 部門 ： 日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真 委託料　展示業務 1,279 千円 設営業務 222 千円 開場式(音響) 50 千円 案内業務 155 千円 その他事務費 376 千円 事業評価：全国地域美術展の最高峰である現代美術展を70年ぶりに輪島で開催し、市の芸術文化の振興を図ることができた。
10	4	4	文化財保護費	埋蔵文化財等調査費	17,197	20,861	9,089	11,772 (うち繰越) 6,258	○ 市内遺跡等の整理分析作業及び事前分布調査の実施 ・整理分析関係(原因者負担) ・本市上野遺跡発掘調査支援業務　委託費 4,510 千円 ※令和6年能登半島地震により業務が遅延したため繰越(2件) ・大釜1・3号塚跡整理作業支援業務　委託費 4,598 千円 ・大釜地区関連遺跡群出土遺物の自然化学分析業務　委託費 1,660 千円 ・分布調査関係等(市負担＝補助対象) 調査方法等：試掘調査及び測量業務 補助対象経費 3,348 千円 財源： 国補助金(50%) 1,600 千円 県補助金(25%以内) 800 千円 補助対象外経費 1,231 千円 事業評価：市内遺跡等において計画的に事前分布調査、整理分析作業等を実施し、埋蔵文化財の適切な保存、記録を実施することができた。
				輪島塗技術伝承者養成事業費補助	2,400	2,400	437	1,963	○ 重要無形文化財輪島塗技術伝承者養成事業費の補助 交付先：重要無形文化財保持団体「輪島塗技術保存会」 伝承者数：7名(きゅう漆2名、蒔絵5名) 総事業費 9,727 千円 財源：国補助金 8,800 千円 県補助金 189 千円 市補助金 437 千円 事業評価：経験の浅い若手から、より高度な技術修得を目指す中堅まで、個々の技能差に応える研修を行った。また、会員による制作を若手が間近に学んで知見とする研修を実施した。令和6年能登半島地震により講師・伝承者が被災、研修は中断し作品の完成には至らなかった。
				輪島塗技術保存継承事業費	523	4,500	2,994	1,506	○ 重要無形文化財輪島塗技術保存継承事業費の補助 交付先：重要無形文化財保持団体「輪島塗技術保存会」 内容：パーティボックス一式の共同制作 総事業費 2,994 千円 財源：市補助金 2,994 千円 事業評価：輪島塗技術保存会の8部門（椀木地・曲物木地・指物木地・朴木地・髹漆・呂色・蒔絵・沈金）にわたる技術会員が、現在保持する高度な技を作品に現し後世へ継承するため作品を共同製作している。3年計画だが、令和6年能登半島地震により製作は一時中断し、令和6年度に作業再開の予定。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
10	4	4	（文化財保護費）	有形文化財保存事業費	0	5,925	425	5,500 （うち繰越） 5,500	○ 聖光寺羅漢図保存修理事業補助金　総事業費 850 千円 交付先：宗教法人 曹洞宗 海月山 聖光寺　財源：県補助金(1/4) 212 千円 市指定文化財「絹本墨画淡彩羅漢図」の修復に要する経費の補助　市補助金(1/2) 425 千円 ○ 阿岸本誓寺本堂保存修理事業補助金　総事業費 22,000 千円 交付先：宗教法人 本誓寺　財源：県補助金(1/2) 11,000 千円 県指定文化財「阿岸本誓寺本堂」の修理に要する経費の補助　市補助金(1/4) 5,500 千円 ※令和6年能登半島地震により施工が遅延したため繰越。 事業評価：市内に存在する有形文化財の修復に対して補助を行うことにより、文化財の価値を高めるとともに適切な保存を図ることができた。
				古文書調査事業費	2,007	1,460	1,005	455	○ 輪島市所在歴史資料調査業務　委託費 999 千円 ・重蔵神社所蔵資料の現地調査、データ整理　その他事務費 6 千円 （未整理資料の概要、概数を把握し、目録データ、画像データを作成） 事業評価：市内に残る貴重な古文書が散逸しないように古文書調査・目録整備等を実施することにより、地域資料の継承活用に向けて現存する古文書の把握に努めることができた。
				名勝・史跡等保存事業費	965	1,521	722	799	○ 庭園保存活用計画策定事業(2ヶ年のうち2年目) 【上時国氏庭園(名勝)】 ・名勝上時国氏庭園保存活用計画(令和6年3月策定) 総事業費：2,085 千円 財源：国補助金 1,042 千円 県補助金 521 千円 市補助金 260 千円 【時国氏庭園(名勝)】 ・名勝時国氏庭園保存活用計画(令和6年3月策定) 総事業費：1,995 千円 財源：国補助金 997 千円 県補助金 498 千円 市補助金 249 千円 ○ 指定文化財管理事業 【上時国家住宅(重要文化財)】 総事業費：353 千円 財源：県補助金 176 千円 市補助金 88 千円 【時国家住宅(重要文化財)】 総事業費：502 千円 財源：県補助金 250 千円 市補助金 125 千円 事業評価：重要文化財、国指定名勝の保存活用計画策定及び維持管理の万全を期するため補助金を交付することにより、文化財の良好な保全を図ることができた。
				重要文化財保存事業費	1,870	2,181	1,826	355	○ 旧角海家住宅保存活用計画策定業務(2ヶ年のうち2年目)　委託費 1,826 千円 ・重要文化財(建造物)旧角海家住宅保存活用計画　財源： （令和6年3月策定）　国補助金(65%) 1,186 千円 県補助金(12.5%以内) 100 千円 事業評価：国指定文化財である旧角海家住宅の保存活用計画を策定するため、現地調査及び伝統的建造物群保存地区保存審議会を1回開催し、計画を作成することができた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
10	4	4	（文化財保護費）	文化的景観保存事業費	4,154	6,343	5,947	396	○ 文化的景観保護推進事業補助金 補助対象経費 ・間垣修理費補助 5件(大沢町1件、上大沢町4件)　補助金 3,472 千円 財源： 国補助金(65%) 2,256 千円 県補助金(8.75%以内) 149 千円 補助対象外経費 ・環境整備業務　委託費 495 千円 ・間垣修景業務（西保間垣の会・大沢間垣保存会）　委託費 1,980 千円 事業評価：間垣修理事業費補助及び間垣の材料となるニガタケの育成を行い、文化的景観としての価値を高めるとともに適切な保存を図ることができた。
				伝統的建造物群保存地区保存対策事業費	27,106	15,687	9,540	6,147 内 繰越明許 4,000	○ 伝統的建造物群保存地区保存整備事業補助金 補助対象経費 ・修景事業4件　補助金 9,278 千円 ・修景事業4件のうち、1件は令和6年能登半島地震により施工が遅延したため繰越。　その他事務費 262 千円 財源： 国補助金(65%) 6,048 千円 県補助金(8.75%以内) 814 千円 事業評価：地区内の建造物等を計画的に修理・修景事業を実施することによって価値を高めると同時に、適切な保存を図ることができた。
				伝統的建造物群保存地区保存対策事業費（繰越明許）	10,181	1,000	0	1,000	○ 伝統的建造物群保存地区保存整備事業補助金 ・空家に居住するための整備事業(1件) 事業評価：空家に居住するための整備事業(1件)は、所有者の都合により事業取止めとなった。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
10	4	6	美術館費	漆芸美術館管理費	91,002	101,087	86,637	14,450	○ 輪島漆芸美術館の管理に係る委託費　指定管理料　67,717 千円 指定管理者：(公財)輪島漆芸美術館 輪島漆芸美術館管理運営に係る人件費補助金　18,920 千円 主な企画展示と入館者数 (1) 第28回飛翔する輪島の漆芸作家たち−全国展入選作品−　3/4 ～ 5/7　1,932 人 (2) 生新の時2023−漆芸の未来を拓く−　5/13 ～ 7/9　3,052 人 (3) 第79回現代美術展　輪島展　7/15 ～ 7/23　1,389 人 (4) 漆芸の綺羅星たち　7/29 ～ 9/24　3,281 人 (5) 漆風怒濤−現在を駆け抜ける髹漆表現−　10/1 ～ 11/26　4,818 人 (6) 国際漆展・石川2023輪島展　12/2 ～ 1/1　893 人 (7) 常設展「輪島塗の技と歴史」 入館者数の合計　15,365 人 （前年度　19,175人）
									事業評価：指定管理者が有する専門的な知見により、漆器の工程や構造を分かりやすく特集した質の高い企画展を開催し、漆芸への理解を深めるとともに工芸史上の価値をアピールできた。

一般会計主要施策

総　務　課

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容（成果・実績）・評価
2	1	1	一般管理費	区長会等活動費	823	1,161	1,160	1	○ 行政事務事業補助（区長会長会活動の内、以下の3点について補助） 【交付先】輪島市区長会長会 【内容】 ①各地区区長会長、区長、町内会長への事務連絡経費 ②石川県町会区長会連合会への負担金 ③区長会長等共済費（災害補償） 【補助額】 689千円 ○ 区長会研修費補助 【交付先】研修を実施した区長会等 【内容】 ①補助額は研修費（補助対象費用）の1/3で1人当たり5千円を上限 ②のと里山空港を利用した場合には1人当たり5千円を加算 【補助額】 383千円 （交付団体：輪島市区長会長会ほか4団体） 事業評価：コミュニティ活動を支えている区長会長会に対し事務事業補助を行うことで、住民自治組織である区・町内会と市役所との連携が図られ、円滑に行政運営を行えた。今後も住民自治の向上と効率的な行政運営の推進に努める。

一般会計主要施策

財　政　課

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容（成果・実績）・評価
12	1	1	元金	償還元金	3,700,307	3,534,298	3,534,298	0	○ 市債の定期償還に加え、次年度以降の公債費負担を逓減させるため、繰上償還等を実施した。 決算額中繰上償還額 200,053千円（償還利子軽減効果：7,010千円） 事業評価：繰上償還により、将来の利払いによる負担を低減することで、財政運営の安定化に努めた。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
2	1	6	企画費	大学連携推進事業費	545	697	696	1	○ 各大学との包括連携協定を結び、双方が有する人的資源の交流と、知的・物的資源の有効活用を図りながら、幅広い分野で協力・協同した。 【(学)北陸大学】（H26 締結） ・ 市民向け健康フェア(講演会・健康相談等)の実施 【(学)金沢学院大学】（H31 締結） ・ 近代地域新聞「輪島時報」のデジタルアーカイブ化 【(学)総持学園　鶴見大学】（H27 締結） ・ 学園祭での観光ブースの出展 ・ オンラインでの市民セミナー開催(歯学科・文化財学科・保育科による講座) 【(学)東京農業大学】（H28 締結） 【(学)千葉大学】（H31 締結） 【その他】 能登キャンパス協議会負担金(能登祭りの環：黒島天領祭への参加交流) (公社)大学コンソーシアム石川会費
									事業評価：地域産業の振興や健康福祉、伝統文化の継承など地域実践活動を通して相互協力を深めた。 今後も大学との協力・協同により人材育成と双方の魅力向上に努める。

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容（成果・実績）・評価
2	1	6	企画費	“がんばる輪島”応援推進事業費	198,514	224,730	210,755	13,975	○ ふるさと納税（“がんばる輪島”応援寄附）の寄附者への返礼品の費用や、寄附を募るポータルサイトの委託料などの関係経費 ・ 特産品発送等業務　115,945千円 ・ ポータルサイト委託料・手数料　60,889千円 ・ クレジット利用手数料　20,672千円 ・ カタログ・チラシ製作・広告等　12,194千円 ・ 事務費　1,055千円 210,755千円

（参考）
“がんばる輪島”応援寄附金

充当事業	R5		R4	
	件数	金額	件数	金額
地域福祉事業費	4,128件	86,342千円	3,202件	98,212千円
自然環境保全事業費	1,672件	42,830千円	1,700件	50,781千円
教育環境事業費	1,854件	55,604千円	1,919件	62,394千円
伝統工芸及び地域文化の保存及び継承事業費	2,217件	214,686千円	2,010件	116,063千円
“がんばる輪島”応援寄附条例第2条第5号事業	22,463件	368,367千円	3,030件	94,259千円
令和6年能登半島地震復興支援	107,933件	1,336,523千円		
合計	140,267件	2,104,352千円	11,861件	421,709千円
企業版ふるさと納税寄附金				
まち・ひと・しごと創生寄附活用事業	5件	3,300千円	2件	2,000千円
まち・ひと・しごと創生寄附活用事業（災害復興支援）	288件	306,935千円		
合計	293件	310,235千円	2件	2,000千円

事業評価	ふるさと納税の返礼品に地元特産品を採用することで、能登半島地震における事業者支援並びに市内生産者に新たな需要が生まれ、地域経済の活性化につながることから、引き続き推進する。

一般会計主要施策　　総　務　課

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
2	1	1	一般管理費	震災復旧復興推進事業費	0	20,000	10,476	9,524	○ 復旧復興事務全般に係る経費 報酬 286千円 給料 1,277千円 職員手当等 150千円 共済費 111千円 需用費 3,040千円 役務費 30千円 使用料及び賃借料 102千円 工事請負費 638千円 備品購入費 3,380千円 負担金補助及び交付金 1,462千円 合　計 10,476千円

一般会計主要施策　　防災対策課

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
11	3	2	その他公共施設公用施設災害復旧費	現年発生消防施設単独災害復旧事業費(震災)	0	1,084,200	1,548	1,082,652 (うち繰越) 1,082,652	○ R6能登半島地震により被災した消防施設のうち、国庫補助対象とならない災害復旧事業を実施 南志見分団車修繕 52千円 門前分団センター解体工事 1,496千円 1,548千円

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	5	1	災害救助費	避難所運営費	0	265,000	231,155	33,845	○ 災害救助法に基づく経費 避難所の設置 136,563千円　飲料水の供給 30千円 炊き出しその他による食品の給与 89,586千円　輸送費 4,976千円 合　計 231,155千円
				福祉避難所運営費	0	90,815	90,815	0	○ 災害救助法に基づく経費 福祉避難所運営委託料 90,815千円
				被災者生活支援事業費	0	90,385	10,694	79,691	○ 災害救助法に基づく経費 被服、寝具その他生活必需品の給与(炊飯器、台所用品、食器など) 全壊31,800円～、半壊10,100～(半壊以上対象) 消耗品費等(輸送費含む。) 10,694千円
				被災者生活支援事業費(県単)	0	520,000	33,740	486,260 (うち繰越) 470,623	○ 応急仮設住宅入居者に対する生活家電の給与(災害救助法の対象外で県単独の支援) 洗濯機、冷蔵庫及びテレビが対象 上限額　家電1点につき6万円、1戸につき総額13万円 購入費 33,175千円 助成金 565千円　合　計 33,740千円
				賃貸型応急住宅支援事業費	0	133,639	88,643	44,996	○ 災害救助法に基づく経費 応急仮設住宅の供与　※賃貸型応急住宅(みなし仮設住宅) ・金沢市、野々市市の物件　1人：6万円以下、2人：8万円以下、3～4人：10万円以下、5人以上：12万円以下 ・上記以外の物件　2人以下：6万円以下、3～4人：8万円以下、5人以上：11万円以下 仲介手数料 9,255千円 家賃等 79,388千円　合　計 88,643千円
				住宅応急修理事業費	0	309,843	142,781	167,062	○ 災害救助法に基づく経費 ・緊急修理：屋根等に被害を受けた住家へのブルーシート展張等(1世帯当たり上限　5万円) ・応急修理：日常生活に必要な最低限の部分の修理(1世帯当たり上限　半壊以上70.6万円、準半壊34.3万円) ・緊急修理 142,714千円 (うちR5能登半島地震分43千円) ・応急修理 67千円　合　計 142,781千円
				その他災害救助費	0	5,000	1,257	3,743	○ 災害救助法に基づく経費(遺体埋葬等) 発災直後の混乱期のため埋葬ができないときに、遺族等に対し棺、骨箱等を支給 消耗品費等 890千円　委託料 354千円 手数料等 13千円　合　計 1,257千円

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	5	1	（災害救助費）	その他災害救助費(単独)	0	305,888	225,943	79,945 (うち繰越) 52,377	○ 災害救助法に基づかない経費 災害対策本部その他避難所でない施設等に係る経費 職員手当等 109,086千円　委託料 6,616千円 報償費 110千円　使用料及び賃借 1,125千円 需用費 43千円　公有財産購入費 108,963千円 合　計 225,943千円
				災害ボランティアセンター運営費	0	5,361	5,182	179	○ 災害救助法に基づく経費 災害ボランティアセンター運営委託料 5,182千円
				救助事務費	0	183,989	85,262	98,727	○ 災害救助法に基づく経費 災害救助に係る事務費(救助に係る職員時間外手当、消耗品等) 報酬 17,499千円　委託料 990千円 職員手当等 62,858千円　使用料及び賃借 373千円 旅費 10千円　負担金 1,287千円 需用費 2,245千円　合　計 85,262千円
				災害弔慰金	0	600,000	170,000	430,000 (うち繰越) 430,000	○ 災害弔慰金等の支給 ①災害弔慰金 生計維持者500万円(17件)、その他250万円(34件) ②災害障害見舞金 ※実績なし 生計維持者250万円、その他125万円
4	1	4	環境衛生費	水道事業会計費(震災)	0	50,000	47,240	2,760	○ 水道事業会計に対する支援 1月使用分(2月請求分)及び2月使用分(3月請求分)に係る水道料金(基本料金)及び開閉栓手数料免除相当分を補填
8	6	1	下水道費	下水道事業会計費(震災)	0	25,000	23,419	1,581	○ 下水道事業会計に対する支援 1月使用分(2月請求分)及び2月使用分(3月請求分)に係る下水道料金(基本料金)免除相当分を補填

一般会計主要施策　　監　理　課

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容（成果・実績）・評価
11	3	2	その他公共施設公用施設災害復旧費	現年発生庁舎等施設単独災害復旧事業費（震災）	0	1,541,200	6,658	1,534,542 （うち繰越） 1,534,542	○ R6能登半島地震により被災した庁舎等施設のうち、国庫補助対象とならない災害復旧事業を実施 修繕（照明器具、エレベータ、機械室等） 1,374千円 被災状況調査業務 2,486千円 イントラネットワーク仮復旧作業 1,650千円 仮設給排水管布設工事等 1,148千円 6,658千円

一般会計主要施策　　放　送　課

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容（成果・実績）・評価
11	3	2	その他公共施設公用施設災害復旧費	現年発生ケーブルテレビ施設単独災害復旧事業費（震災）	0	103,129	52,171	50,958 （うち繰越） 50,958	○ R6能登半島地震により被災したケーブルテレビ施設のうち、国庫補助対象とならない災害復旧事業を実施 引込、伝送路修繕 740千円 復旧業務（委託料） 384千円 復旧業務（工事請負費） 48,991千円 原材料購入 666千円 人件費 1,390千円 52,171千円

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
4	2	2	（ごみ処理費）	災害廃棄物処理事業費	0	5,200,000	1,523,056	3,676,944 (うち繰越) 3,676,944	○ 災害廃棄物処理事業 被災家屋等の解体・撤去（緊急解体）、災害廃棄物処理及び仮置場整備・管理、災害廃棄物戸別収集運搬、生活ごみ収集運搬・処分、し尿収集運搬・処分　等 令和6年1～3月　緊急解体発生件数　全体107件　（うち3月末までに完了した件数　29件） 繰越件数　78件 手数料 家電リサイクル　25,816 千円 委託料 被災家屋等の解体・撤去処理　231,099 千円 災害廃棄物処理及び仮置場整備・管理　892,327 千円 災害廃棄物戸別収集　226,326 千円 生活ごみ収集運搬　17,672 千円 し尿収集運搬　100,784 千円 解体撤去支援　8,349 千円 計　1,476,557 千円 負担金補助及び交付金 生活ごみ処分及びし尿処分　20,242 千円 その他 消耗品、賃借料　441 千円 合計　1,523,056 千円
11	3	2	その他公共施設公用施設災害復旧費	現年発生清掃施設補助災害復旧事業費(震災)	0	2,474	2,474	0	○ R6能登半島地震により被災した清掃施設の復旧を図るため国庫補助災害復旧事業制度により災害査定をうけた事業について災害復旧事業を実施 輪島クリーンセンター水質検査業務　83千円 輪島クリーンセンター応急復旧工事(浄化槽貯留槽、電気設備)　2,391千円 2,474千円
				現年発生清掃施設単独災害復旧事業費(震災)	0	41,100	0	41,100 (うち繰越) 41,100	○ R6能登半島地震により被災した清掃施設のうち、国庫補助対象とならない災害復旧事業を全額繰越

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	3	1	児童福祉総務費	放課後児童クラブ利用支援事業費（震災）	0	5,184	5,184	0	○ R6能登半島地震により被災した利用者の利用料の減免することで、放課後児童クラブの育成支援が必要な家庭に対する経済的な負担の軽減を図る。 ○ 実績（1月分から3月分）　（単位:人、千円） クラブ名：鳳至児童クラブ／鳳至第2児童クラブ／河井児童クラブ／河井第2児童クラブ／河井第3児童クラブ 延べ登録人数：75／72／111／102／87 減免額（補助額）：450／432／666／612／522 クラブ名：大屋児童クラブ／大屋第2児童クラブ／鵠巣児童クラブ／三井児童クラブ／河原田児童クラブ 延べ登録人数：75／72／27／24／27 減免額（補助額）：450／432／162／144／162 クラブ名：もんぜん児童クラブ／まちの児童クラブ 延べ登録人数：75／72 減免額（補助額）：666／486 減免額 利用者全員の利用料月額6千円を全額減免
11	3	2	その他公共施設公用施設災害復旧費	現年発生児童福祉施設単独災害復旧事業費（震災）	0	51,300	404	50,896 （うち繰越） 50,896	○ R6能登半島地震により被災した児童福祉施設のうち、国庫補助対象とならない災害復旧事業を実施 保育所及び児童館の応急修繕等　404千円 404千円
				現年発生保健衛生施設単独災害復旧事業費（震災）	0	102,700	1,232	101,468 （うち繰越） 101,468	○ R6能登半島地震により被災した保健衛生施設のうち、国庫補助対象とならない災害復旧事業を実施 門前保健センター被災状況調査　462千円 ふれあい健康センター被災状況調査　550千円 合奏式墓所測量調査　220千円 1,232千円

一般会計主要施策

農林水産課

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
11	1	1	農業施設災害復旧費	現年発生農業用施設単独災害復旧事業費(震災)	0	61,600	16,314	45,286 (うち繰越) 45,286	○ R6能登半島地震により被災した農業用施設のうち、国庫補助対象とならない災害復旧事業を実施 広域農道管理業務委託 15,551千円 農道及び農業用施設補修業務委託 763千円 16,314千円
11	1	2	林業施設災害復旧費	現年発生林道単独災害復旧事業費(震災)	0	61,600	11,379	50,221 (うち繰越) 50,221	○ R6能登半島地震により被災した林道のうち、国庫補助対象とならない災害復旧事業を実施 林道管理業務委託 9,587千円 被害木処理業務委託 1,792千円 11,379千円

一般会計主要施策

漆器商工課

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
7	1	3	漆器費	輪島塗仮設工房整備事業費	0	61,992	61,992	0	○ 震災で作業場を失った漆器職人に対して仮設の作業場を整備 事 業 内 容： 作業場が半壊以上の職人が対象。 3月14日～25日の期間にニーズ調査を実施。68件の利用希望があった。 3月末に約25㎡の作業場4室を、わじまミドリ保育園隣接地(水守町堂端16-2)に整備。 4事業者が利用中(塗り2事業者、呂色1事業者、蒔絵1事業者) 中小企業基盤整備機構の仮設施設整備事業助成金を活用(10/10)
11	3	2	その他公共施設公用施設災害復旧費	現年発生商工施設単独災害復旧事業費(震災)	0	616,500	1,982	614,518 (うち繰越) 614,518	○ R6能登半島地震により被災した商工施設のうち、国庫補助対象とならない災害復旧事業を実施 修繕(漏水、建具、自動ドア等) 766千円 測量調査業務等 1,133千円 わいち通り観光案内誘導サイン撤去業務 83千円 1,982千円

一般会計主要施策

土　木　課

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
11	2	1	土木施設災害復旧費	現年発生土木施設補助災害復旧事業費（震災）	0	187,022	187,022	0	○ R6能登半島地震により被災した土木施設の復旧を図るため国庫補助災害復旧事業制度により災害査定をうけた事業について災害復旧事業を実施 調査設計委託料(市道まがき線おさよトンネル) 7,579千円 作業委託(砕石補修、崩土除去等) 53,438千円 工事請負費 126,005千円 187,022千円 〔実施工事等) 市道道下深見線　道路災害応急復旧工事　N=1式　C= 126,005千円
				現年発生土木施設単独災害復旧事業費（震災）	0	616,500	486,372	130,128 (うち繰越) 130,128	○ R6能登半島地震により被災した土木施設のうち、国庫補助対象とならない災害復旧事業を実施 作業委託(砕石補修、崩土除去等) 461,457千円 原材料費(砕石等) 5,373千円 工事請負費 18,310千円 現場用等消耗品、鉄板等賃借料 1,232千円 486,372千円 〔実施工事等) 市道嶽登山線　道路災害応急復旧工事　N=1式　C= 18,310千円 橋梁詳細点検業務（災害復旧）　N=1式　C= 31,152千円

一般会計主要施策

まちづくり推進課

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
3	5	1	災害救助費	応急仮設住宅管理費	0	123	123	0	○ 災害救助法に基づかない経費 応急仮設住宅の管理費 消耗品費 85千円 電気料 38千円 合　計 123千円
11	2	2	公営住宅災害復旧費	現年発生公営住宅単独災害復旧事業費(震災)	0	205,500	0	205,500 (うち繰越) 205,500	○ R6能登半島地震により被災した公営住宅のうち、国庫補助対象とならない災害復旧事業を全額繰越

一般会計主要施策　　教育総務課

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容（成果・実績）・評価
11	3	1	その他公立学校施設災害復旧費	現年発生小学校施設単独災害復旧事業費（震災）	0	205,500	3,089	202,411 （うち繰越） 202,411	○ R6能登半島地震により被災した小学校施設のうち、国庫補助対象とならない災害復旧事業を実施 共同調理場厨房機器点検 55千円 工事請負費（下水道、ガス復旧） 3,034千円 3,089千円
				現年発生中学校施設単独災害復旧事業費（震災）	0	308,200	4,703	303,497 （うち繰越） 303,497	○ R6能登半島地震により被災した中学校施設のうち、国庫補助対象とならない災害復旧事業を実施 修繕（照明器具、食器洗浄機等） 66千円 共同調理場厨房機器点検 231千円 危険樹木伐採 193千円 工事請負費（下水道、階段、公開系ネットワーク仮復旧） 4,213千円 4,703千円

一般会計主要施策　　生涯学習課

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容（成果・実績）・評価
11	3	2	その他公共施設公用施設災害復旧費	現年発生保健体育施設単独災害復旧事業費（震災）	0	513,700	1,168	512,532 （うち繰越） 512,532	○ R6能登半島地震により被災した保健体育施設のうち、国庫補助対象とならない災害復旧事業を実施 一本松総合運動公園測量調査及び被災状況調査業務 1,001千円 一本松総合運動公園電気設備応急復旧工事 167千円 1,168千円

一般会計主要施策　　文　化　課

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容（成果・実績）・評価
11	3	2	その他公共施設公用施設災害復旧費	現年発生社会教育施設単独災害復旧事業費（震災）	0	51,452	815	50,637 （うち繰越） 50,637	○ R6能登半島地震により被災した社会教育施設のうち、国庫補助対象とならない災害復旧事業を実施 修繕（自動ドア、屋根、エアコン等） 580千円 角海家住宅倒壊塀応急解体格納業務 235千円 815千円

上下水道局

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度 決算額 （R4）	予算額 （流用額含む） A	決算額 B	差引 A－B	事業内容（成果・実績）・評価
4	1	4	環境衛生費	個人設置型浄化槽災害 復旧費補助	0	133,400	0	133,400 （うち繰越） 133,400	○ 個人設置型合併処理浄化槽への復旧費補助について全額繰越 全額補助により個人負担はなし

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
資本的支出									
1	1	5	災害復旧費	災害復旧費	0	2,350,000	2,101,602	248,398 (うち繰越) 85,000	○ 水道管路・施設等災害復旧工事（民間事業者実施分） （※民間事業者は全40団体（複数回工事を行っている事業者はそれぞれで計上）） ・ 輪島上水 58件 677,108 千円 ・ 門前上水 17件 125,427 千円 ○ 水道管路・施設等災害復旧工事（応援事業体実施分） （※応援事業体は全47団体（輪島・門前・町野で復旧工事を行っている場合は重複計上）） ・ 輪島上水 20件 874,095 千円 ・ 門前上水 23件 424,972 千円
1	1	6	簡易水道災害復旧費	簡易水道災害復旧費	0	1,050,000	215,193	834,807	○ 水道管路・施設等災害復旧工事（民間事業者実施分） （※民間事業者は全40団体（複数回工事を行っている事業者はそれぞれで計上）） ・ 町野簡水 18件 96,080 千円 ・ 洲衛簡水 2件 1,649 千円 ○ 水道管路・施設等災害復旧工事（応援事業体実施分） （※応援事業体は全47団体（輪島・門前のどちらも復旧工事を行っている場合は重複計上）） ・ 町野簡水 5件 117,464 千円

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容(成果・実績)・評価
資本的支出									
1	1	6	管渠災害復旧費	管渠施設災害復旧費	0	904,918	304,918	600,000	○ 輪島処理区 ・ 能登半島地震災害復旧支援工事 65,190 千円 ・ 能登半島地震災害復旧支援業務 214,522 千円 ・ その他災害復旧工事 7件 22,651 千円 ○ 門前・剱地処理区 ・ その他災害復旧工事 3件 2,555 千円
1	1	7	ポンプ場災害復旧費	ポンプ場施設災害復旧費	0	120,000	7,114	112,886	○ 輪島処理区 ・ 堀町ポンプ場災害復旧工事 7,114 千円
1	1	8	処理場災害復旧	処理場施設災害復旧費	0	226,352	11,440	214,912	○ 輪島処理区 ・ 輪島市浄化センター復旧工事 4,145 千円 ・ 輪島市浄化センター管理棟汚水ポンプ復旧工事 198 千円 ○ 門前・剱地処理区 ・ 門前水質管理センター復旧工事 6,982 千円 ・ 剱地浄化センター復旧工事 115 千円
1	1	9	浄化槽災害復旧	浄化槽災害復旧費	0	148,730	48,730	100,000	○ 浄化槽災害復旧工事 ・ 浄化槽災害復旧工事(30基) 48,664 千円 5人槽 18基、7人槽 10基、7人槽 2基 ・ ブロア取替工事 66 千円

病院事業会計主要施策

病　　院

（単位：千円）

款	項	目	目の名称	事業名	前年度決算額（R4）	予算額（流用額含む）A	決算額 B	差引 A－B	事業内容（成果・実績）・評価
資本的支出									
1	1	1	災害復旧費	災害復旧事業	0	130,000	49,430	80,570 （うち繰越） 25,287	○ 災害復旧にかかる事業 給湯管応急復旧工事　41,580 千円 医療機器復旧事業　7,850 千円